

平成 2 7 年 月 日	課 長	課長補佐	係 長	合 議	審査者	設計者	検 算
--------------------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----

課長

課長補佐

係 長

議 合

審查者

設計者

檢 算

(閱 覽 用) 工 事 設 計 書

工 事 名 上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体）工事

工事場所 倉吉市福山

一 金 円 (内消費税及び地方消費税額 円)

内 訳

工 事 概 要	起 工 理 由
昭和54年2月建築、R C造3階建、延床面積 1,923 m ² ・耐震補強工事 対象床面積 1,923m ² A型耐震補強工法 （増設R C梁による架構内鉄骨ブレース工法） 1階 6構面、2階 6構面 ・老朽改修工事 対象床面積 1,810m ² 屋上 遮熱塗料塗り（断熱化） 外壁 防水形複層塗材E吹替 床 塩ビシート張替、フローリングブロック美化 内壁 E P - G塗替 ・トイレ改修工事 対象床面積 113m ² 洋式化、乾式化、バリアフリー化	

起 工 理 由

昭和54年2月建築、RC造3階建、延床面積 1,923 m²

- ・耐震補強工事 対象床面積 1,923m²
A型耐震補強工法
(増設RC梁による架構内鉄骨ブレース工法)
1階 6構面、2階 6構面
- ・老朽改修工事 対象床面積 1,810m²
屋上 遮熱塗料塗り(断熱化)
外壁 防水形複層塗材E吹替
床 塩ビシート張替、フローリングブロック美化
内壁 E P-G塗替
- ・トイレ改修工事 対象床面積 113m²
洋式化、乾式化、バリアフリー化

(閲覧用) 内 訳 書

倉吉市長 石田 耕太郎 殿

設 計 金 額 : 円也
工 事 名 称 : 上小鴨小学校管理教室棟耐震補強(建築主体)工事
工 事 場 所 : 倉吉市福山
工 事 概 要 : 耐震補強工事、耐震付帯工事、老朽改修工事、トイレ改修工事

平成 27年 月 日
エーアンドエス建築研究室
秋 本 文 男
鳥取県倉吉市清谷町1-275-2
TEL 0858-26-5225

内 訳

工 事 種 別	数 量	金 額	備 考
I. 工事価格	1 式		
II. 消費税相当額 8%	1 式		
総 合 計			

【 I. 工事価格 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	耐震補強工事		1	式			
B	耐震付帯工事		1	式			
C	老朽改修工事		1	式			
D	トイレ改修工事		1	式			
	直接工事費						
	共通仮設費 率計上分		1	式			
	積上げ分		1	式			
	純工事費						
	現場管理費		1	式			
	工事原価						
	一般管理費		1	式			
工事価格							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備・解体工事						
	a. 外部撤去		1.0	式			
	b. 内部撤去		1.0	式			
	c. 撤去材 積込・運搬・処分		1.0	式			
	計						
2	直接仮設工事		1.0	式			
3	土工・地業工事		1.0	式			
4	鉄筋工事		1.0	式			
5	型枠コンクリート工事		1.0	式			
6	鉄骨工事		1.0	式			
7	アンカー・無収縮モルタル工事		1.0	式			
8	PC鋼棒取付工事		1.0	式			
9	仕上げ工事						
	a. 外部仕上		1.0	式			
	b. 内部仕上		1.0	式			
	計						
合 計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備・解体工事						
	a. 外部撤去						
	カッター切断	底 コンクリート面	107.0	m			
	コンクリート撤去	底 人力・ハンドブレーカ併用、集積共	1.2	m3			
	外壁モルタル撤去	25t程度	22.2	m2			
	梁天端防水モルタル撤去	30t程度	8.7	〃			
	外壁・梁 目あらし		32.8	〃			
	a. 計						
	b. 内部撤去	(保健室)					
	床 カッター切断	コンクリート面	9.4	m			
	床 フローリングブロック撤去	集積共	2.5	m2			
	土間コンクリート 撤去	集積共	0.4	m3			
	ソフト幅木 撤去	H=100、集積共	0.6	m			

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	b. 計						
	c. 撤去材 積込・運搬・処分						
	撤去材 積込費	コンクリート類	2.2	m3			
	撤去材 積込費	木材類、人力	0.1	〃			
	撤去材 積込費	廃プラ類	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	2.2	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、木材類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、廃プラ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 処分費	コンクリート類	5.4	ton			
	撤去材 処分費	木材類	0.1	〃			
	撤去材 処分費	廃プラ類	0.1	〃			
	c. 計						

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	直接仮設工事						
	墨出し	外壁改修	216.0	m2			
	養生費	外壁改修	216.0	〃			
	開口部養生費	合板張り養生	74.8	〃			
	整理清掃後片付け	外壁改修	216.0	〃			
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠900 12m未満 期間6ヶ月	178.0	m2			
	外部養生シート	防音、メッシュの併用 期間6ヶ月	178.0	〃			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	土工・地業工事						
	根切	人力・バックホウ併用	12.4	m3			
	埋戻し	根切土転用 人力・バックホウ併用	7.0	〃			
	残土処分	自由処分	5.4	〃			
	砕石地業	再生、RCC-40	0.5	〃			
	捨てコンクリート	Fc=18N、S=15	0.4	〃			
	捨てコンクリート打設費	人力	0.4	〃			
	砕石地業	保健室 再生、RCC-40	0.2	m3			
	ポリエチレンフィルム敷き	保健室 0.15t	2.5	m2			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	型枠コンクリート工事						
	普通合板型枠	基礎部	19.8	m2			
	普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部3.5～4.0m程度	40.4	〃			
	型枠運搬費	10t車	60.2	〃			
	躯体コンクリート	Fc=21+3N、S=15	16.1	m3			
	コンクリートポンプ圧送	基本料金	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送		16.1	m3			
	コンクリート打設手間	基礎部	5.9	〃			
	コンクリート打設手間	躯体	10.2	〃			
	土間コンクリート	保健室 Fc=18+3N、S=15	0.3	m3			
	土間コンクリート打設	保健室 120t、人力	0.3	〃			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	鉄骨工事						
	鋼材 SS400	H-200×200×8×12	6,456.0	kg			
	鋼材 STKR400	□-200×200×9	3,076.0	〃			
	鋼材 SS400	PL-6	112.0	〃			
	〃	PL-9	502.0	〃			
	鋼材 SN400B	PL-9	946.0	〃			
	〃	PL-12	640.0	〃			
	〃	PL-16	1,954.0	〃			
	〃	PL-19	5,591.0	〃			
	〃	PL-22	1,665.0	〃			
	鋼材 SS400	FB-9×25	384.0	〃			
	HTB S10T	M20×50L、81kg	233.0	組			
	〃	M20×60L、193kg	525.0	〃			
	〃	M20×70L、368kg	932.0	〃			
	工場打ちスタッドボルト	φ 16×140、材工共	1,624.0	本			

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	原寸及び工作図費		21,968.0	kg			
	工場加工費		11,172.0	〃			
	鉄骨プラズマ切断加工費	フランジ片カット H-200×200×8×12	6,456.0	〃			
	ブレース仕口コア部BH加工費	PL-9、12、16、22(SN400B)	10,796.0	〃			
	錆止め塗装費	JIS 5674、工場2回塗	21,132.0	〃			
	運搬費	工場～現場	21,132.0	〃			
	現場取付費	固定用及び差込用アンカー別途	21,132.0	〃			
	建て方重機費		21,132.0	〃			
	超音波探傷検査費	検査報告書作成費共 自主検査、100%	21,132.0	〃			
	超音波探傷検査費	検査報告書作成費共 第3者検査、30%	1.0	式			
	現場タッチアップ費		21,132.0	kg			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	アンカー・無収縮モルタル工事						
	鉄骨ブレース部(1F～3F)12鋼面						
	埋込みアンカー	D19×580L	204.0	本			
	〃	D19×980L	102.0	〃			
	あと施工アンカー	ケミアル、ナット付 横向き、D19×390L	360.0	〃			
	〃	ケミアル、ナット付 横向き、D19×650L	240.0	〃			
	〃	ケミアル、ナット付 横向き、D16×420L	1,128.0	〃			
	〃	ケミアル、(TG-10R)程度 下向き、D10×540L	108.0	〃			
	アンカー引っ張り試験		14.0	セット			
	スパイラル筋	6φ×50@-140φ	152.0	m			
	吸水防止剤塗布		152.0	〃			
	無収縮モルタル圧入用型枠	両面、運搬費共	148.0	〃			
	無収縮モルタル圧入		5.9	m3			
	モルタル試験		1.0	回			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	PC鋼棒取付工事						
	PC鋼棒	23 φ	85.0	kg			
	碇着装置工	外端圧着プレート	36.0	組			
	〃	内端圧着プレート	36.0	〃			
	シーす	35 φ	10.8	m			
	棚受工	準備工含む	72.0	個			
	鋼棒挿入工		36.0	本			
	緊張工	片引き	36.0	〃			
	グラフト工		36.0	〃			
	機械器具損料		1.0	式			
	機材運搬費		1.0	式			
	特殊技術費		1.0	式			
	雑材		1.0	式			
計							

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	仕上げ工事						
	a. 外部仕上						
	打増し梁型モルタル塗	刷毛引25t	36.5	m2			
	3F梁型上部防水モルタル塗	30t、防水剤入り	10.4	〃			
	外壁・梁 目あらし		51.0	〃			
	外壁 下地調整塗材	C-1	147.0	m2			
	補強部防水形複層塗材E吹付	凹凸模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2 模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり	147.0	〃			
	耐震ブレース 梁 カバー	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 360×300×360、L=1,610	12.0	ヶ所			
	耐震ブレース 柱 カバー	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 360×300×360、L=1,480	24.0	〃			
	耐震ブレース 上部 カバー	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 880×300×880、L=1,230	24.0	〃			
	耐震ブレース 下部 カバー	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 1,090×300×710、L=1,240	12.0	〃			
	耐震ブレース 下部 カバー 裏水切	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 15×200×15、L=1,240	12.0	〃			
	耐震ブレース 土台 カバー	SUS304、1.2t、HL、裏へ°74t、L-3×30×40 500×360、L=1,090	24.0	〃			
	耐震ブレース キリカギ		48.0	〃			
	運搬・荷揚げ費		1.0	式			

【 A-1 鋼製耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	素地ごしらえ	C種、鉄鋼面	23.0	m2			
	耐候性塗料塗り	下塗り3回共、平滑仕上げ 鉄鋼面、2級、アクリルシリコン樹脂	23.0	〃			
	ブレース周囲シーリング	MS-2、幅10～15 変性シリコン系	469.0	〃			
	a. 計						
	b. 内部仕上						
	床モルタル塗	フローリング下地	2.5	m2			
	床フローリングブロック張り	保健室 15t、下地調整共	2.5	〃			
	床サンダー掛け	保健室 荒掛、中掛、仕上掛	2.5	〃			
	床ポリウレタン塗装	保健室 3回塗、1液性	2.5	〃			
	ソフト幅木	H=100	0.6	m			
	b. 計						

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備・解体工事						
a	外部撤去		1.0	式			
b	内部撤去		1.0	式			
c	積込・運搬・処分費		1.0	式			
	1 計						
2	直接仮設工事		1.0	式			
3	鉄筋工事		1.0	式			
4	型枠コンクリート工事		1.0	式			
5	アンカー・無収縮モルタル工事		1.0	式			
6	外部仕上げ工事		1.0	式			
7	内部仕上げ工事		1.0	式			
合 計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備・解体工事						
a	外部撤去						
	カッター切断	コンクリート面	110.0	m			
	カッター切断	モルタル面	53.4	//			
	コンクリート撤去	人力・ハントブレード併用、集積共	9.2	m3			
	アルミサッシ撤去	W3,370×H900、枠共	18.2	m2			
	梁天端防水モルタル撤去	30t程度	6.9	//			
	外壁・梁 目あらし		16.1	//			
	a 計						
b	内部撤去						
	カッター切断	踊り場スラブ部 コンクリート面	13.8	m			
	ソフト幅木撤去	H=100、集積共	15.2	//			
	天井ボード撤去	二重張り、集積共	2.3	m2			
	b 計						

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	積込・運搬・処分費						
	撤去材 積込費	コンクリート類	1.4	m3			
	撤去材 積込費	アルミくず類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	ガレキ類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	ボード類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	廃プラ類	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	1.4	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、アルミくず類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、ガレキ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、ボード類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、廃プラ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 処分費	コンクリート類、再資源化	24.4	ton			
	撤去材 処分費	アルミくず、込みガラ	158.0	kg			
	撤去材 処分費	ガレキ類	0.2	ton			

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去材 処分費	石こうボード類	0.1	m3			
	撤去材 処分費	廃プラ類	0.1	ton			
	c 計						

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	直接仮設工事						
	墨出し	外壁改修	103.0	m2			
	養生費	外壁改修	103.0	〃			
	整理清掃後片付け	外壁改修	103.0	〃			
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠900 12m未満 期間6ヶ月	99.2	m2			
	安全手すり(手すり先行方式)	期間6ヶ月	8.0	m			
	外部養生シート	防音、メッシュの併用 期間6ヶ月	99.2	m2			
	内部足場	脚立、期間1ヶ月	8.0	m2			
	階段室棚足場	単管、期間1ヶ月	16.0	〃			
	墨出し	内部改修	24.0	〃			
	養生費	内部改修	24.0	〃			
	整理清掃後片付け	内部改修	24.0	〃			
計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	鉄筋工事						
	鉄筋(SD295A)	D10	298.0	kg			
	鉄筋(SD295A)	D13	82.0	〃			
	鉄筋(SD295A)	D16	258.0	kg			
	加工組立費	RCラーメン構造	614.0	kg			
	運搬費	10t車	614.0	〃			
	スクラップ控除	H2	17.0	〃			
	スパイラル筋	6φ×50@-140φ	44.0	m			
計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	型枠コンクリート工事						
	普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部3.5～4.0m程度	108.0	m2			
	型枠運搬費	10t車	108.0	〃			
	躯体コンクリート	Fc=21+3N、S=15	9.5	m3			
	コンクリートポンプ圧送	基本料金	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送		9.5	m3			
	コンクリート打設手間	躯体	9.5	〃			
計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	アンカー・無収縮モルタル工事						
	樹脂アンカー	ケミアル、ナット付 横向き、D19×535L	256.0	本			
	〃	ケミアル、ナット付 下向き、D19×535L	36.0	〃			
	〃	ケミアル、ナット付 上向き、D19×535L	36.0	〃			
	〃	ケミアル、ナット付 下向き、D16×850L	24.0	〃			
	〃	ケミアル、ナット付 上向き、D16×850L	24.0	〃			
	アンカー引張り試験		6.0	セット			
	吸水防止剤塗布		20.7	m			
	樹脂モルタル圧入用型枠		20.7	〃			
	樹脂モルタル圧入		0.8	m3			
計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	外部仕上げ工事						
	AW-7R アルミ引違い窓	AP、水切共 W2,230×H900	6.0	ヶ所			
	設計費・運搬費		1.0	式			
	取付調整費		1.0	式			
	網入り磨き板ガラス	PW6.8 清掃共	12.0	m2			
	建具周囲シーリング	MS-2、幅10～15 変性シリコン系	37.6	m			
	サッシ廻りモルタル詰め	外部建具	37.6	m			
	3F梁型上部防水モルタル塗	30t、防水剤入り	3.2	m2			
	外壁モルタル塗り	25t	57.3	〃			
	外壁 下地調整塗材	C-1	58.7	〃			
	補強部防水形複層塗材E吹付	凹凸模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2 模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり	58.7	〃			
計							

【 A-2 階段室耐震補強工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	内部仕上げ工事						
	床・内壁取合い補修	モルタル詰め	20.7	m			
	ソフト幅木	H=100	17.0	〃			
	内壁モルタル塗金こて	20t	40.7	m2			
	既存モルタル面下地処理	柱型・梁型 RB種	14.0	〃			
	EP-G塗り	内壁・柱型・梁型、モルタル下地 つや有、工程B種	54.7	〃			
	天井ロックウール化粧吸音板張り	内部用厚9t、不燃、フラットタイプ 下地GB-NC9.5t共	37.6	〃			
	既存天井下地組調整	19型	37.6	〃			
	天井塩ビ見切	突付け型	10.0	m			
計							

【 B 耐震付帯工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備工事						
a	鋼製耐震補強部付帯 解体・撤去		1	式			
b	階段室耐震補強部付帯 解体・撤去		1	式			
	計						
2	直接仮設工事						
a	鋼製耐震補強部		1	式			
b	階段室耐震補強部		1	式			
	計						
3	復旧工事						
a	鋼製耐震補強部付帯 復旧		1	式			
b	階段室耐震補強部付帯 復旧		1	式			
	計						
合 計							

【 B 耐震付帯工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備工事						
a	鋼製耐震補強部付帯 解体・撤去						
	カッター切断	犬走り、側溝 コンクリート面	62.6	m			
	コンクリート 撤去	犬走り、側溝 人力・ハントブレーカ併用、集積場	5.7	m3			
	コンクリート柵 撤去	550□×400H、RC蓋共	1.0	ヶ所			
	コンクリート柵 撤去	550□×600H、RC蓋共	1.0	〃			
	撤去材 積込費	コンクリート類	5.7	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	5.7	〃			
	撤去材 処分費		14.2	ton			
	ネットフェンス 撤去	運搬・処分共 L=2,000×H=1,000	1.0	ヶ所			
	ネットフェンスドア 撤去	再利用 W=1,000×H=1,000	1.0	〃			
計							

【 B 耐震付帯工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	階段室耐震補強部付帯 解体・撤去						
	カッター切断	犬走り コンクリート面	17.9	m			
	コンクリート 撤去	犬走り 人力・ハンドブレーカ併用、集積場	0.8	m3			
	撤去材 積込費	コンクリート類	0.8	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.8	〃			
	撤去材 処分費		2.0	ton			
計							

【 B 耐震付帯工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	直接仮設工事						
a	鋼製耐震補強部						
	やりかた	小規模 根回り	40.8	m2			
	墨出し	小規模 根回り	40.8	〃			
	計						
b	階段室耐震補強部						
	やりかた	小規模 根回り	7.1	m2			
	墨出し	小規模 根回り	7.1	〃			
	計						

【 B 耐震付帯工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	復旧工事						
a	鋼製耐震補強部付帯 復旧						
	犬走り 復旧		15.1	m2			
	側溝 復旧		25.8	〃			
	コンクリート柵 設置	500□×450H、RC蓋共	1.0	ヶ所			
	コンクリート柵 設置	500□×600H、RC蓋共	1.0	〃			
	ネットフェンス 設置	H=1,000、亜鉛メッキ鉄線300g ネットフェンス(朝日PCフェンス程度)	2.0	m			
	ネットフェンスドア 設置	再利用 W=1,000×H=1,000	1.0	ヶ所			
	計						
b	階段室耐震補強部						
	犬走り 復旧		6.9	m2			
	計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	解体・撤去工事		1.0	式			
2	直接仮設工事		1.0	式			
3	外部改修工事		1.0	式			
4	内部改修工事		1.0	式			
5	建具工事		1.0	式			
6	黒板工事		1.0	式			
7	家具工事		1.0	式			
合 計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	解体・撤去工事						
	a. 外部撤去		1.0	式			
	b. 内部撤去		1.0	式			
	c. 撤去材 積込・運搬・処分		1.0	式			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	解体・撤去工事						
	a. 外部撤去						
	カッター切断	コンクリート面	12.0	m			
	カッター切断	アスファルト舗装面	9.0	//			
	土間コンクリート 撤去	大型ブレーカ・ハントブレーカ併用	8.0	m3			
	アスファルト舗装 撤去		2.0	m2			
	コンクリートブロック 撤去	花壇 100t、ブレーカ使用	0.6	m3			
	花壇コンクリートブロック 移設	100t、指示場所堆積	36.8	m			
	サッシ廻りシーリング撤去	集積共	752.0	m			
	既存堅樋撤去	VP75、処分共	128.0	//			
	既存植栽 メタセコイヤ撤去	処分共 H18.0×C2.85×W3.0	1.0	本			
	既存植栽 ソメイヨシノ撤去	処分共 H6.0×C1.6×W8.0	1.0	//			
	a. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	b. 内部撤去						
	カッター切断	廊下人研流し部 コンクリート面	13.7	m			
	カッター切断	鋼製建具周囲 モルタル面	47.1	〃			
	土間コンクリート 撤去	現職員便所 人力・ハンドブレーカ併用	0.1	m3			
	床塩ビシート撤去	現職員便所 2t	459.0	m2			
	ハンスリップ 撤去	現職員便所、階段室	166.0	m			
	コンクリートブロック 撤去	100t、人力・ハンドブレーカ併用	0.2	m3			
	内壁タイル撤去	下地モルタル共	21.4	m2			
	建具周囲 モルタル撤去	人力・ハンドブレーカ併用	3.9	m2			
	人研流し 撤去	廊下 人力・ハンドブレーカ併用	0.3	m3			
	トイレブース 撤去	集積共 40t	5.3	〃			
	棚板テラゾーブロック撤去	集積共 25t	0.1	m3			
	木製たな 撤去	保健室収納棚等	4.4	〃			
	黒板撤去	W-1、2、3、5、9部分 W3600×H1200	79.9	m2			
	鋼製建具撤去	枠共、集積共 東側階段室シャッター	24.0	〃			

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	天井ロックウール吸音板撤去	集積共、下地石こうボード'9t共 9t、フラットタイプ	2.3	m2			
	天井点検口撤去	集積共 450□	3.0	ヶ所			
	b. 計						
	c. 撤去材 積込・運搬・処分						
	撤去材 積込費	コンクリート類	1.2	m3			
	撤去材 積込費	金属(アルミくず)類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	鉄類	2.9	〃			
	撤去材 積込費	ガレキ類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	廃プラ	1.0	〃			
	撤去材 積込費	木材類	3.9	〃			
	撤去材 積込費	石こうボード'類	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	1.2	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、アルミくず類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去材 運搬費	7.5km以下、鉄類、10t車 DID区間無し、バックホウ	2.9	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、ガレキ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、廃プラ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	1.0	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、木材類、10t車 DID区間無し、バックホウ	3.9	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、石こうボード類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 処分費	コンクリート類、再資源化	1.6	ton			
	撤去材 処分費	アルミくず、込みガラ	11.0	kg			
	撤去材 処分費	鉄くずH2	777.0	〃			
	撤去材 処分費	ガレキ類	0.1	ton			
	撤去材 処分費	廃プラ類	0.4	〃			
	撤去材 処分費	木材類	2.1	〃			
	撤去材 処分費	石こうボード類	0.1	m3			
	c. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	直接仮設工事						
	墨出し	外部改修	2108.0	m2			
	養生	外部改修	2108.0	〃			
	整理清掃後片付け	外部改修	2108.0	〃			
	養生	内部改修	1698.0	〃			
	整理清掃後片付け	内部改修	1698.0	〃			
	内部仕上足場	改修、脚立	1618.0	m2			
	階段室棚足場	単管、期間1ヶ月	64.0	〃			
	桢組本足場(手すり先行方式)	建桢900 12m未満 期間6ヶ月	1880.0	m2			
	安全手すり(手すり先行方式)	期間6ヶ月	192.0	m			
	外部養生シート	防音、メッシュの併用 期間6ヶ月	1880.0	m2			
	養生	屋上防水改修	733.0	m2			
	整理清掃後片付け	屋上防水改修	733.0	〃			
	養生	塗装改修	38.9	m2			
	整理清掃後片付け	塗装改修	38.9	〃			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	外部改修工事						
	a. 外壁補修工事		1.0	式			
	b. 屋上熱交換塗料塗り		1.0	式			
	c. 土間コンクリート撤去部補修工事		1.0	式			
	d. 西側下屋鉄骨塗装工事		1.0	式			
	e. 足洗い場新設工事		1.0	式			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	外部改修工事						
	a. 外壁補修工事						
	外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング、計測、図面記入	2108.0	m2			
	外壁 水洗い	高压ポンプ 10～15MPa程度	2108.0	〃			
	外壁 浮き部 補修	ステンレスピン16本/m2・30g/穴 ピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	63.0	〃			
	外壁 ひび割れ部 補修	パテ状エポキシ樹脂塗 ひび割れ0.2mm未満	527.0	m			
	外壁 ひび割れ部 補修	1液性弾性エポキシ注入 ひび割れ0.3～1mm未満	253.0	〃			
	外壁 ひび割れ部 補修	自動式低圧樹脂注入工法 ひび割れ1mm以上	63.0	〃			
	外壁 爆裂・剥落部 補修	露筋部:防錆・防食処理 300×300程度	42.0	ヶ所			
	補強部防水形複層塗材E吹付	凹凸模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2 模様塗1、上塗2、水系ウレタンつやあり	1744.0	m2			
	外壁 下地調整塗材	C-1	1744.0	〃			
	縦樋 取付	カラーVP75	128.0	m			
	シーリング	サッシ廻り MS-2、15×10程度	752.0	〃			
	a. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	b. 屋上熱交換塗料塗り						
	防水層 水洗い	高圧ポンプ 10～15MPa程度	816.0	m2			
	熱交換塗料塗り	露出シート系防水:平場 タフコートD47(3回塗)程度	757.0	〃			
	熱交換塗料塗り	露出シート系防水:立上り タフコートD47(3回塗)程度	58.8	〃			
	b. 計						
	c. 土間コンクリート撤去部補修工事						
	碎石敷き	西側・北側土間撤去部 150t、再生	11.1	m3			
	土間コンクリート	Fc=18+3、S=15	0.3	〃			
	土間コンクリート打設費	人力	0.3	〃			
	コンクリート木こて押え		2.8	m2			
	アスファルト舗装	足洗い場部分 A-3-10、再生材	2.0	〃			
	c. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	d. 西側下屋鉄骨塗装工事						
	下地調整	既存塗膜除去共 屋外、RB種	56.1	m2			
	錆止め塗料塗り	鉛・クロムフリー B種	56.1	〃			
	SOP塗り	合成樹脂調合ペイント B種	56.1	〃			
	d. 計						
	e. 足洗い場新設工事						
	すきとり		2.1	m3			
	残土処分	自由処分、構内指示ヶ所	1.5	〃			
	埋戻し	すきとり土転用	0.6	〃			
	砕石敷き	再生	0.4	〃			
	土間コンクリート	Fc=18+3、S=15	0.6	〃			
	土間コンクリート打設費	人力	0.6	〃			
	普通合板型枠		4.0	m2			

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	型枠運搬費	10t車	4.0	m2			
	止水板	フラット 塩ビ製、150×5	8.0	m			
	鉄筋(SD295A)	D10	38.0	kg			
	鉄筋(SD295A)	D13	18.0	〃			
	鉄筋加工組立		54.0	〃			
	スクラップ控除	H2	1.0	〃			
	防水モルタル塗り	30t	5.8	m2			
	e. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内部改修工事						
	a. 金属工事		1.0	式			
	b. 左官工事		1.0	式			
	c. 塗装工事		1.0	式			
	d. 内装工事		1.0	式			
	e. 雑 工事		1.0	式			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内部改修工事						
	a. 金属工事						
	軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし@300	1.7	m2			
	軽量鉄骨天井下地	19形 下地調整	2.3	〃			
	天井点検口	450□、内外共額縁	3.0	ヶ所			
	a. 計						
	b. 左官工事						
	床モルタル塗り仕上げ	30t	0.7	m3			
	内壁モルタル塗り仕上げ	20t	68.9	m3			
	建具周囲モルタル詰め		5.1	m			
	建具周囲モルタル塗り		10.1	〃			
	b. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	c. 塗装工事						
	床サンダー掛け	荒掛、中掛、仕上掛	1058.0	m2			
	床ポリウレタン塗装	3回塗	1058.0	〃			
	幅木 SOP塗り	木部工程B種、下地処理RB種 細幅物	356.0	m			
	建具 EP-G塗り	現職員便所入口 ボード面工程B種、下地調整RB種	4.7	m2			
	木製棚 OS塗り	改修仕様 2回塗、素地付着物除去共	853.0	〃			
	既存モルタル面下地処理	内壁・柱型・梁型、モルタル下地 RB種	1,591.0	〃			
	EP-G塗り	内壁・柱型・梁型、モルタル下地 つや有、工程B種	1,591.0	〃			
	新設ボード面下地処理	工程B種	5.1	〃			
	EP-G塗り	ボード面、素地B種 つや有、工程B種	5.1	〃			
	鉄骨 下地調整 錆止め塗料用	RB種	210.0	〃			
	鉄骨 錆止め塗料塗り	A種鉛・クロムフリー、現場2回塗り 工程B種、屋外	210.0	〃			
	鉄骨 SOP塗り	工程B種塗料1種、屋外	210.0	〃			
	c. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	d. 内装工事						
	床高耐久抗菌塩ビシート張り	東リ:ノンワックスリュームRD-NW程度 2.0t	459.0	m2			
	階段滑り止め	エント'無し、幅35、ステンレス製	166.0	m			
	内壁強化石膏ボード二重張り	1時間耐火 15t+15t、片面、継目処理	5.1	m2			
	同上 四周シーリング	耐火シーリング 片面	16.7	m			
	クロス素地ごしらえ	工程B種 ボード・モルタル面	40.3	m2			
	内壁織物クロス貼り	並品	40.3	〃			
	d. 計						
	e. 雑 工事						
	ピアノ移動	音楽室	1.0	式			
	消火器BOX新設		1.0	ヶ所			
	e. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	建具工事						
	a. シャッター改修工事		1.0	式			
	b. 教室出入口引違い戸改修工事		1.0	式			
	c. 網戸取付工事		1.0	式			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	a. シャッター改修工事						
	SS-1	防火・防煙仕様、袖常時閉鎖扉 W3,150×H2,535	3.0	ヶ所			
	シャッター 取付調整費		3.0	〃			
	袖扉 取付調整費		3.0	〃			
	避難時停止装置結線調整費		3.0	〃			
	製品運搬費		3.0	〃			
	立会検査費		3.0	〃			
	a. 計						
	b. 教室出入口引違い戸改修工事						
	引違い戸改修	SUS重量用戸車4個、取付調整 撤去・処分費共	30.0	ヶ所			
	b. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	c. 網戸取付工事						
	AW-1 下部	W850×H648	68.0	ヶ所			
	AW-1 上部	W850×H1,348	68.0	ヶ所			
	AW-2 下部	W875×H648	20.0	ヶ所			
	AW-2 上部	W875×H1,348	20.0	ヶ所			
	AW-3	W850×H1,551	40.0	ヶ所			
	AW-4	W874×H1,548	2.0	ヶ所			
	AW-5	W928×H948	1.0	ヶ所			
	AW-6	W873×H953	2.0	ヶ所			
	AW-8	W848×H1,049	2.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	c. 計						

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	黒板工事	(搬入・取付調整費共)					
	UD式曲面黒板(スチールグリーン暗線)	W3600×H1200、アルミ枠、粉受 ピックアップレール、チョークボックス	10.0	ヶ所			
	音楽室5線入り UD式曲面黒板(スチールグリーン暗線)	W3600×H1200、アルミ枠、粉受 ピックアップレール、チョークボックス	1.0	〃			
	週間・学習・連絡 平面ホワイトボード(ホーローホワイト暗線)	W1900×H1230 アルミ枠、粉受	8.0	〃			
	週間・学習・連絡 平面ホワイトボード(ホーローホワイト暗線)	W1900×H930 アルミ枠、粉受	1.0	〃			
	週間予定表2面 上下式ホワイトボード(ホーローホワイト暗線)	W2560×H1760、アルミ枠 ピックアップレール	1.0	〃			
	月予定表 貼替え(ホーローホワイト暗線)	W1400×H1200 アルミ枠	8.0	ヶ所			
	貼替え(ホーローホワイト暗線)	W1860×H900 木枠	8.0	〃			
	貼替え(スチールグリーン暗線)	W3600×H1200 アルミ枠	2.0	〃			
	出欠状況 貼替え(ホーローホワイト暗線)	W1800×H1200 アルミ枠	1.0	〃			
	音楽室5線入り 貼替え(ホーローホワイト暗線)	W2740×H1200 木枠	1.0	〃			
	掲示板	W3600×H900 アルミ枠	4.0	〃			
計							

【 C 老朽改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	家具工事	(搬入・取付調整費共)					
	家庭科教室 K-1 教材・器具収納庫	ポリ合板F W6200×D450×H2850	1.0	ヶ所			
	保健室 K-2 備品収納庫	低圧メラミン、天板桧集成材UC、裏板ポリ板 W1960×D450×H900	1.0	〃			
	保健室 K-3 資料収納庫 下部	低圧メラミン、裏板ポリ板 W1870×D450×H960	1.0	〃			
	保健室 K-4 資料収納庫 上部	低圧メラミン、裏板ポリ板 W1870×D450×H860	1.0	〃			
	保健室 K-5 フトン収納庫	低圧メラミン、裏板ポリ板 W800×D800×H1900	1.0	〃			
	保健室 K-6 備品収納庫	低圧メラミン、裏板ポリ板 W1800×D490×H945	1.0	〃			
計							

【 D トイレ改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備工事		1.0	式			
2	外部改修工事		1.0	式			
3	内部改修工事		1.0	式			
合 計							

【 D トイレ改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	準備工事						
	a. 直接仮設工事		1.0	式			
	b. 外部解体・撤去		1.0	式			
	c. 内部解体・撤去		1.0	式			
	d. 撤去材 運搬・処分		1.0	式			
	計						
2	外部改修工事						
	a. 犬走り・土間復旧工事		1.0	式			
	b. 側溝復旧工事		1.0	式			
	c. 外壁新設工事		1.0	式			
	計						

【 D トイレ改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	内部改修工事						
	a. 直接仮設工事		1.0	式			
	b. 床コンクリート工事		1.0	式			
	c. 石・タイル工事		1.0	式			
	d. 金属工事		1.0	式			
	e. 左官工事		1.0	式			
	f. 塗装工事		1.0	式			
	g. 内装工事		1.0	式			
	h. その他工事		1.0	式			
	計						

【 1 準備工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	a. 直接仮設工事						
	墨出し		113.0	m2			
	内部養生費		113.0	〃			
	内部跡片付		113.0	〃			
	a. 計						
	b. 外部解体・撤去						
	軽量シャッター撤去	Box、ハンガー受かバー共 W1,800×H2,000	3.6	m2			
	カッター切断	コンクリート面	21.1	m			
	コンクリート 撤去	犬走り、側溝 人力・ハンドブレード併用、集積場	0.5	m3			
	b. 計						

【 1 準備工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	c. 内部解体・撤去						
	カッター切断	コンクリート面	99.5	m			
	カッター切断	モルタル面	33.4	〃			
	土間コンクリート 撤去	集積共	5.4	m3			
	棚板テラゾーブロック撤去	集積共 25t	0.1	〃			
	人研流し撤去	集積共 下地コンクリート共	2.0	〃			
	間仕切壁 撤去	集積共 CB100t、タイル共	15.3	〃			
	内壁モルタル撤去	集積共 タイル共	128.0	m2			
	床塩ビシート撤去	集積共 2t	27.4	〃			
	ソフト幅木撤去	集積共 H=100	6.2	m			
	鋼製建具撤去	枠共、集積共 ハンガードア、片開き戸	14.3	m2			
	トイレブース 撤去	集積共 40t	33.4	〃			
	木製棚撤去	家庭科準備室 集積共	9.4	m3			
	天井ロックウール吸音板撤去	集積共、下地石膏ボード'9t共 9t、フラットタイプ	103.0	m2			
	天井下地組撤去	集積共、インサート再利用 19型	71.4	〃			
	c. 計						

【 1 準備工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	d. 撤去材 運搬・処分						
	撤去材 積込費	コンクリート類	27.1	m3			
	撤去材 積込費	鉄類	0.4	〃			
	撤去材 積込費	ガレキ類	1.5	〃			
	撤去材 積込費	木材類	1.6	〃			
	撤去材 積込費	廃プラ類	0.1	〃			
	撤去材 積込費	石こうボード類	0.9	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、コンクリート類、10t車 DID区間無し、バックホウ	27.1	m3			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、鉄類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.4	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、ガレキ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	1.5	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、木材類、10t車 DID区間無し、バックホウ	1.6	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、廃プラ類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.1	〃			
	撤去材 運搬費	7.5km以下、石こうボード類、10t車 DID区間無し、バックホウ	0.9	〃			

【 1 準備工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去材 処分費	コンクリート類、再資源化	49.5	ton			
	撤去材 処分費	鉄くずH2	334.0	kg			
	撤去材 処分費	ガレキ類	2.2	ton			
	撤去材 処分費	木材類	0.9	〃			
	撤去材 処分費	廃プラ類	0.1	〃			
	撤去材 処分費	石こうボード類	0.9	m3			
	d. 計						

【 2 外部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	a. 犬走り・土間復旧工事						
	犬走り 復旧		0.4	m2			
	土間 復旧		3.9	〃			
	a. 計						
	b. 側溝復旧工事						
	側溝 復旧		0.5	m			
	b. 計						
	c. 外壁新設工事						
	躯体コンクリート	Fc=21+3N、S=15	0.6	m3			
	コンクリートポンプ圧送		0.6	〃			
	コンクリート打設手間	躯体	0.6	〃			
	普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部3.5～4.0m程度	7.5	m2			
	型枠運搬費	10t車	7.5	〃			

【 2 外部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鉄筋(SD295A)	D10	83.0	kg			
	加工組立費	RCラーメン構造	80.0	//			
	運搬費	10t車	80.0	//			
	スクラップ控除	H2	2.0	//			
	さし筋アンカー	D10×450L	50.0	ヶ所			
	外壁モルタル塗り	25t	3.8	m2			
	外壁周囲シーリング	PU-2、幅15以下	7.8	m			
	c. 計						

【 3 内部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	a. 直接仮設工事						
	内部仕上足場	内部改修	113.0	m2			
	a. 計						
	b. 床コンクリート工事						
	1階来客用便所土間 復旧		15.9	m2			
	1階生徒用便所土間 復旧		20.3	〃			
	2階、3階生徒用便所スラブ補強	和便、PS部:PL-6×450×700 ケミカルアンカー(TG-12R)×6本	10.0	ヶ所			
	b. 計						

【 3 内部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	c. 石・タイル工事						
	天板 花こう岩	20×120 本磨き	21.0	m			
	内壁タイル張り	RC・CB面、100角 改良圧着張り、タイプⅢ	69.8	m2			
	内壁タイル張り	モルタル・ボート面、100角、施釉 接着、タイプⅢ	151.0	〃			
	c. 計						
	d. 金属工事						
	軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし@300	181.0	m2			
	軽量鉄骨壁下地	75形 下地張りなし@300	12.6	m2			
	軽量鉄骨天井下地	19形 下地調整	25.0	〃			
	軽量鉄骨天井下地	19形	77.2	〃			
	天井点検口	450□、内外共額縁	3.0	ヶ所			
	d. 計						

【 3 内部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	e. 左官工事						
	床モルタル塗	28t	16.6	m2			
	床モルタル塗	48t	78.6	〃			
	内壁モルタル塗	20t	61.8	〃			
	内壁モルタル塗	内壁タイル下地	69.8	〃			
	開口部額縁モルタル塗		46.3	m			
	e. 計						
	f. 塗装工事						
	既存梁モルタル面 下地調整	RB種	3.0	m2			
	既存内壁モルタル面 下地調整	RB種	52.6	〃			
	既存梁モルタル面 EP-G塗	工程B種(見上げ) 塗替え面	3.0	〃			
	f. 計						

【 3 内部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	g. 内装工事						
	床防滑性塩ビシート張り	東リ:消臭NST7レ程度 2.0t	99.1	m2			
	内壁構造用合板張り	特類 F☆☆☆☆ 2級C-D 12t	256.0	//			
	内壁石こうボード張り	12.5t、GB-R	193.0	//			
	内壁強化石こうボード二重張り	1時間耐火 15t+15t、片面、継目処理	5.1	//			
	同上 四周シーリング	耐火シーリング 片面	16.7	m			
	内壁ビニルクロス	中級品 定価1,000円/m2程度	195.0	m2			
	天井化粧石こうボード張り	9.5t、GB-D トラバーチン	25.0	//			
	天井ロックウール吸音板張り	DR、フラット、9t、不燃 下地GB-NC9.5t共	84.1	//			
	回り縁 塩ビ見切	突付け	85.2	m			
	g. 計						

【 3 内部改修工事 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	h. その他工事						
	ピクトサイン	突出し型、白アクリルつや有 170×151×5、金具SUS304(HL)	4.0	ヶ所			
	ピクトサイン	平付型、白アクリルつや有 153×151×5	8.0	〃			
	トイレブース	両面ポリ合板、ペーパーコア、アルミ 40t、扉共、掃除具入内金物共	82.7	m2			
	ボード取合いシーリング	旧開口部分 MS-2、幅15以下	102.0	m			
	来客用便所 飾り棚	タモ集成材、700×300×30t SUS受金物、2-UC塗共	2.0	ヶ所			
	g. 計						

【 共通仮設費積み上げ分 】							
	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	交通誘導員	20日×6ヶ月	120	人			
	ラフタークレーン	60t、ホﾟﾚｰﾀ付	8	日			
	仮囲い	防災ｼｰﾄ張り 単管支柱、期間6ヶ月	540	m			
	ｼｰﾄﾞﾞｰﾄ	期間6ヶ月 W6.0×H3.0	7	ヶ所			
	ｼｰﾄﾞﾞｰﾄ	期間6ヶ月 W3.0×H3.0	2	ヶ所			
	作業スペース敷き鉄板	期間6ヶ月 PL-22	959	m2			
	車両通行部砕石敷き	150t	883	m2			
	車両通行部真砂土敷き均し	100t、転圧共	88.3	m3			
	親ぐい横矢板	自立山留め(H-300) 生徒用通路新設、期間6ヶ月	52.8	m2			
	生徒用仮設通路部砕石敷き	真砂土上部 150t	62.1	m2			
	生徒用仮設通路部真砂土敷き	転圧共 生徒用通路新設	137	m3			
	同上真砂土処分	場内敷き均し	137	m3			
	入り口フェンス撤去・設置		1	式			
	VOC試験	ホルムアルデヒド・トルエン・スチレン・エチルベンゼン ・パラジクロロベンゼン 同時測定	11	室			
	1F:保健、会議、CR、家庭 2F:CR×1、図書、図工						
	3F:CR×1、視聴、音楽、理科						
合 計							

現場説明書

一般的事項 1

平成 27 年 4 月 1 日改正

1 仕様書の適用について

この契約において適用する仕様書は、特に定めのない限り『平成25年度版公共建築工事標準仕様書（建築工事編）』とする。

2 法令等の遵守について

- (1) 建設業法、労働安全衛生法等の各種関連法令を遵守し、法令に抵触する行為は行わないこと。
- (2) 建設業からの暴力団排除の徹底について
ア 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受け、または監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。
- (3) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者をいう。）は、建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

3 下請関係の適正化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」（平成3年2月5日付建設省経構発第2号建設省建設経済局長通知）の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、適正な価格による下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、及び下請における雇用管理等の指導等に努めること。
- (2) 受注者は、下請契約を締結した場合は、下請契約締結の日（元請人を除く下請注文者の行った下請契約締結を含む。）の翌日から起算して20日以内に建設業法第24条の7に規定する施工体制台帳及び施工体系図の写し並びに同法施行規則第14条の2及び同規則第14条の4に規定する添付書類を提出しなければならない。
- (3) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、原則として市内に本店又は支店、営業所等を有する業者（以下「市内業者」という。）と契約すること。ただし、技術的に施工できる市内業者がない工事等を請け負わせ、又は委託する場合、あるいは市内業者で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、監督員に事前協議して市外業者と契約することができる。
- (4) 建設業退職金共済制度への加入等
ア 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請を含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加済済みで、建退共に加済することができないと認められる場合は、この限りでない。
イ 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
ウ 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

4 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
受注者は、請け負った工事に従事する全ての下請業者に対して、上記と同様に社会保険等加入の指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するように努めること。

現 場 説 明 書

一般的事項 2

5 労働安全衛生の確保について

労働災害のリスク低減のため、「建設工事における労働災害防止のためのリスクアセスメント等について」（平成23年9月30日付第201100099979号県土整備部長通知）に基づくリスクアセスメント等に積極的に取り組むこと。

6 建設資機材の使用について

(1) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」（平成22年1月20日付第200900157785号県土整備部長通知）に基づくリサイクル製品がある場合は、原則これを使用すること。

(2) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

ア 県内産の資材がある場合は、県内産の資材を使用すること。

イ 県外産の資材を使用する場合は、県内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「県内販売業者」という。）から購入した資材を使用すること。ただし、当該資材について県内販売業者がない場合は、この限りでない。

(3) 建設機械の使用について

ア 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

イ 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）又は建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等（以下「不正軽油」という。）を使用しないこと。

また、使用燃料の抜き取り検査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うとともに、不正軽油の使用が発見された場合には、当該燃料納入業者を排除するなどの是正措置を講じること。

(4) ダンプトラック等による運搬について

ア 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

イ 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにするなど違法運行を行わせないようにすること。違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7 リサイクルの促進について

建設リサイクル法、「鳥取県県土整備部公共工事建設副産物活用実施要領」（平成22年9月13日付第201000087971号県土整備部長通知）に基づき建設副産物のリサイクル等に努めること。

8 消費税法及び地方消費税法の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された添加拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

9 その他

受注者は、工事請負代金額500万円以上の工事について、受注、変更、訂正及び完成時10日以内に工事实績情報サービス（CORINS）に工事实績情報の登録を行い、登録内容確認書を印刷して発注者に提出すること。

現 場 説 明 書

特記事項 1

仕様書	① 平成27年4月21日時点で最新の仕様書によること。
工程	① (他工事等との調整) 建築主体工事については、機械設備工事及び電気設備工事と関連するので、相互の連絡調整を密にすること。 ② (着工時期・工程) この工事は別添工程表のとおり工期を想定している。 ③ (部分完成、着工保留) 管理教室棟内部(トイレ及び学校運営に支障とならない部分を除く)については、2学期始業日まで完成すること。 ④ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:00~17:00)を見込んでいる。施工時間は、8:30~17:00とする。 ⑤ (施工時期制限) 学校運営に支障となる騒音・振動及び臭気が発生する作業は、土日祝日及び夏季休業等の学校休業日並びに放課後に行うこと。 ⑥ (配置技術者等) この工事の配置技術者等は、工事着工の日までに配置すること。 ⑦ (部分使用) 工事が完了した部分は、監督員の確認後、部分使用をする。
関係地	① ~~(用地、物件等未処理)~~ 本工事区間の _____ には _____ があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、 _____ 頃 _____ の予定である。
支障物件	① 埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、一部未調査である。 ② ~~(支障物件)~~ _____ の施工に当って、 _____ が支障となっているが、 _____ までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③ ~~(立木の置き場所)~~ 工事用地内の立木は伐採し、 _____ に置くこと。
公害対策	① (低騒音型・低振動型建設機械) 本工事のうち全ての施工箇所において、特に学習環境に配慮する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示。平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種: _____ 全ての工種 _____、施工機械: _____ 該当する全ての機械 _____
安全対策	① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A _____ 人(交替要員〔有り・無し〕 _____ 日 合計 _____ 人 交通誘導員B: 1~2人(交替要員〔 _____ 無し 〕 _____ 日 合計 延べ120人 警備業法に規定する警備員を配置する場合における交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は次のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条第1項に規定する以外の者を配置し、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合においては、交通誘導員Bを配置しているものとみなす。
道路工事用	① ~~(農地の一時転用について)~~ 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する場合は、農地の一時転用が必要である。そのため、受注者は、「公共事業の施行に伴う附帯施設の設置に係る一時転用の取扱いについて」(平成24年10月15日付第201200109101号経営支援課長通知)に基づき、着手前に本工事が公共事業であることが証明された報告書を所轄農業委員会へ提出すること。
仮設物	① (仮囲い等の範囲、構造) 工事範囲とその他を明確に区画して、第三者が工事範囲に立ち入らないようにし、また、第三者に危害が及ばないように対策を講じること。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。
濁水・排水処理	① ~~(濁水処理)~~ 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うこと。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。

現場説明書

特記事項 2

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

- ①（~~他工事等流用~~） 建設発生土は、 市・町・村 地内の 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）とするものとする。
- ②（~~建設技術センター~~） 建設発生土は 市・町・村 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 km）とするものとする。なお、処理費として1 m³当たり 円をセンターに支払うこと。
センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。
（土質性状 （記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m²以上）
- ②（自由処分） 建設発生土は敷地内敷均しとする。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

- ③（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。
- コンクリート塊 1 t 当り 2,000 円
アスファルト塊 1 t 当り 2,000 円
建設発生木材 1 t 当り 10,000 円
- ⑤（~~他工事等流用~~） [Co塊・] は、 市・町・村 地内 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。
- ⑥（~~再資源化施設へ搬出~~） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。
再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。
なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。
（施設の名称・受入れ費用）
コンクリート塊 倉吉市鴨川町地内の㈱クレー（運搬距離5.9km）、費用1 t 当り2,000円
アスファルト塊 倉吉市鴨川町地内の㈱クレー（運搬距離5.9km）、費用1 t 当り2,000円
建設発生木材 倉吉市関金町郡家地内の㈱赤碓清埜（運搬距離5.9km）、費用1 t 当り10,000円
その他（ ） 市 町地内の （運搬距離 ）、費用1 t 当り 円
（受入れ時間帯） 8時～17時（平日）
（受入れ条件）
ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は、それぞれ mm以下 mm以下であること。
ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 cm以下、長さ m以下であること。
エ 2次公害発生のおそれのある物質（廃油等）を含まないこと。
- ⑦（~~木材市場等への売却~~） 建設発生木材は 市・町・村 地内の への搬出（片道運搬距離 km）を想定し 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。
- ⑧（最終処理等） 廃プラ、ボード類については、倉吉市 鴨川町 地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 5.9 km）を想定し、その費用として1 t 当り15,000円、18,000円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。
- ⑨（産業廃棄物の処理に係る税） 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を1,000円/t見込んでいる。
- ⑩（~~建設発生木材の出来形数量~~） 建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。 計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

- ⑪（マニフェスト） 産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要。

現場説明書

特記事項 3

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） _____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所： _____ に使用する。 ②（再生資材の使用） 1） Co雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。 2） アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。 3） 再生クラッシャーラン〔規格：RCC-40 〕は、使用箇所： 砕石敷き適用部 に使用する。 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____ 〕は、使用箇所： _____ に使用する。 4） 再生加熱アスファルト混合物〔規格： _____ 〕は、使用箇所： _____ に使用する。 5） その他再生資材〔資材名： _____ 〕〔規格： _____ 〕は、使用箇所： _____ に使用する。
その他	①（境界杭・境界標） 本工事における道路上の全ての境界標は、必ず管理を行うこと。 ②（工事成績評定） 本工事は、災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事に〔該当する・該当しない〕ため、工事評定の〔対象とする・対象としない〕。（※災害復旧工事に適用） ③（技能士常駐） 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 1） 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、仕様書根拠： _____ 1－ 頁 2） 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、仕様書根拠： _____ 1－ 頁 3） 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、仕様書根拠： _____ 1－ 頁 ④（寒中コンクリート） 本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月 7 日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。 ○（ _____ ）

※ 明示する項目を _____ 部分に記入又は追記し、不要部分は _____ で削除して使用すること。

別表 2

建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）
分 別 解 体 等 の 計 画 等

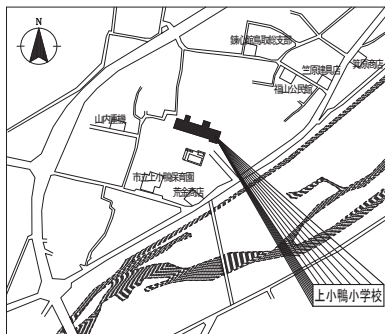
使用する特定建設資材の種類※		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築 3 6 年 R C 造 3 階 建（露出シート防水）		
	周辺の状況	住宅地		
	作業場所の状況	敷地内に確保し作業可能		
	搬出経路の状況	前面道路（市道石塚鴨河内線）幅員 9. 0m 直接搬出		
	残存物品の有無	有（木製棚、書架、楽器類）		
	付着物の有無 （修繕・模様替工事のみ）	吹付材及び塗装		
	その他 （ ）	一部敷地内舗装の修繕		
工事着手前に実施する措置の内容	作業場所の確保	仮囲い及び入口ゲートの設置		
	搬出経路の確保	前面道路へ搬出の為支障なし		
	その他 （ ）			
工事着手の時期※		平成 2 7 年 月 日		
工程ごとの作業内容	工程	作業内容		
	①造成等	造成等の工事 ☐ 有 ☒ 無		
	②基礎・基礎杭	基礎・基礎杭の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	④屋根	屋根の工事 ☐ 有 ☒ 無		
	⑤建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の工事 ☒ 有 ☐ 無		
	⑥その他	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材の発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	発生が見込まれる部分又は使用する部分（注）
		☒ コンクリート塊	5 9 . 3 トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	0 . 1 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ 建設発生木材	2 . 2 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥
	（注）①造成等 ②基礎・基礎杭 ③外装材・上部構造部分 ④屋根 ⑤建築設備・内装材等 ⑥その他			
備考 アスファルト・コンクリート塊については、敷地内整地部分の舗装材の修繕等				

※以外の事項は法第 9 条第 2 項の基準に適合するものでなければなりません。
☐欄は、該当する場合に「レ」を付すこと。

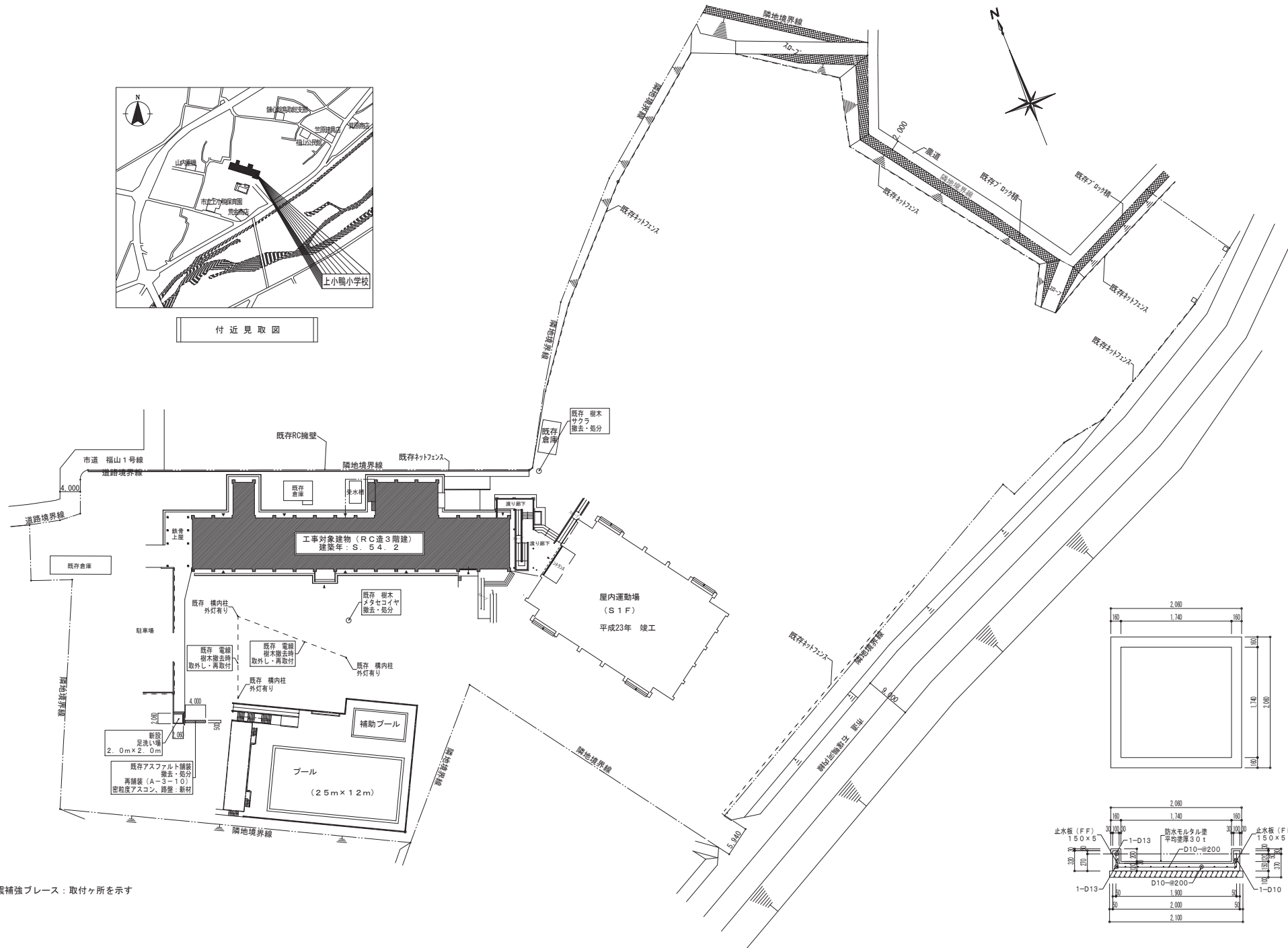
上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体） 工事

【 図 面 リ ス ト 】							
図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称	図面No.	図 面 名 称
A- 0	タイトル	A-2 1	1 階建具表	A-4 2	1 階保健室・放送室 展開図	C- 3	基礎リスト
A- 1	配置図・附近見取図	A-2 2	2 階建具表	A-4 3	2 階 C R 室（3・2 年） 展開図	C- 4	1 階柱・2 階梁伏図
A- 2	仮設計画図	A-2 3	3 階建具表	A-4 4	2 階 C R 室（4 年） 展開図	C- 5	2 階柱・3 階梁伏図
A- 3	建築工事特記仕様書（1）	A-2 4	1～3 階天井伏図	A-4 5	2 階 C R 室（さくら） 展開図	C- 6	3 階柱・R 階梁伏図
A- 4	建築工事特記仕様書（2）	A-2 5	Y 9 通り 断面図	A-4 6	2 階 C R 室（わかあゆ） 展開図	C- 7	軸組図ー1
A- 5	建築工事特記仕様書（3）	A-2 6	現況 1 階職員用便所周り 平面詳細図・展開図	A-4 7	2 階ローカ1 展開図	C- 8	軸組図ー2
A- 6	建築工事特記仕様書（4）	A-2 7	改修後 1 階職員用便所周り 平面詳細図・展開図	A-4 8	2 階ローカ2 展開図	C- 9	軸組図ー3
A- 7	建築工事特記仕様書（5）	A-2 8	現況 1 階生徒便所 平面詳細図・展開図	A-4 9	2 階図工室 展開図	C-1 0	軸組図ー4
A- 8	内部仕上表1	A-2 9	改修後 1 階生徒便所 平面詳細図・展開図	A-5 0	2 階図書室 展開図	C-1 1	軸組図ー5
A- 9	内部仕上表2	A-3 0	現況 1 階来客用便所 平面詳細図・展開図	A-5 1	3 階 C R 室 展開図	C-1 2	軸組図ー6
A-1 0	現況 1 階平面図	A-3 1	改修後 1 階来客用便所廻り 展開図	A-5 2	3 階ローカ1 展開図	C-1 3	スリット壁詳細図・柱リスト
A-1 1	現況 2 階平面図	A-3 2	改修後 1 階来客用便所 平面詳細図・建具表	A-5 3	3 階ローカ2 展開図	C-1 4	壁・小梁・スラブリスト
A-1 2	現況 3 階平面図	A-3 3	現況 2・3 階生徒便所 平面詳細図・展開図	A-5 4	3 階音楽室 展開図	C-1 5	梁リストー1
A-1 3	改修後 1 階平面図	A-3 4	改修後 2・3 階生徒便所 平面詳細図・展開図	A-5 5	3 階音楽準備室 展開図	C-1 6	梁リストー2
A-1 4	改修後 2 階平面図	A-3 5	1 階 C R 室 展開図	A-5 6	3 階視聴覚室 展開図	C-1 7	R C 造 袖壁補強詳細図
A-1 5	改修後 3 階平面図	A-3 6	1 階ローカ1 展開図	A-5 7	3 階倉庫・放送室 展開図	C-1 8	S 造 接合部納まり詳細図（基準図）
A-1 6	現況 立面図（1）	A-3 7	1 階ローカ2 展開図	A-5 8	3 階理科室 展開図	C-1 9	S 造 梁増打納まり詳細図
A-1 7	現況 立面図（2）	A-3 8	1 階家庭科室 展開図	A-5 9	3 階理科準備室 展開図	C-2 0	S 造 増打梁アンカー位置図
A-1 8	改修後 立面図（1）	A-3 9	1 階校長室・脱衣室 展開図	A-6 0	黒板・家具図	C-2 1	S 造 V 型ブレース補強詳細図
A-1 9	改修後 立面図（2）	A-4 0	1 階昇降口・玄関 展開図	C- 1	特記仕様書	C-2 2	S 造 V 型ブレースカバー詳細図
A-2 0	R 階屋根伏図	A-4 1	1 階職員室・印刷室 展開図	C- 2	基礎伏図		

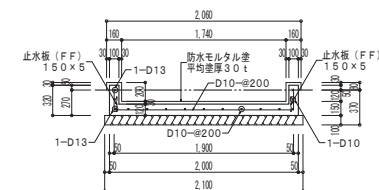
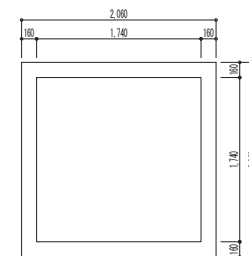
エーアンドエス建築研究室



付 近 見 取 図



▲ 耐震補強ブレース：取付ヶ所を示す



業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

配 置 図

SCALE

1 : 500

DATE

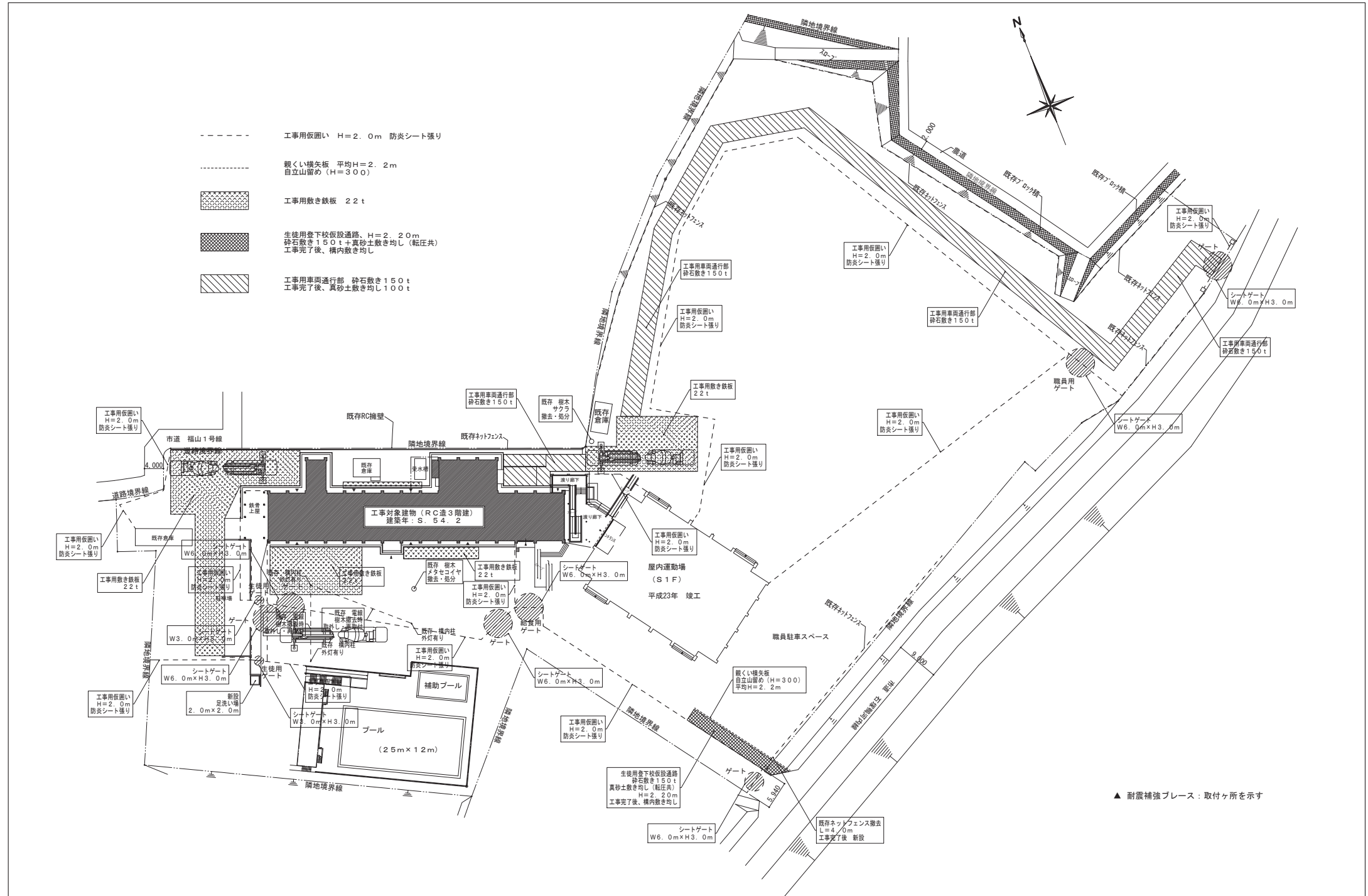
2014. 11

エーアンドエス建築研究室

一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

図面番号

A-1

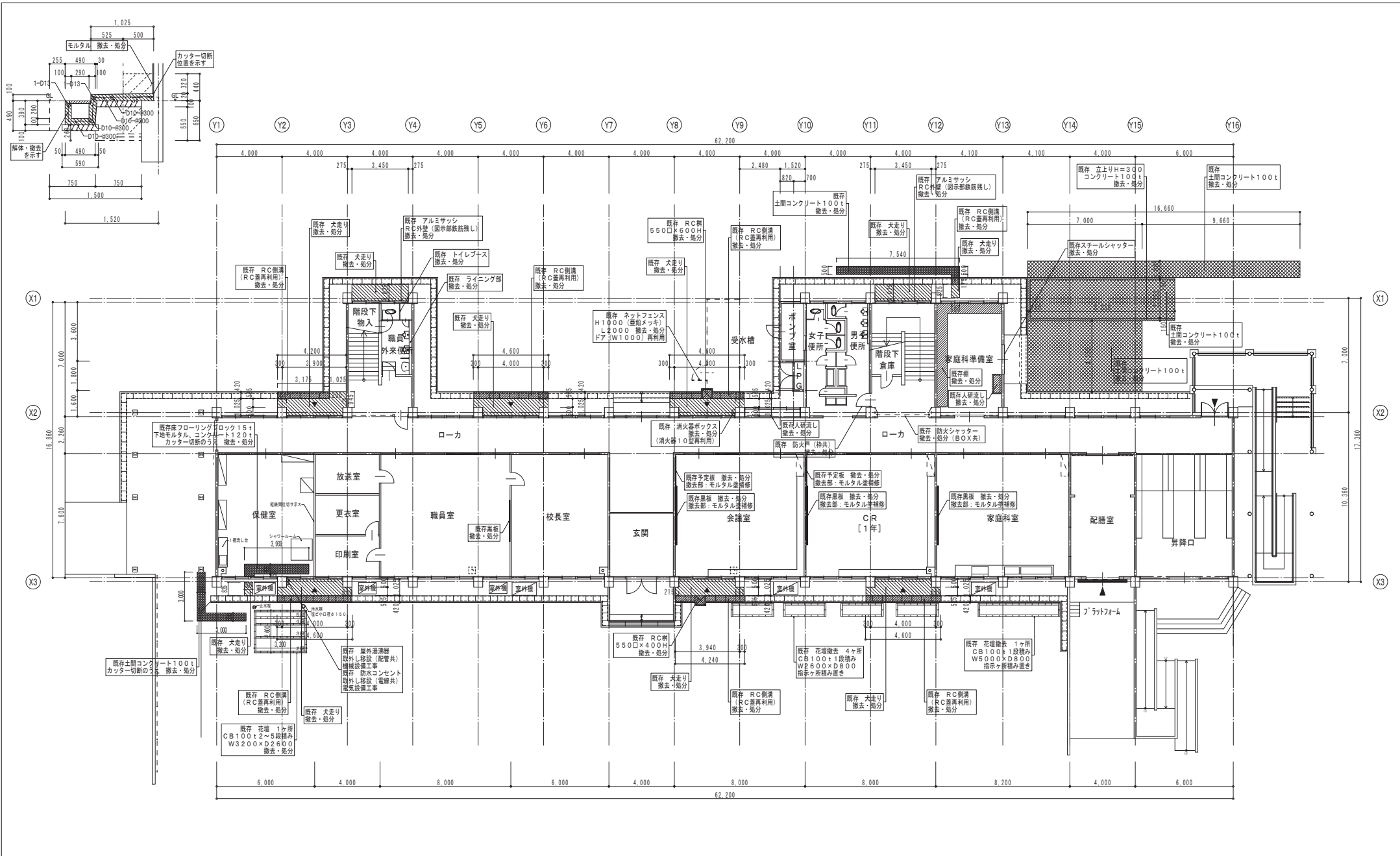


業 務 名	上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体）工事	建築工事特記仕様書（４）	SCALE NO SCALE	DATE 2014. 11	エーアンドエス建築研究室 一級建築士 秋本文男 登録（大臣） 第172908号	図面番号 A－6
-------	-------------------------	--------------	-------------------	------------------	---	-------------

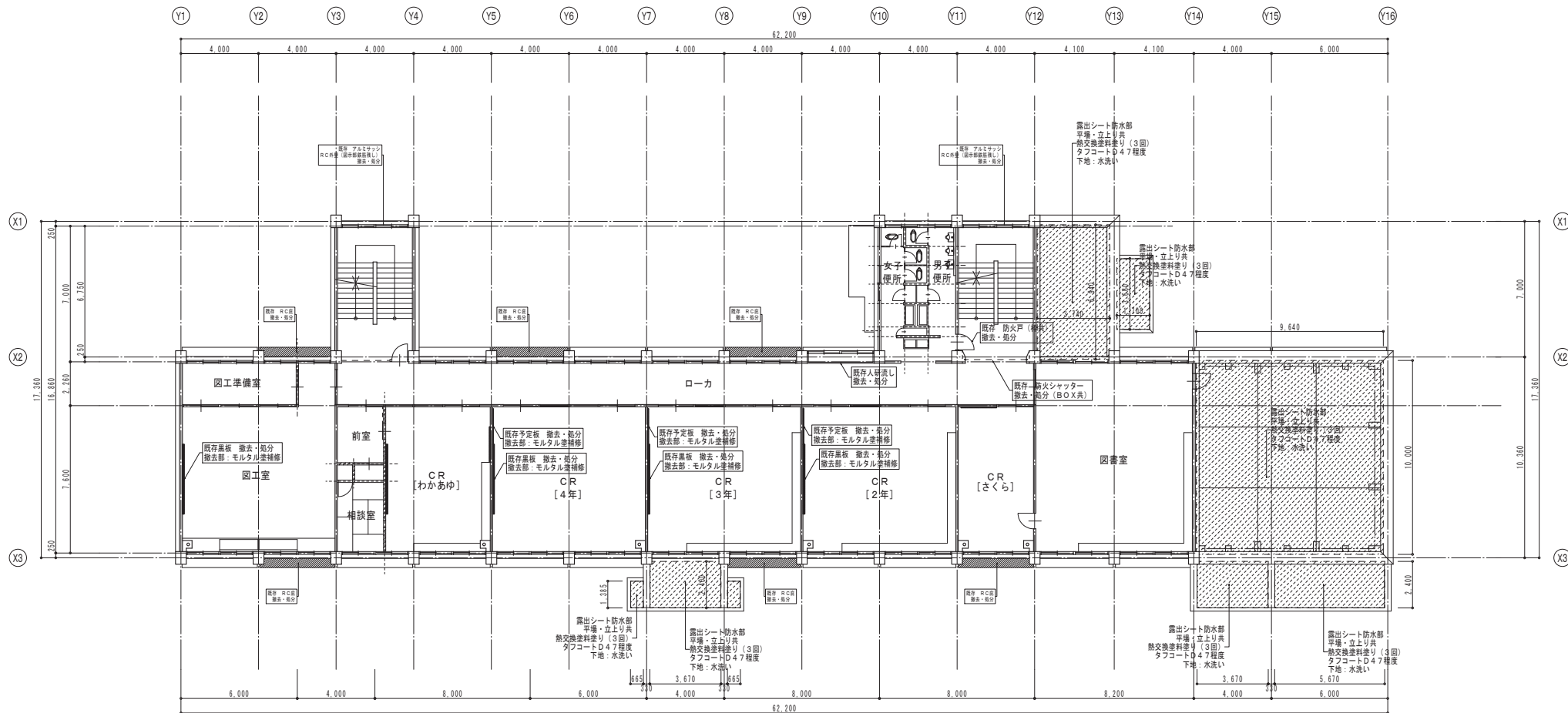
業 務 名	上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体）工事	建築工事特記仕様書（５）	SCALE NO SCALE	DATE 2014. 11	エーアンドエス建築研究室 一級建築士 秋本文男 登録（大臣） 第172908号	図面番号 A－7
-------	-------------------------	--------------	-------------------	------------------	---	-------------

階	室 名	床	巾木	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考		
1	現況 改修後	昇降口 "	炉器質無軸タイル貼200×100 現況のまま（清掃のみ）	テラゾーブロック 一部木製 H＝100 SOP 塗 木製部：下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700～ 2,850 現況のまま	既設キマツト：1800×600塩ビ貼（ステン付付）、卓立て：500×750×300 コート掛け、下足入、スノコ板、掲示板、鏡 既存鋼錠卓たて：下地処理RⅡ種、SOP塗り（Ⅱ種）		
1	現況 改修後	売店 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,400 現況のまま	陳列ケース、櫃、戸棚		
1	現況 改修後	家庭科室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 既存塩ビシート撤去・処分の上で 塩ビシート（消費NSTワレ程度）2 t貼	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	両面スチール黒板、日課表黒板、掲示板、美化用具ロッカー、手洗い流し、水栓、調理台、流し、コンロ台、戸棚 教員用調理台、給食口 新設 黒板 W＝1・・・ 既存撤去・処分（モルタル塗） 新設 卓具等 W＝1・・・ 既存撤去・処分（モルタル塗）		
1	現況 改修後	家庭科準備室 未客用便所	ブナフローリングブロック15 t貼 既存塩ビシート撤去・処分の上で 塩ビシート（消費NSTワレ程度）2 t貼	木製H＝100 SOP 塗 既存 撤去・処分 100角タイル張り（圧着・接着）	モルタル金コテ押え SPR 塗 別図参照（詳細図、展開図）	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 別図参照（詳細図、展開図）	塩ビ見切縁 2,700 2,500	タナ、戸棚 「既存 天板、入庫置き場」「撤去・処分」 別図参照（詳細図、展開図） 新設 飾り棚（赤地こしらえⅡ種、1-U塗りⅡ種）、ピクトサイン（突出し型、平付け型） 新設 開閉切差・トイレブース等 衛生器具・配管 新設（機械設備）、照明器具・配管等 新設（電気設備）		
1	現況 改修後	給食配膳室 "	塩ビ系シート貼2,0 t 下地：モルタル金コテ押え 現況のまま	ソフト幅木 H＝100 現況のまま（清掃のみ）	モルタル金コテ押え（一部：ボード下地）EⅡ 塗 現況のまま（清掃のみ）	軽天下地化粧石膏ボード9,5 t張り 現況のまま（清掃のみ）	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	タナ、手洗い		
1	現況 改修後	階段下倉庫（東西共通） "	防水モルタル金コテ押え 現況のまま 耐震壁取合い部分：補修	モルタル金コテ押え 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	コンパネ打直し 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種、EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種 耐震壁新設部分：取合い補修	コンパネ打直し RCのまま 耐震壁取合い部 補修	2,300 現況のまま			
1	現況 改修後	CR（1年）、会議室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	両面スチール黒板、日課表黒板、教員用戸棚、戸棚、美化用具ロッカー、コップ及び給食白衣ロッカー、個人ロッカー 両面黒板、縦板台、スクリーンボックス 新設 黒板等 W＝1、W＝3、W＝4、W＝6・・・ 既存撤去・処分（W＝1、W＝3部分：モルタル塗）		
1	現況 改修後	玄関 "	磁器質100角タイル貼 現況のまま（清掃のみ）	テラゾーブロック貼H＝100 現況のまま（清掃のみ）	モルタル金コテ押え 吹付タイル 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700～ 2,850 現況のまま	職員用・外来用下足入、卓立て、既設キマツト：塩ビ貼1800×600（ステン付付）		
1	現況 改修後	校長室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え 一部石膏ボード9 t貼貼J B12 t（ジョイント工法） クロス貼 防虫加工（中継品程度） 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種、EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種 既存クロス撤去・処分 吹付ロス（廃物？ロス、品目）張り	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	手洗い、美化用具ロッカー、ロッカー、戸棚、書棚		
1	現況 改修後	職員室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	軽鉄間仕切り 石膏ボード9 t貼貼J B12 t（ジョイント工法）SPR 塗 一部 モルタル金コテ押え 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	個人ロッカー、行事黒板、日課表黒板、ステン流し台K4型、戸棚 新設 黒板等 W＝8、W＝9・・・ 既存撤去・処分		
1	現況 改修後	放送室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	硬質繊維板12 t有孔ラT2B5.5 t SOPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	黒板		
1	現況 改修後	更衣室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	軽鉄間仕切り 石膏ボード9 t貼貼J B12 t（ジョイント工法）SPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま			
1	現況 改修後	印刷室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	軽鉄間仕切り 石膏ボード9 t貼貼J B12 t（ジョイント工法）SPR 塗 一部 モルタル金コテ押え 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	棚、黒板、台		
1	現況 改修後	保健室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	月行事務黒板、黒板、アルミカーテンレール、日誌黒板、戸棚、給食口（内プラスチックレジスター）、ステン流し 両面戸棚、鏡、カーテン 新設 卓具等 K＝2～6・・・ 既存撤去・処分		
1	現況 改修後	職員便所 男性教諭更衣室	コインモザイク19φ貼 下地：モルタル 現況のまま（清掃のみ） 和風便器・ライニングC撤去部：モルタル塗り	100角物タイル（半磁器） 別図参照（詳細図、展開図）	100角物タイル（半磁器） 別図参照（詳細図、展開図）	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 一部既設打直し（アクリル系リシン改付（職員、外来用便所）） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,400～ 2,500 一部：塩ビ見切縁 現況のまま			
2	現況 改修後	図書室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部 ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	書架、美化用具ロッカー、掲示板、カウンター、カーテンレール、カーテン		
2	現況 改修後	CR（わかあゆ） "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	美化用具ロッカー、地図黒板掛け、櫃、戸棚、地図掛け 新設 黒板等 W＝3、W＝6、W＝7・・・ 既存撤去・処分		
2	現況 改修後	CR（2～4年） "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部 ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	両面スチール黒板、日課表黒板、教員用戸棚、戸棚、美化用具ロッカー、コップ及び給食白衣ロッカー、個人ロッカー 両面黒板、縦板台、スクリーンボックス 新設 黒板等 W＝1、W＝3、W＝4、W＝6・・・ 既存撤去・処分（W＝1、W＝3部分：モルタル塗）		
2	現況 改修後	CR（さくら） "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部 ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	美化用具ロッカー、黒板、個人ロッカー、教員用戸棚、平面スチール黒板、マジックミラー 新設 黒板等 W＝5・・・ 既存撤去・処分		
2	現況 改修後	図工室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部 ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 3,000 現況のまま	棚、美化用具ロッカー、作品棚、戸棚、流し、スチール平面黒板 新設 黒板 W＝1・・・ 既存撤去・処分（モルタル塗）		
2	現況 改修後	準備室 "	ブナフローリングブロック15 t貼 サンダー掛け（荒掛・中掛・仕上掛） ポリウレタン塗装（3回塗り 1液性）	木製H＝100 SOP 塗 下地処理RⅡ種 改修仕様 SOP 塗（Ⅱ種）	モルタル金コテ押え SPR 塗 一部 ラT2B5.5mm 下地：掲示板用シート貼 下地調整（既存塗膜除去共）RⅡ種 EⅡ-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント）Ⅱ種	軽天下地石膏ボード9 t貼貼（ロックウール吸音板9 t×303×606） 現況のまま	塩ビ見切縁 2,700 現況のまま	櫃、戸棚		
業 務 名			上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体）工事		仕上表（1）	SCALE NO SCALE	DATE 2014.11	エーアンドエス建築研究室	一級建築士 秋本文男 登録（大臣） 第172908号	図面番号 A－8

[illegible]



▲ 耐震補強ブレース：取付ヶ所を示す



業務名
上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

現況 2階平面図

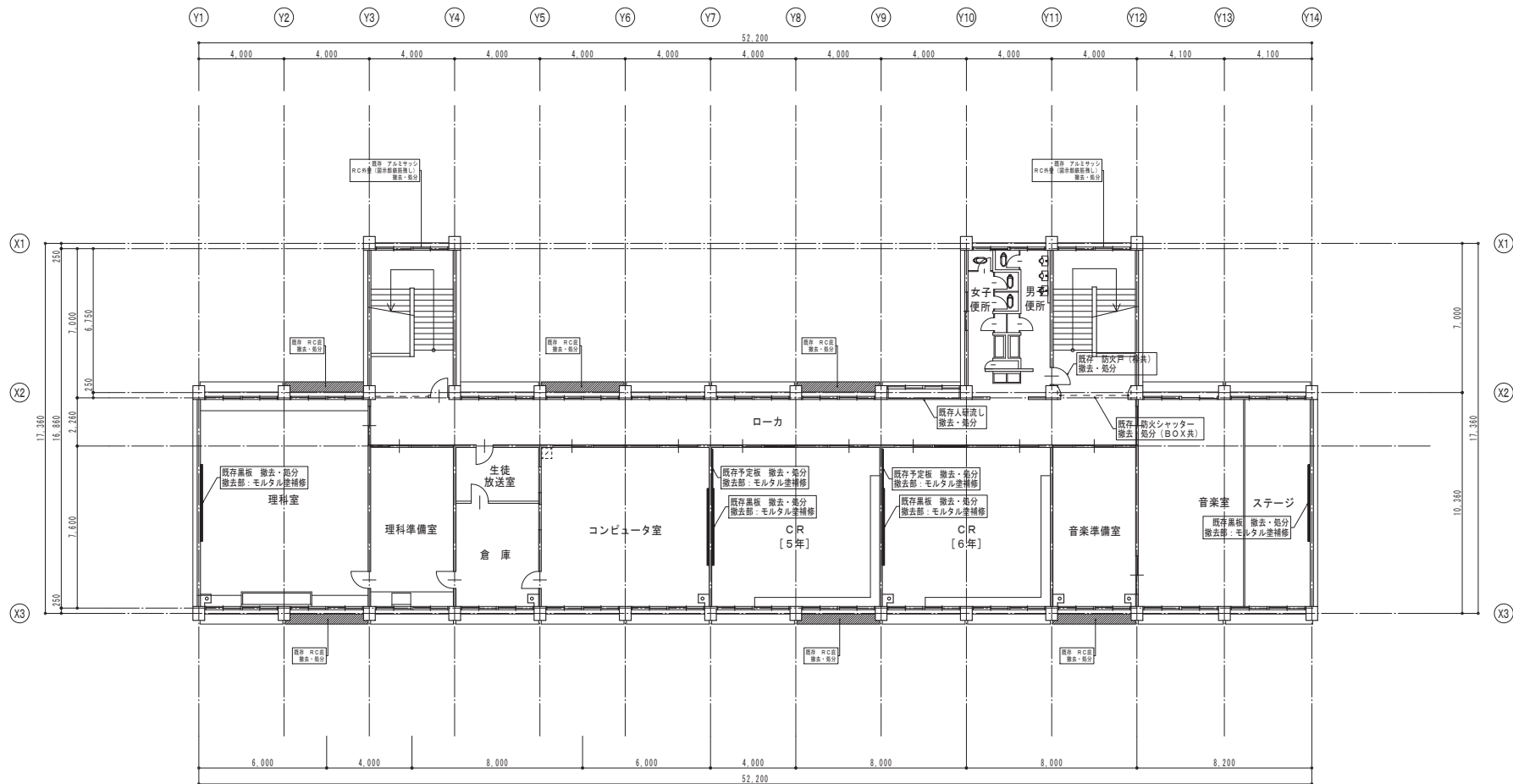
SCALE
1 : 150

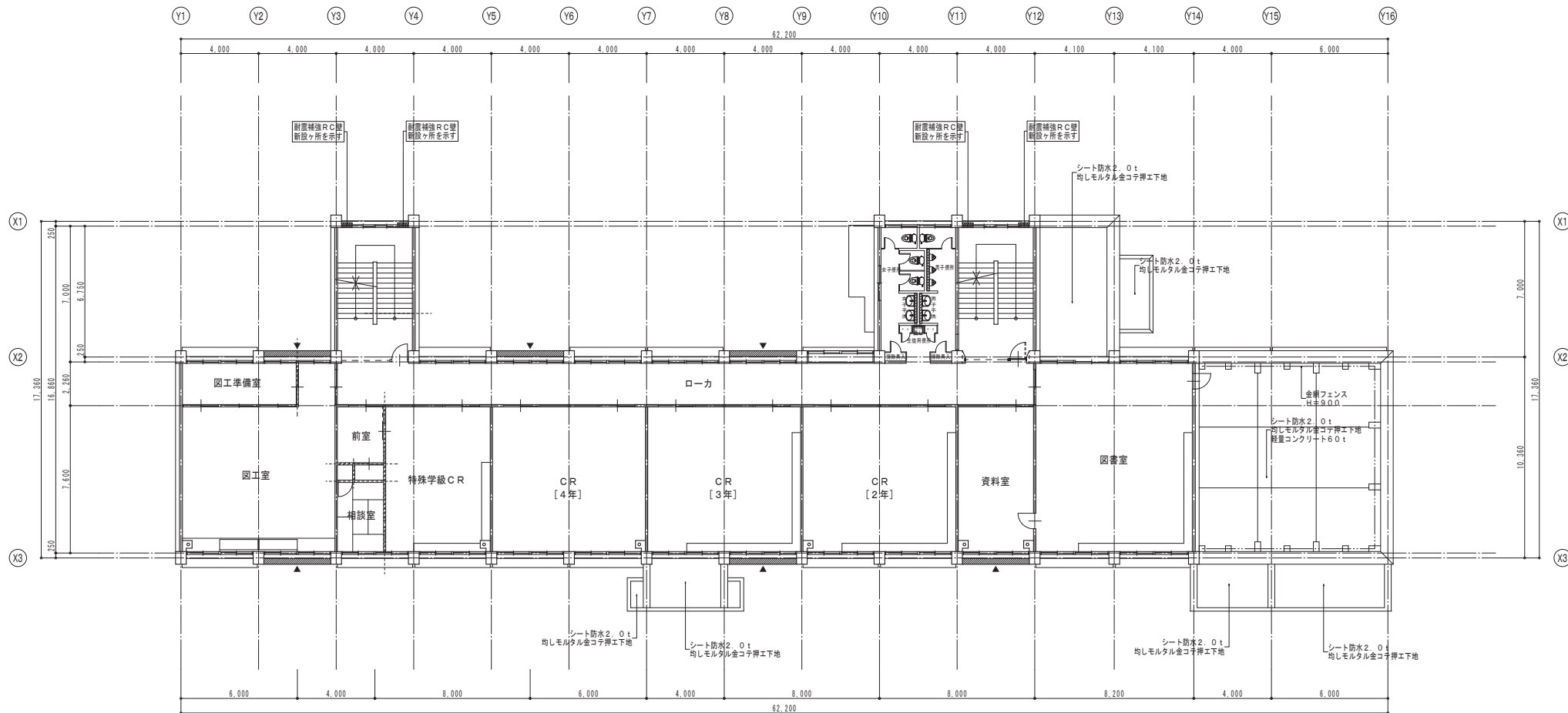
DATE
2014. 11

エーアンドエス建築研究室

一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

図面番号
A-1 1





耐震補強ブレース：取付ヶ所を示す

業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

改修後 2階平面図

SCALE

1 : 150

DATE

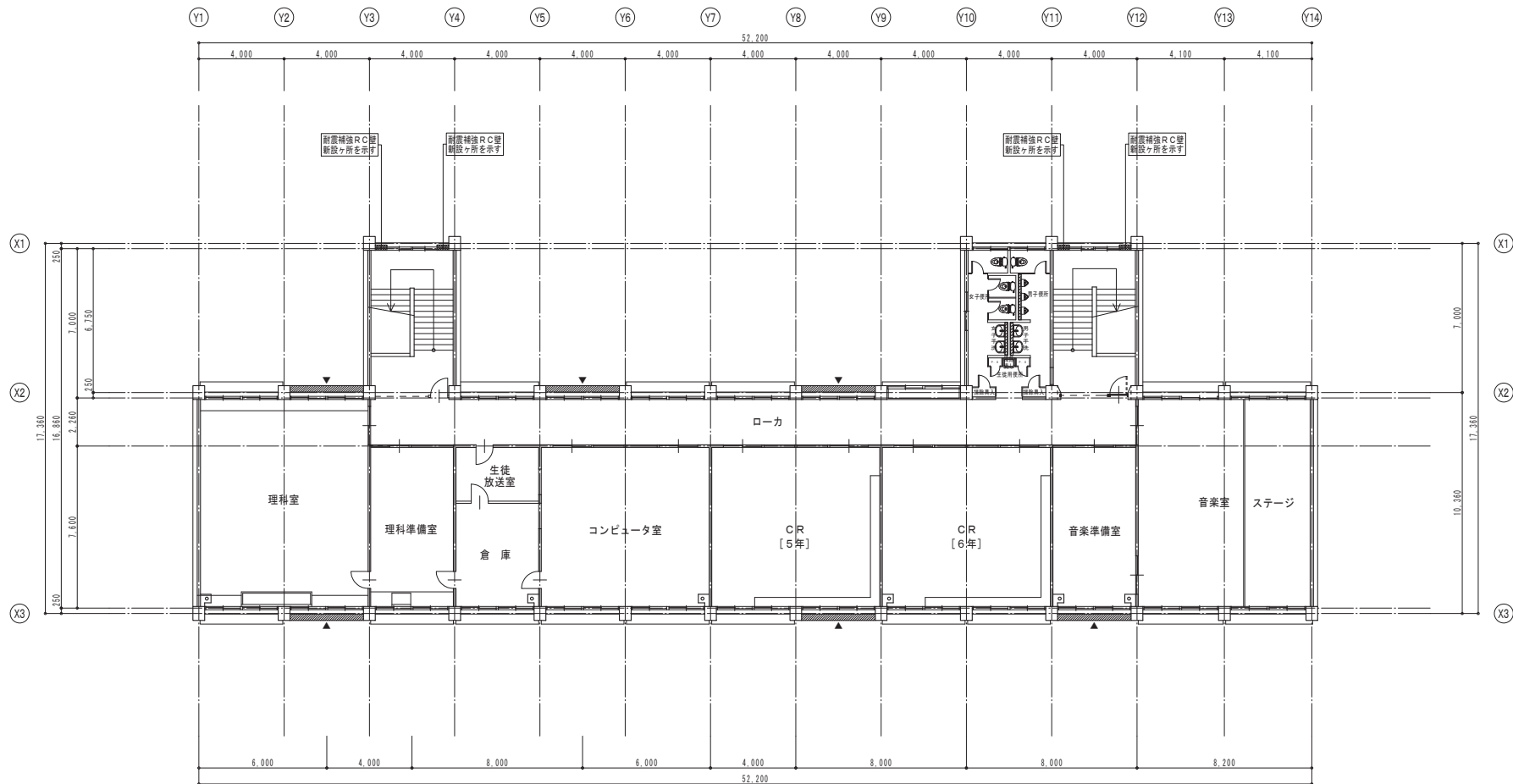
2014. 11

エーアンドエス建築研究室

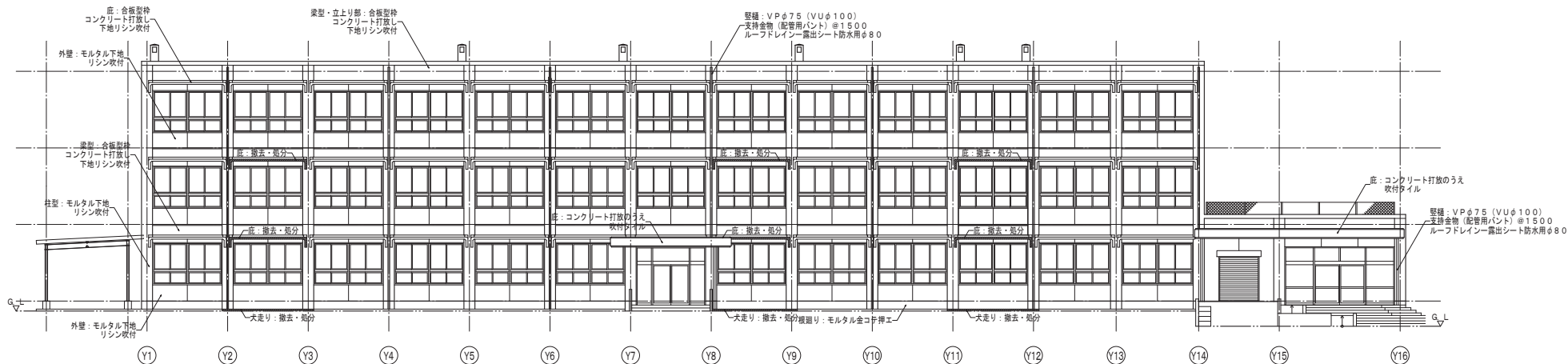
一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

図面番号

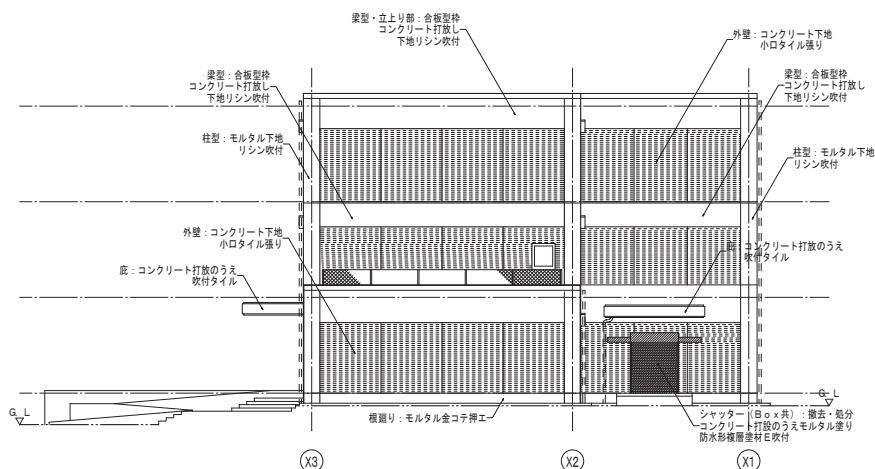
A-14



耐震補強ブレース：取付ヶ所を示す



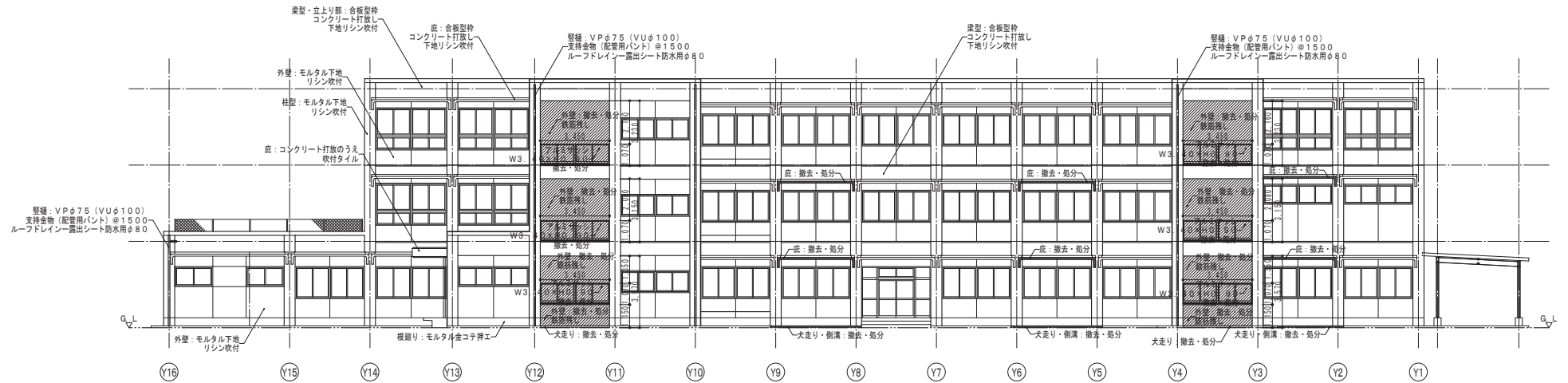
南側立面図 (X3通り) 1/150



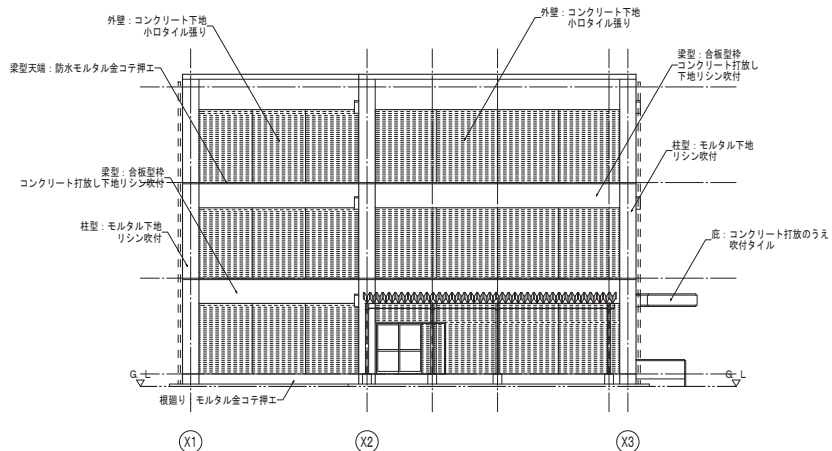
東側立面図 (Y12, Y13, Y16通り) 1/150

- ◎ 外部 現状仕様
- 外壁 (柱型): モルタル貼付目地切リシンA吹付 小口タイル貼
 - 屋根: EPT合成高分子ルーフィングシート露出防水2.0t レンシクルーシキ又は同等品以上 (内モルタル金コナ増し)
 - 小規模: 樹脂ポリスレン3.0t打放し 遮熱VP75 (防熱7.5付): EPT合成高分子ルーフィングシート防水2.0t 軽量コンクリート6.0t: モルタル金コナ増し目地切 (目地スラスラピッチ差し込み)
 - 欄干: モルタル金コナ増し
 - 大走り: コンクリート面平 (移利100t)
 - バラベト: 防水モルタル金コナ増し
 - 底: 合板型枠打放しリシンA吹付 窓木ーコンクリート打放し リシンA吹付
 - 壁柱: VP75 (VU75) 支持金物 (配管用バンド) 1500 ルーフドレーン露出シート防水用φ80
 - 開口部: アルミサッシ 見込み70
 - 梁: 合板型枠打放し リシンA吹付 天端ー防水モルタル金コナ増し
- 外 部
- (床開口) 床: 坪部質無機タイル貼 (200×100) 段差タイルー坪部質無機
- 断熱きマツ1800×600×15 格子差500×250×15 (縁断熱) 足返し, 手洗い, 水垢み
- 壁柱: 合成型枠打放し吹付タイル 窓木ーコンクリート打放し金コナ増し
- (天端) 床: 断熱質100角タイル貼 断熱質段差タイル150×75 断熱きマツ1800×600×15 格子差500×250×15 (縁断熱)
- 壁柱: 合成型枠打放し吹付タイル 窓木ーコンクリート打放し, 天端ー金コナ増し
- コンクリート打放し吹付タイル 防水砂層塗材E吹付
- シャッター (白×黄): 撤去・処分
- コンクリート打放し吹付のうえモルタル塗り
- 防水砂層塗材E吹付
- 施工: 全網フェンスH=1.00 サンボールL=5m又は同等品以上 (ベースコート) タラップステンφ19×400×300

- ◎ 外壁・軒裏・底・応受け梁・バラベト先端 改修仕様
- 既存外壁部等: 事前調査 → 目視・打診による確認 → マーキング・計測 → 図面記入
 - 既存外壁部等 修繕
 - ・ 修繕 (タイル浮き部): 部分エボキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16mm/m2・30g/穴 程度
 - ・ ひび割れ0.2mm未満部分: パチ状エボキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
 - ・ ひび割れ0.3~1mm未満部分: 1液性弾性エボキシ (OGグラウト程度) 注入深さ15mm 程度
 - ・ ひび割れ1mm以上部分: 可とう性エボキシ樹脂 10×15mm 程度
 - 既存外壁部等 改修 (水浸し以外は小口タイル部を除く)
 - ・ 外壁等: 水浸し: 高圧ポンプ10~15MPa 程度
 - ・ 外壁等: 下地調整塗材: C-1 程度
 - ・ 外壁等: 防水砂層塗材E吹付: 凸凹修繕, 吹付, 下塗り, 増塗, 2層塗, 模様塗, 1層塗, 2層塗, 水垢ウレタン付あり 程度
 - 既存サッシ部等 改修
 - ・ サッシ: サッシ (鉄製) 窓枠部 撤去・処分 サッシ新設 (別図参照)
 - ・ シーリング: 既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコン (MS-2)
 - 既存部 その他 改修
 - ・ 底: 南北面耐震補強部 (図示ヶ所) 撤去・処分 撤去部: モルタル塗り
 - ・ 壁柱: 既存壁柱VP75 撤去・処分 新設壁柱 VP75 鋼金物 (ステンレス)
 - ・ 西面下地: 既存鉄骨柱・梁GOP部A種 (下地調整: RB種, 改修禁止仕様: 鉛・クロムフリー工程B種)
 - ・ 屋上露出排水管: 断熱換気材料 (タフコート程度)



北側立面図 (X1, X2通り) 1/150



西側立面図 (Y1, Y3通り) 1/150

◎ 外部 現状仕様

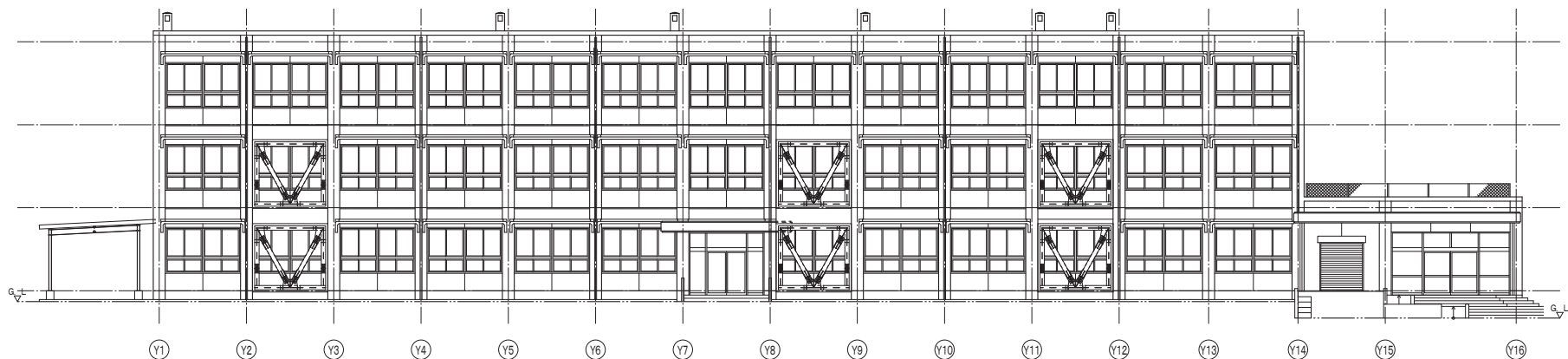
- 外壁 (柱型) : モルタル網布引き目地切リシンA吹付 小口タイル貼
- 屋根 : EPT合成高分子ルーフィングシート露出防水2.0 : レンシクルルーフィングシート (内しモルタル金コテ押え)
- 小規模 : 樹脂ポリスチレン3.0 : 吹付、樹脂ポリスチレン3.0 (防水2.0付) : EPT合成高分子ルーフィングシート防水2.0 : 網布コンクリート6.0 : モルタル金コテ押え目地切 (目地アスファルトビッチ塗り込み)
- 欄干 : モルタル金コテ押え
- 犬走り : コンクリート面押え (砂利敷100t)
- パラペット : 防水モルタル金コテ押え
- 庇 : 合板型枠打設しリシンA吹付 窓木=コンクリート打設しリシンA吹付
- 壁柱 : VPφ75 (VUφ100) 支持金物 (配管用バンド) @1500 ルーフドレイン=露出シート防水用φ80
- 開口部 : アルミサッシ 見込み70
- 梁 : 合板型枠打設し リシンA吹付 天端=防水モルタル金コテ押え

○ 外 部

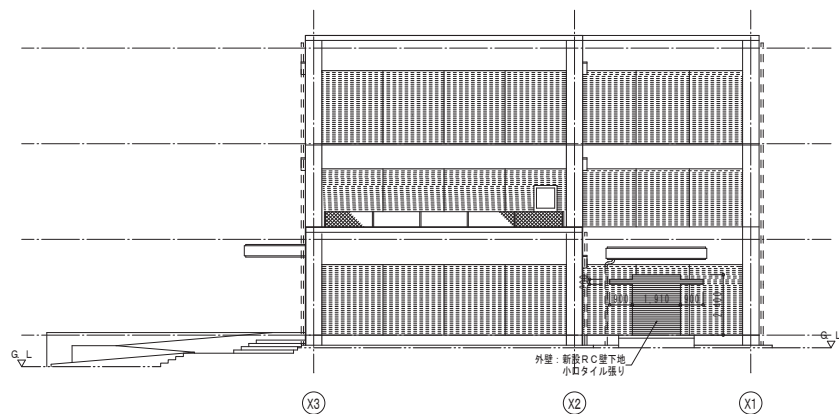
- (開口部) 床 : 伊勢屋無機タイル貼 (200×100) 段差タイル=伊勢屋無機
断熱タイル1800×600×15 格子差500×250×15 (縁縁) 足洗い、手洗い、水垢み
壁柱=合成型枠打設し吹付タイル 窓木=コンクリート打設し金コテ押え
(天端) 床 : 樹脂タイル100角タイル貼 樹脂タイル150×75 断熱タイル1800×600×15 格子差500×250×15 (縁縁)
壁柱=合成型枠打設し吹付タイル 窓木=コンクリート打設し、天端=金コテ押え
○ 施工等 : 金網フェンスH=100 サンプル=5mm又は同等品以上 (ベースロープ型) タラップ=ステンφ19×400×300

◎ 外壁・軒裏・庇・窓受け梁・パラペット先端 改修仕様

- 既存外壁部等 : 事前調査 → 目視・打診による確認 → マーキング・計測 → 図面記入
- 既存外壁部等 補修
・爆裂 (タイル浮き部分) : 部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
・ひび割れ0.2mm未満部分 : パテ状エポキシ樹脂塗布 幅10mm・厚2mm 程度
・ひび割れ0.3~1mm未満部分 : 1液性弾性エポキシ (OGグラウト程度) 注入厚さ15mm 程度
・ひび割れ1mm以上部分 : 可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度
- 既存外壁部等 改修 (水浸し以外は小口タイル部を除く)
・外壁等 : 水洗い : 高圧ポンプ10~15MPa 程度
・外壁等 : 下地調整塗材 : C-1 程度
・外壁等 : 防水砂層塗材E吹付、凸凹模様、吹付、下塗り、増塗、2層塗、模様塗、1層塗、2層塗、水垢ウレタンつやあり 程度
- 既存サッシ部等 改修
・サッシ : サッシ (鉄製) 窓枠部 撤去・処分 サッシ新設 (別図参照)
・シーリング : 既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコン (MS-2)
- 既存部 その他 改修
・庇 : 南北面耐震補強部 (窓枠部) 撤去・処分 撤去部 : モルタル塗り
・壁柱 : 既存壁柱VP75 撤去・処分 新設壁柱 VP75 鋼金物 (ステンレス)
・西面下地 : 既存鉄骨柱・梁=GOP産A種 (下地調整 : RB種、改修鋼止め塗装 : 鉛・クロムフリー工程B種)
・屋上露出排水管 : 断水後塗料塗 (タフコート程度)



南側立面図 (X3通り) 1/150



東側立面図 (Y12, Y13, Y16通り) 1/150

◎ 外部 現状仕様

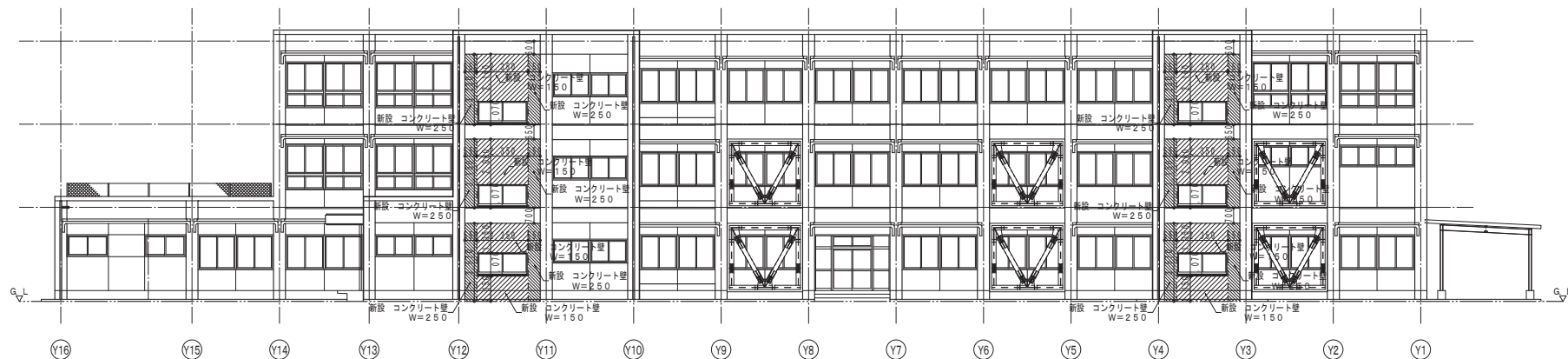
- 外壁 (柱型) : モルタル貼付引き目地切リシンA吹付 小口タイル貼
- 屋根 : EPT合成高分子ルーフィングシート露出防水2. 0t レンシクルー通り又は同等品以上 (内しモルタル金コナ増え)
- 小窓高 : 樹脂ポリスチレン3. 0t 打込 既製パイプφ75 (防水7.5付) EPT合成高分子ルーフィングシート防水2. 0t 軽量コンクリート6. 0t : モルタル金コナ増え目地切 (目地アスファルトビッチ塗り込み)
- 欄干 : モルタル金コナ増え
- 犬走り : コンクリート面増え (砂利敷100t)
- パラペット : 防水モルタル金コナ増え
- 庇 : 合板型枠打設しリシンA吹付 窓木=コンクリート打設し リシンA吹付
- 窓枠 : VPφ75 (VUφ100) 支持金物 (両管用バンド) φ1500 ルーフドレンシー露出シート防水用φ80
- 開口部 : アルミサッシ 見込み70
- 梁 : 合板型枠打設し リシンA吹付 天端=防水モルタル金コナ増え

○ 外 部

- (床開口) 床 : 伊勢産無機タイル貼 (200×100) 段差タイル=伊勢産無機
- 既設タイル1800×600×15 格子裏500×250×15 (縁鉄筋) 足洗い、手洗い、水垢み溝
- 既設=合成型枠打設し吹付タイル 窓木=コンクリート打設し金コナ増え
- (天端) 床 : 伊勢産無機タイル150×75 既設タイル1800×600×15 格子裏500×250×15 (縁鉄筋)
- 既設=合成型枠打設し吹付タイル 窓木=コンクリート打設し、天端=金コナ増え
- 施工等 : 金網フェンスH=100 サンボールL=5m又は同等品以上 (ベース式ロープ型) タラップステンφ19×400×300

◎ 外壁・軒裏・庇・窓受け梁・パラペット先端 改修仕様

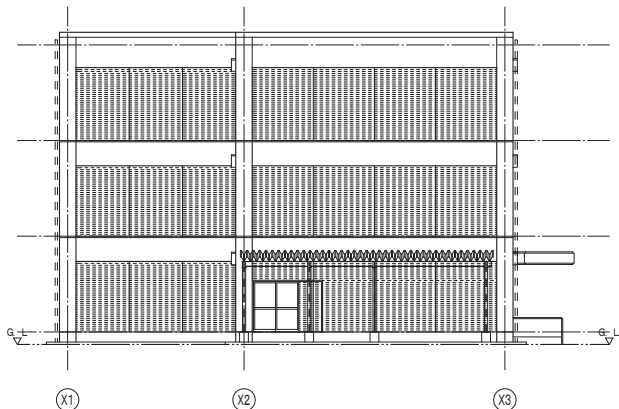
- 既存外壁部等 : 事前調査 → 目視・打診による確認 → マーキング・計測 → 図面記入
- 既存外壁部等 補修
 - ・爆裂 (タイル浮き部) 部分 : 部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16本/m²・30g/穴 程度
 - ・ひび割れ0. 2mm未満部分 : パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
 - ・ひび割れ0. 3~1mm未満部分 : 1液性弾性エポキシ (OGグラウト程度) 注入厚さ15mm 程度
 - ・ひび割れ1mm以上部分 : 可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度
- 既存外壁部等 改修 (水浸し以外は小口タイル部を除く)
 - ・外壁等 水洗い : 高圧ポンプ0~15MPa 程度
 - ・外壁等 下地調整塗材 : C-1 程度
 - ・外壁等 防水砂層塗塗材E吹付、凸凹模様、吹付、下塗1、増塗1、基層塗2、模様塗1、上塗2、水垢ウレタンフツあり 程度
- 既存サッシ部等 改修
 - ・サッシ : サッシ (紛失) 図面参照 撤去・処分 サッシ新設 (別図参照)
 - ・シーリング : 既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコン (MS-2)
- 既存部 その他 改修
 - ・庇 : 南面耐震補強部 (図面参照) 撤去・処分 撤去部 : モルタル塗り
 - ・壁柱 : 既存壁柱VP75 撤去・処分 新設壁柱 VP75 組み金物 (ステンレス)
 - ・西面下壁 : 既存鉄骨柱・梁=OPP産A種 (下地調整 : RB種、改修部止め塗装 : 鉛・クロムフリー工程B種)
 - ・屋上露出排水管 : 熱交換器付 (タフコート程度)



北側立面図 (X1, X2通り) 1/150

新設 新設コンクリート壁 W=250
配筋は構造詳細図による

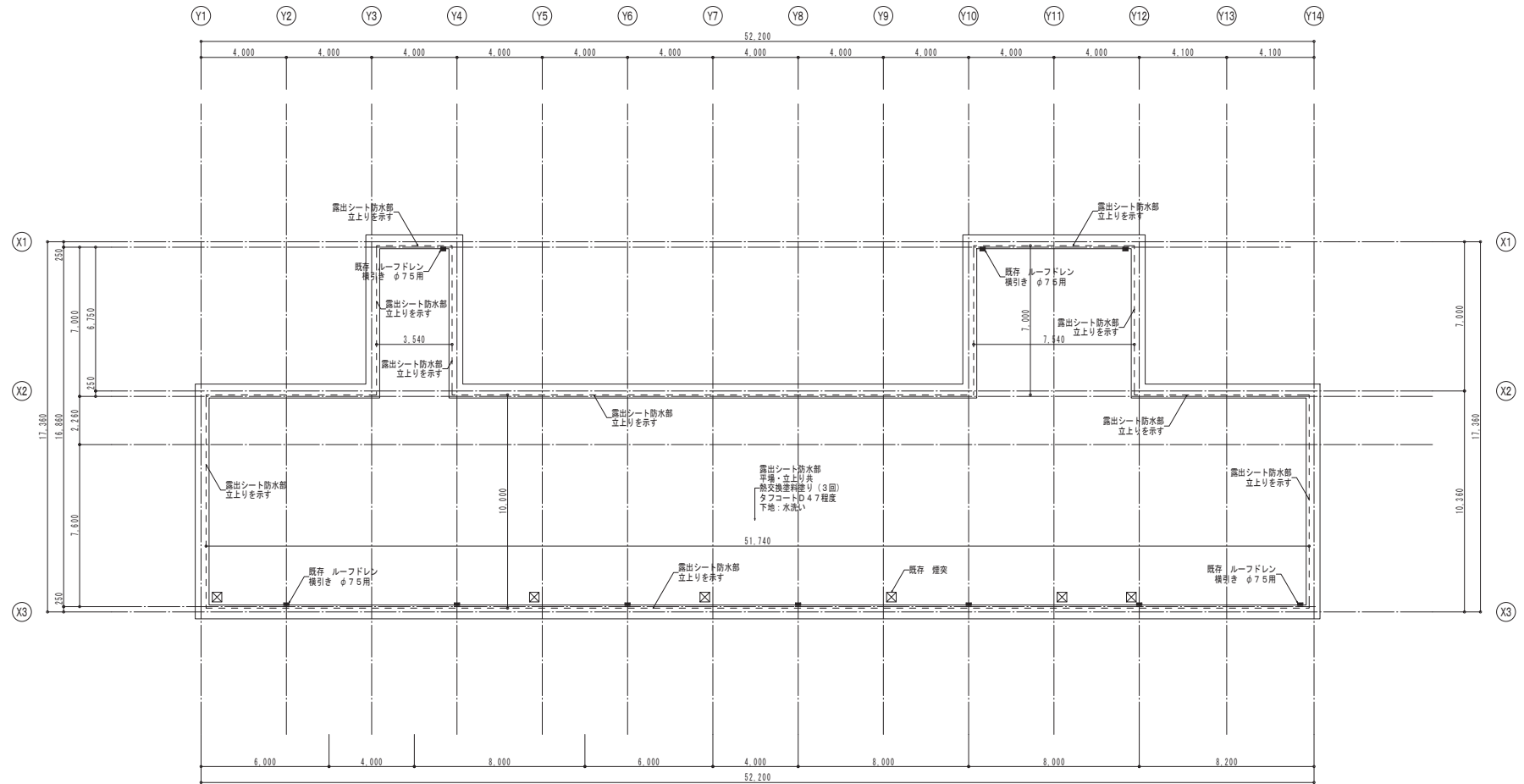
新設 コンクリート壁 W=150
配筋は既存鉄筋の再利用

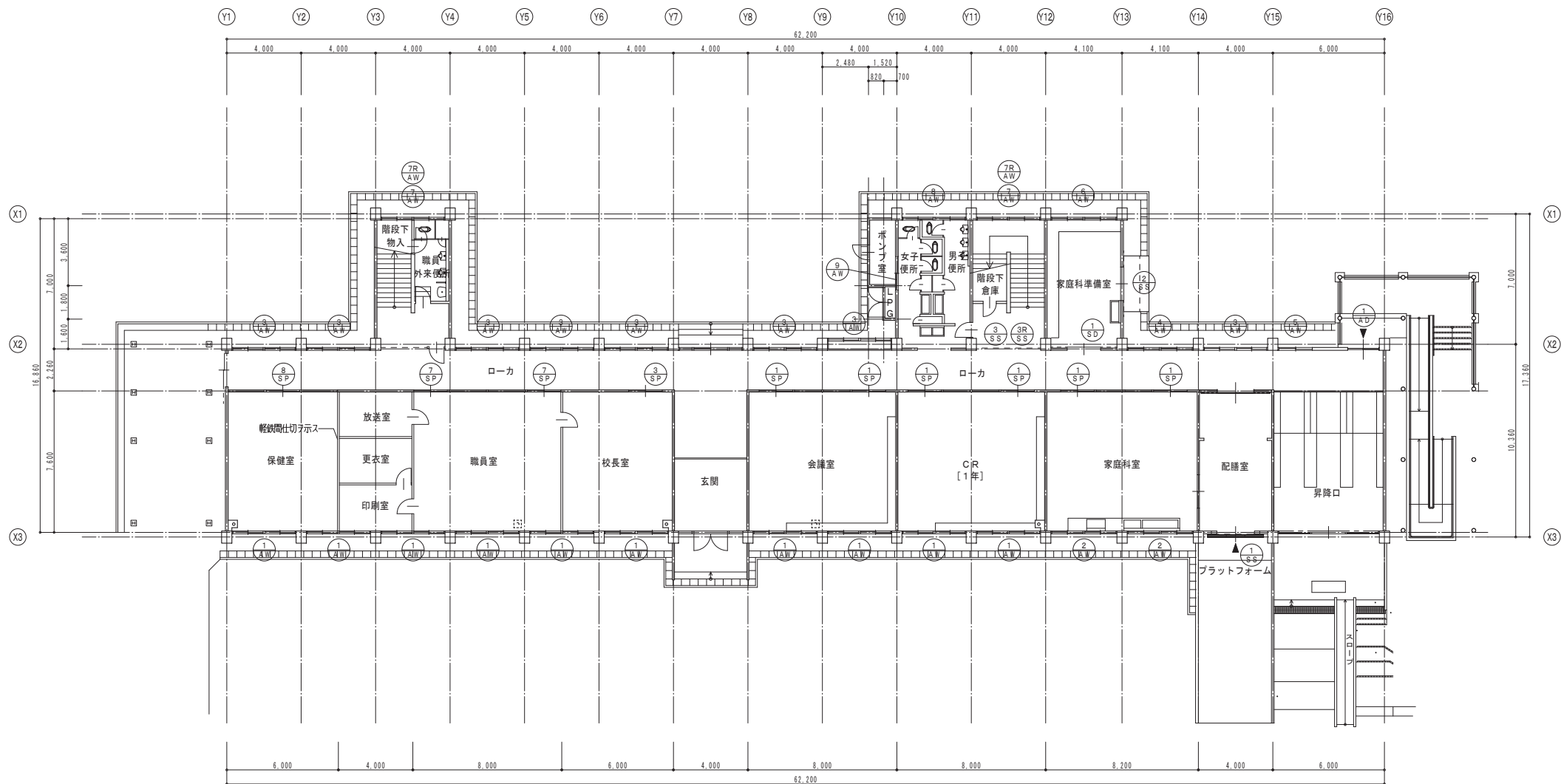


西側立面図 (Y1, Y3通り) 1/150

- ◎ 外部 現状仕様
- 外壁 (柱型) : モルタル貼付目地切リシンA吹付 小口タイル貼
 - 屋根 : EPT合成高分子ルーフィングシート露出防水2.0t レンシクルール塗り又は同等品以上 (内しモルタル金コテ押え)
 - 小窓裏 : 発泡ポリスチレン3.0t打込 発泡イソグロ75 (防水7.5付) EPT合成高分子ルーフィングシート防水2.0t 軽量コンクリート6.0t モルタル金コテ押え目地切 (目地アスファルトヒッチ塗り込み)
 - 雨漏り : モルタル金コテ押え
 - 犬走り : コンクリート面押え (砂利敷100t)
 - パラペット : 防水モルタル金コテ押え
 - 庇 : 合板型枠打設リシンA吹付 窓木ーコンクリート打設し リシンA吹付
 - 窓枠 : VPφ75 (VUφ100) 支持金物 (配管用バンド) φ1500 ルーフドレインー露出シート防水用φ80
 - 開口部 : アルミサッシ 見込み70
 - 梁 : 合板型枠打設し リシンA吹付 天端ー防水モルタル金コテ押え
- 外 部
- (床開口) 床 : 伊勢瓦無釉タイル貼 (200×100) 段差タイルー伊勢瓦無釉
- 階床タイル1800×600×15 格子裏500×250×15 (縁鉄筋) 足洗い、手洗い、水垢み溝
- 階壁ー合成型枠打設し吹付タイル 窓木ーコンクリート打設し金コテ押え
- (床開口) 床 : 磁器質100角タイル貼 磁器質段差タイル150×75 階床タイル1800×600×15 格子裏500×250×15 (縁鉄筋)
- 階壁ー合成型枠打設し吹付タイル 窓木ーコンクリート打設し、天端ー金コテ押え
- 階工事 : 金網フェンスH=100 サンボールL=5m又は同等品以上 (ベース式ロープ型) タラップステンチンφ19×400×300

- ◎ 外壁・軒裏・庇・応受け梁・パラペット先端 改修仕様
- 既存外壁部等・事前調査 → 目視・打診による確認 → マーキング・計測 → 図面記入
 - 既存外壁部等 補修
 - ・爆裂 (タイル浮き部) : 部分エポキシ樹脂注入工法 全ネジ切りステンレスピン16mm/m2・30g/穴 程度
 - ・ひび割れ0.2mm未満部分 : パテ状エポキシ樹脂塗り 幅10mm・厚2mm 程度
 - ・ひび割れ0.3~1mm未満部分 : 1液性弾性エポキシ (OGグラウト程度) 注入厚さ15mm 程度
 - ・ひび割れ1mm以上部分 : 可とう性エポキシ樹脂 10×15mm 程度
 - 既存外壁部等 改修 (水浸し以外は小口タイル部を除く)
 - ・外壁等 : 水浸し : 高圧ポンプ0~15MPa 程度
 - ・外壁等 : 下地調整塗材 : C-1 程度
 - ・外壁等 : 防水砂層塗塗材E吹付、凸凹模様、吹付、下塗り、増塗、2層塗、模様塗、1、上塗り、水垢ウレタン付あり 程度
 - 既存サッシ部等 改修
 - ・サッシ : サッシ (枠) 腐食箇所 撤去・処分 サッシ新設 (別図参照)
 - ・シーリング : 既存シーリング 撤去・処分 新設シーリング 変成シリコン (MS-2)
 - 既存部 その他 改修
 - ・庇 : 南北面新設補強部 (図示ヶ所) 撤去・処分 撤去部 : モルタル塗り
 - ・壁柱 : 既存壁柱VP75 撤去・処分 新設壁柱 VP75 撤去金物 (ステンレス)
 - ・西面下塗り : 既存鉄骨柱・梁・梁OP座A種 (下地調整 : RB種、改修跡止め塗料 : 鉛・クロムフリー工程B種)
 - ・屋上露出防水層 : 熱交換塗料塗 (タフコート程度)





1 AD	1. 800W×2.500H (透明ガラス)	1F 1ヶ所	3 AW	3. 370W×1.500H (透明ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F~3F 総計 20ヶ所	9 AW	1. 800W×750H (すりガラス) 網戸なし	1F~3F 総計 3ヶ所	6 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	3F 1ヶ所
1 SS	2. 000W×2.200H	1F 1ヶ所	4 AW	3. 470W×1.500H (透明ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F 1ヶ所	1 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	1F~3F 総計 18ヶ所	7 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	1F 2ヶ所
2 SS	1. 800W×2.000H (撤去)	1F 1ヶ所	5 AW	1. 800W×900H (透明ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F 1ヶ所	2 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	1F~3F 総計 1ヶ所	8 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	1F 1ヶ所
3 SS	3. 150W×2.635H (撤去)	1F~3F 総計 3ヶ所	6 AW	3. 470W×900H (アミ入り型板ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F 1ヶ所	3 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	1F~3F 総計 5ヶ所	7R AW	2. 230W×900H (アミ入り透明ガラス) 網戸なし 新設	1F~3F 総計 6ヶ所
1 AW	3. 370W×2.000H (スリ、透明アミ入りガラス) 下部: 1. 650W×600H (透明ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F~3F 総計 3ヶ所	7 AW	3. 370W×900H (アミ入り透明ガラス) (撤去)	1F~3F 総計 8ヶ所	4 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	2F 1ヶ所	3R AW	3. 150W×2.635H (格常閉扉銀扉付防火防煙シャッター) 特定防火設備	1F~3F 総計 3ヶ所
2 AW	3. 370W×2.000H (スリ、透明ガラス) 下部: 1. 650W×600H (透明ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F~3F 総計 10ヶ所	8 AW	3. 370W×1.000H (アミ入り型板ガラス) 網戸新設 (取付共)	1F~3F 総計 3ヶ所	5 SP	1. 800W×1.900H (透明ガラス入りスチールドア) 建具調整	3F 1ヶ所			

業 務 名
上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

現況 1階建具表

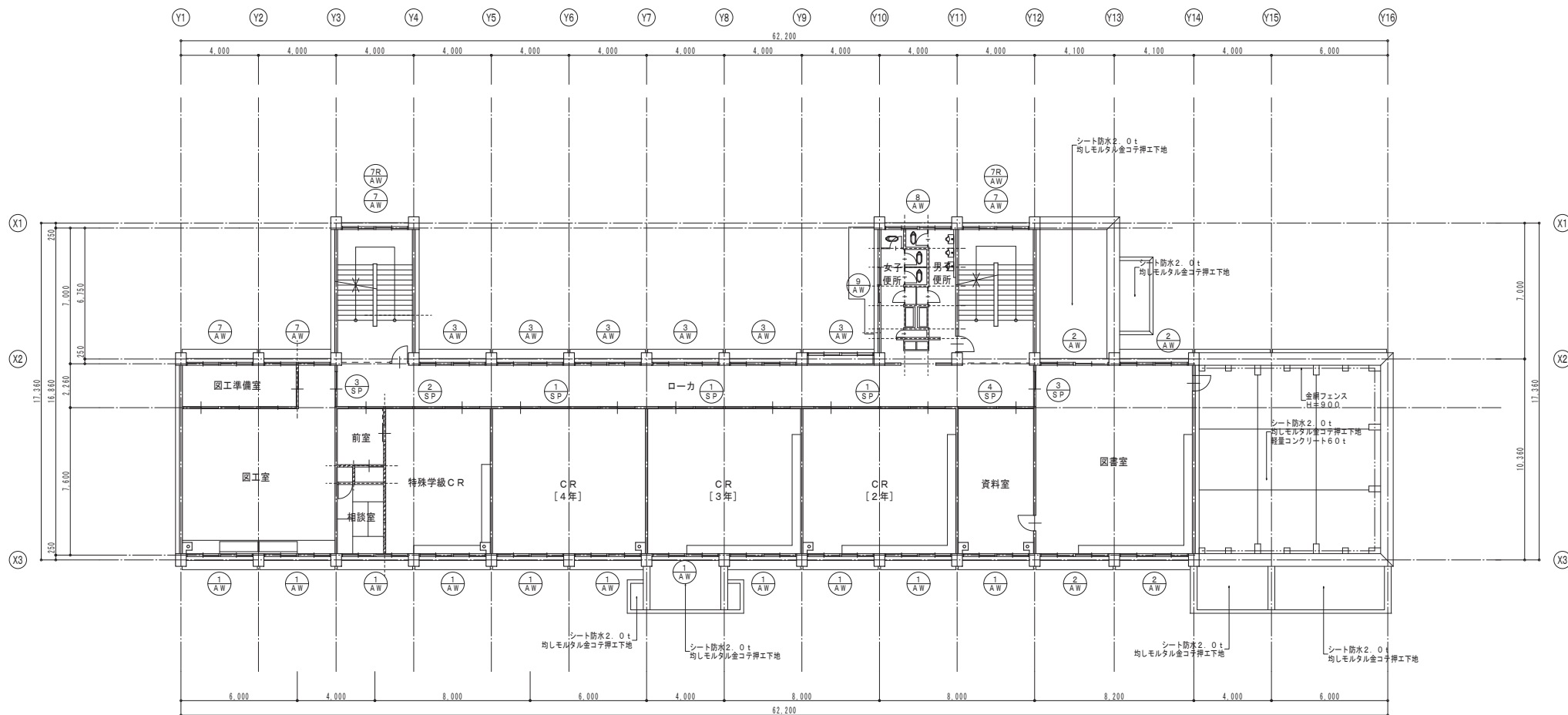
SCALE
1 : 150

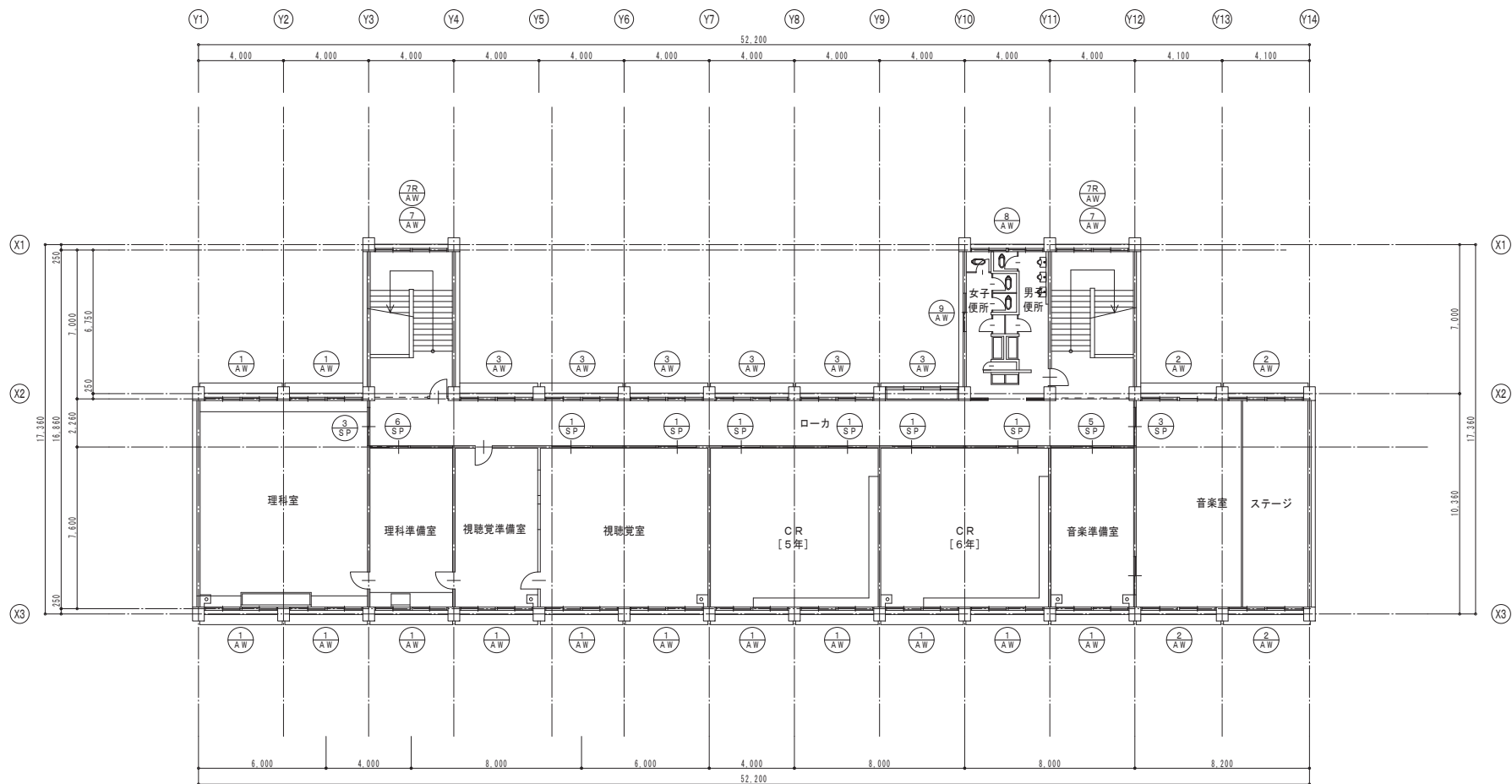
DATE
2014. 11

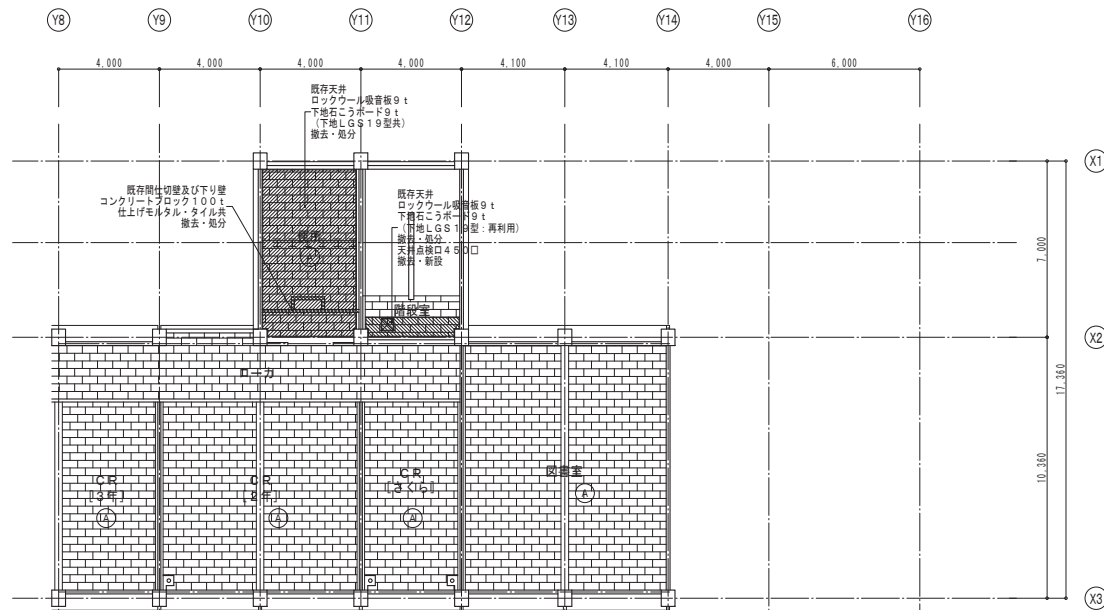
エーアンドエス建築研究室

一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

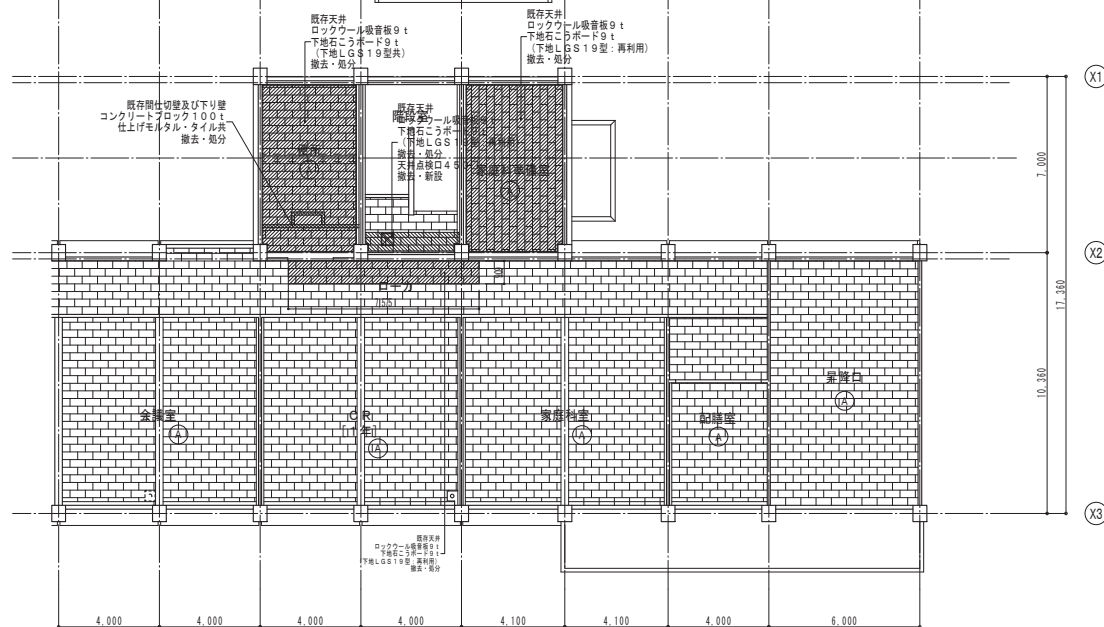
図面番号
A-2 1



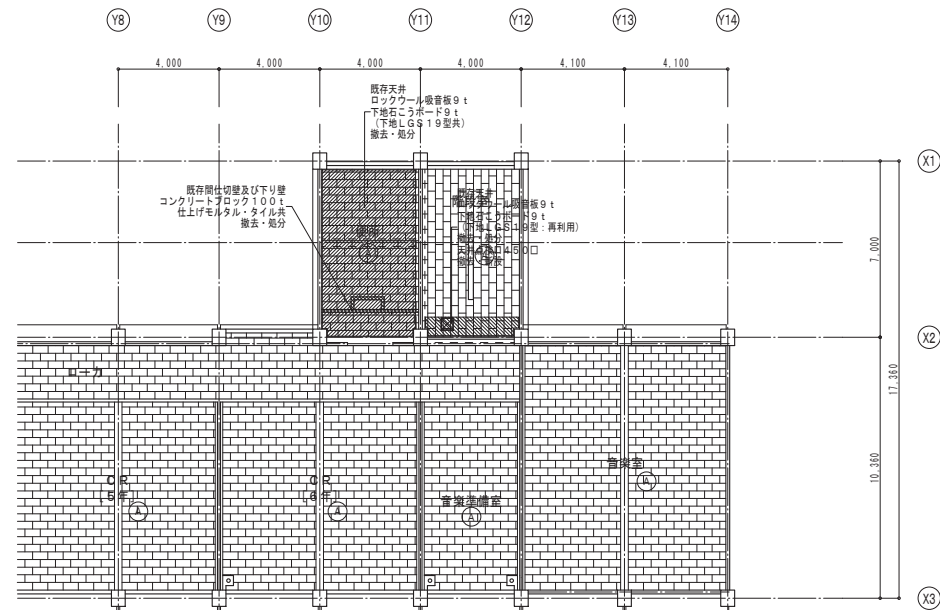




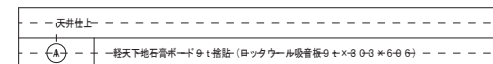
2階天井伏図 1/150

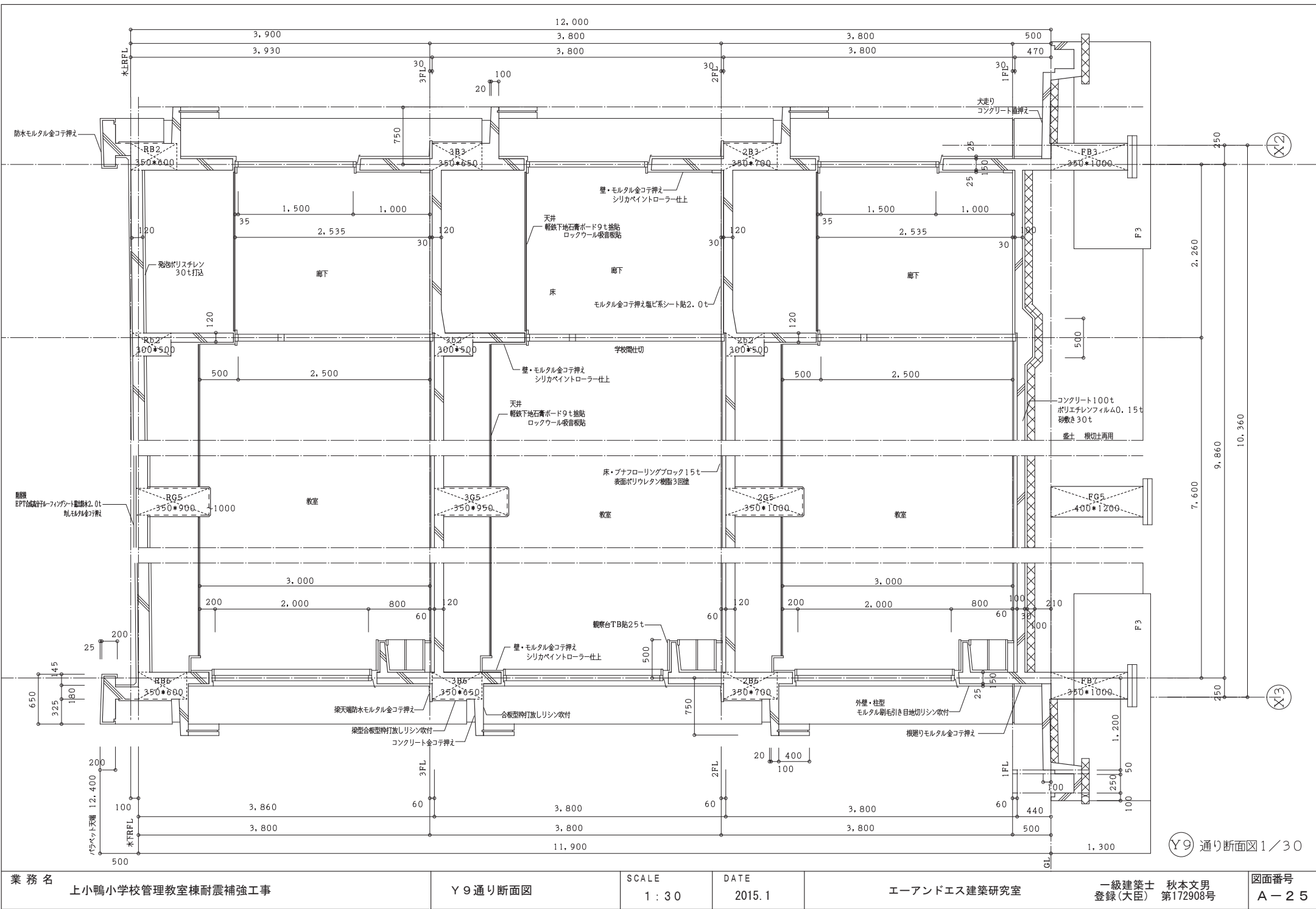


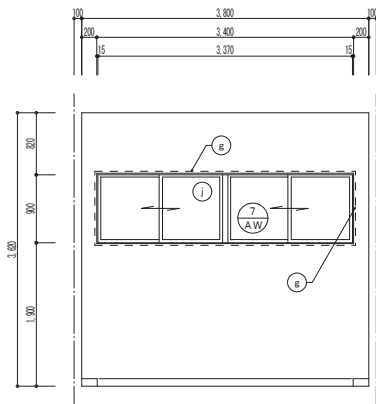
1階天井伏図 1/150



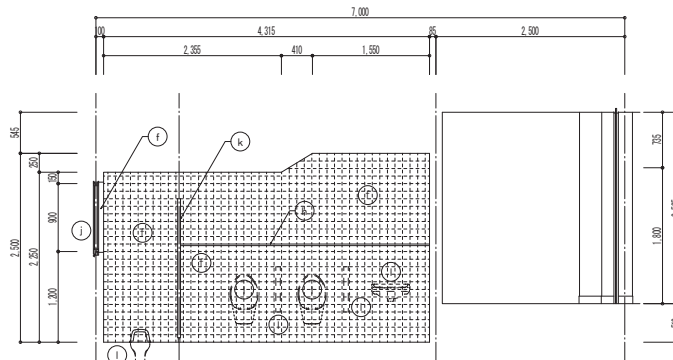
3階天井伏図 1/150



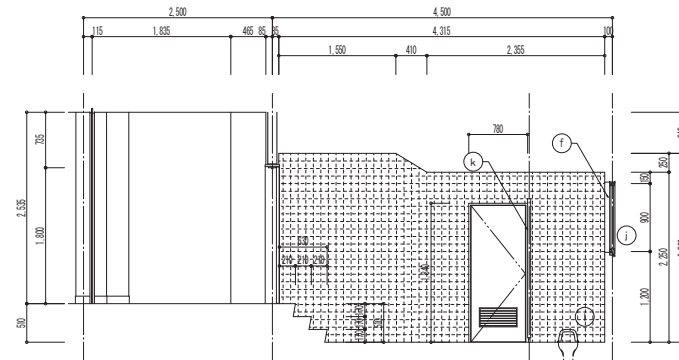




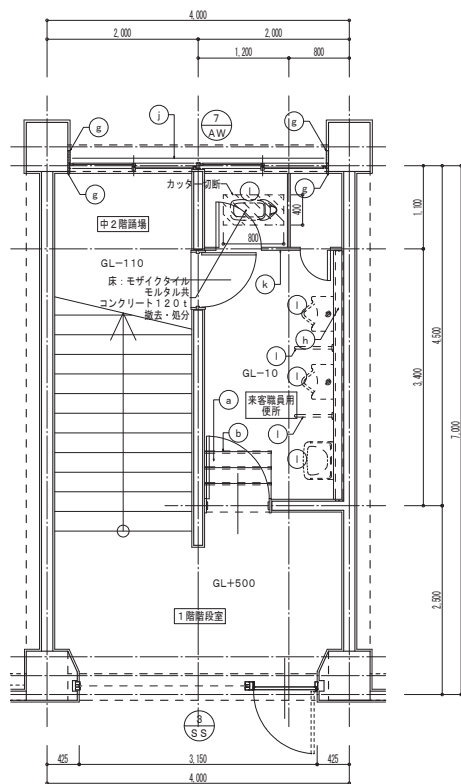
現況 中2・中3階跡地 A面展開図 S=1:50



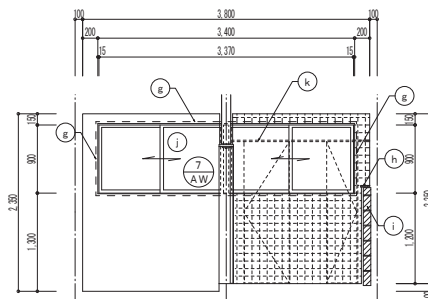
現況 職員用便所 B面展開図 S=1:50



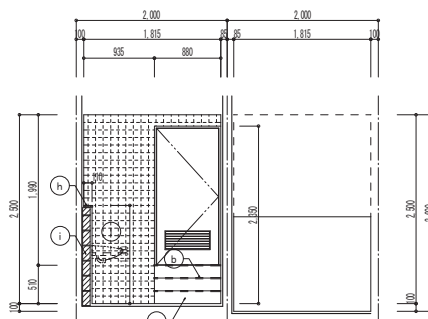
現況 職員用便所 D面展開図 S=1:50



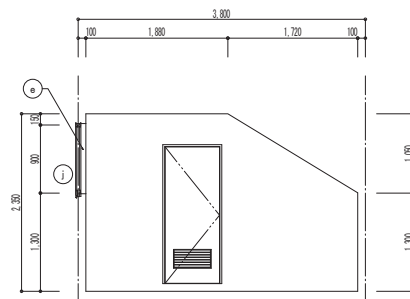
現況 平面詳細図 S=1:50



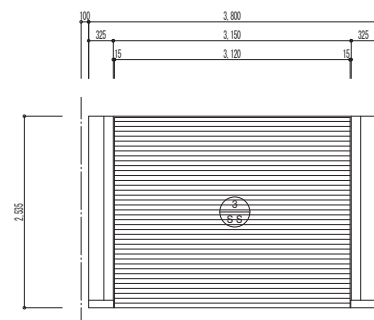
現況 職員用便所・階段下倉庫 A面展開図 S=1:50



現況 職員用便所・階段下倉庫 C面展開図 S=1:50



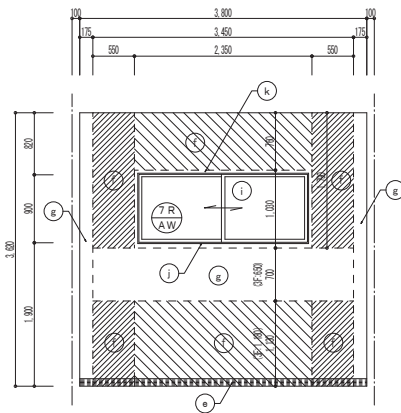
現況 階段下倉庫 B面展開図 S=1:50



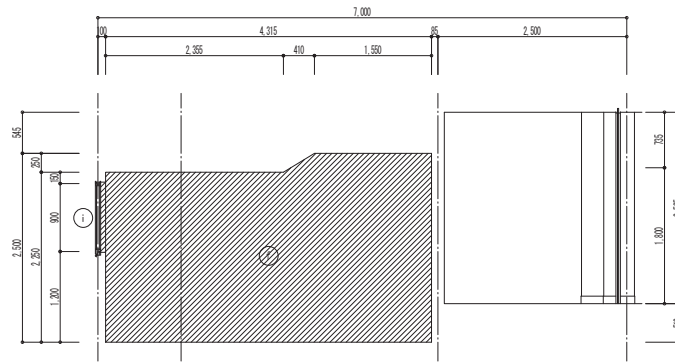
現況 1階階段室 C面展開図 S=1:50

撤去工事・凡例		撤去工事・凡例	
①	既存・床・階段内部・塩ビシート2-0t 撤去・処分	⑥	既存・内装部・カッター切断 タイル・モルタル表 撤去・処分
②	既存・階段部・ガラスリッパ 撤去・処分	⑦	既存・天井・花こう岩・床置き・25×110程度 撤去・処分
③	既存・階段側面・塩ビシート2-0t 撤去・処分	⑧	既存・ライニング部・コンクリートブロック100t 撤去・処分
④	既存・ソケット・H=180 撤去・処分	⑨	既存・アルミサッシ(特製) 撤去・処分
⑤	既存・内装・モルタル25t 撤去・処分	⑩	既存・トイレブース(ドア・金物等) 撤去・処分
⑪	既存・内装・柱型・床面層100角タイル張り 下地モルタル床・撤去・処分	⑪	既存・養生期間・金物等 撤去・処分

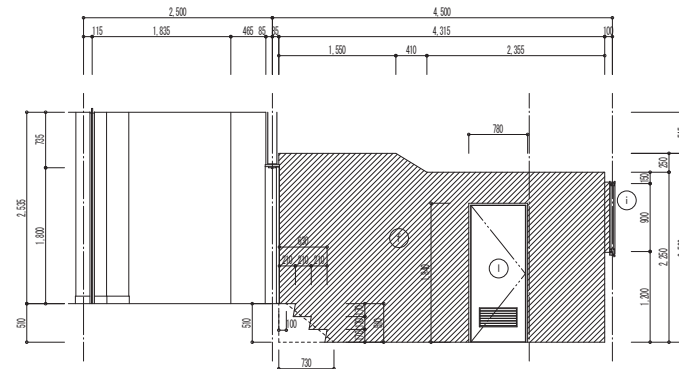




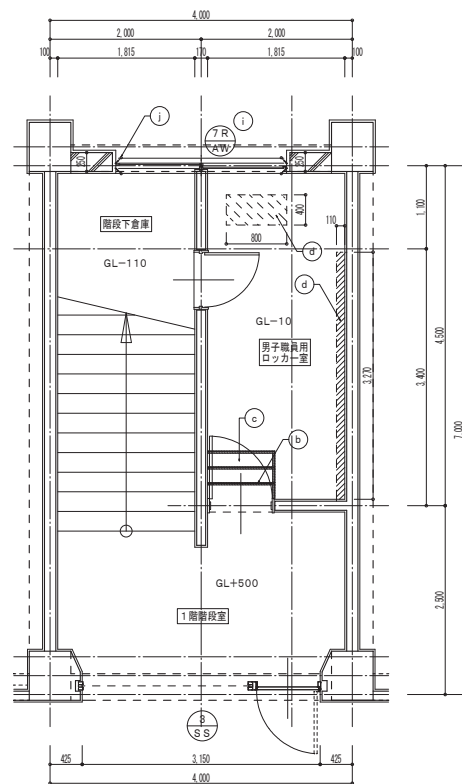
改修後 中2・中3階踏場 A面展開図 S=1:50



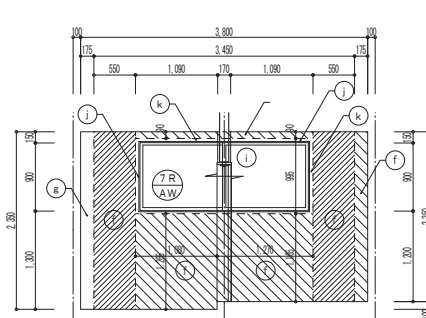
現況 職員用便所 B面展開図 S=1:50



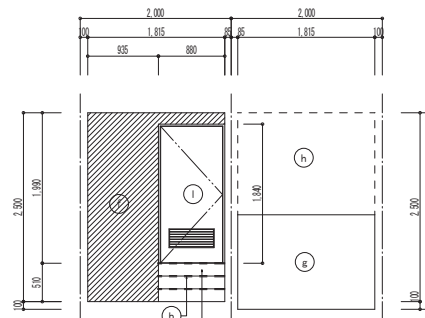
現況 職員用便所 D面展開図 S=1:50



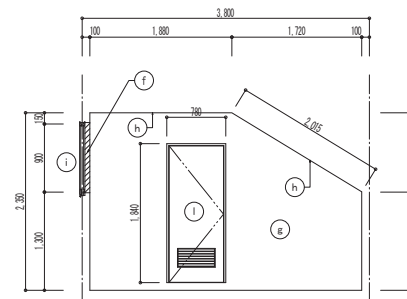
現況 平面詳細図 S=1:50



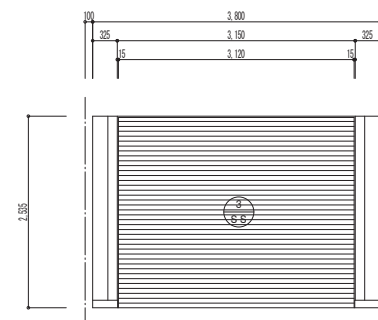
改修後 職員用便所・階段下倉庫 A面展開図 S=1:50



現況 職員用便所・階段下倉庫 C面展開図 S=1:50



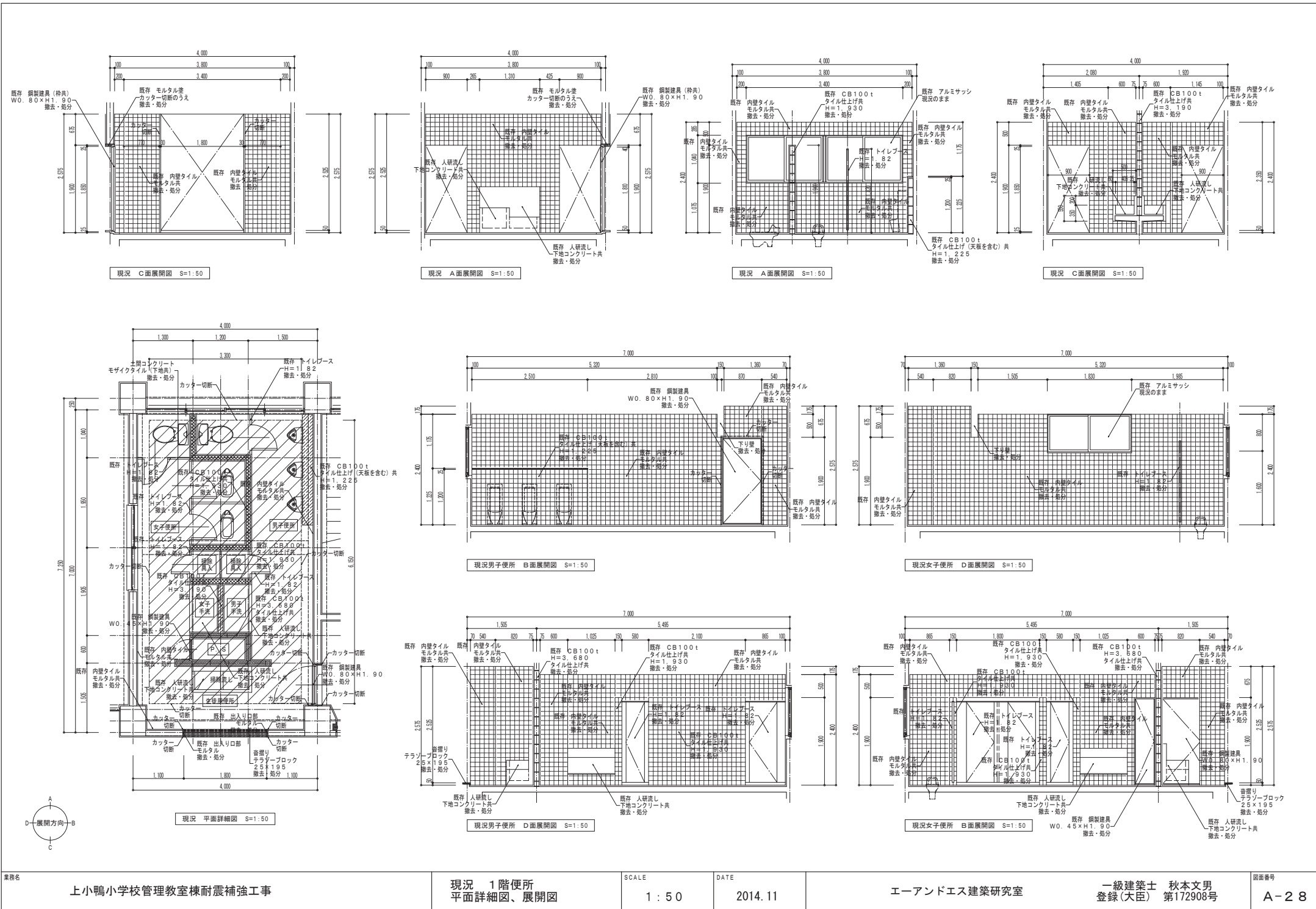
現況 階段下倉庫 B面展開図 S=1:50



現況 1階階段室 C面展開図 S=1:50

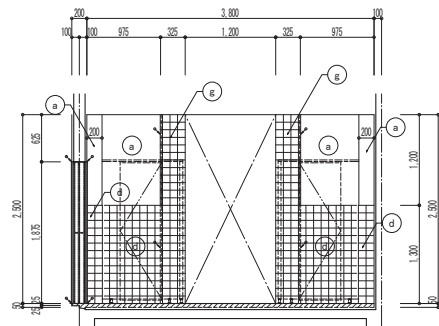
内・部・仕・上		内・部・仕・上	
①	床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	①	床・住居・通気・構造モルタル塗
②	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	②	床・住居・通気・構造モルタル塗
③	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	③	床・住居・通気・構造モルタル塗
④	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	④	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑤	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑤	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑥	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑥	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑦	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑦	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑧	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑧	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑨	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑨	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑩	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑩	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑪	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑪	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑫	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑫	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑬	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑬	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑭	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑭	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑮	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑮	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑯	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑯	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑰	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑰	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑱	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑱	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑲	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑲	床・住居・通気・構造モルタル塗
⑳	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	⑳	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉑	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉑	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉒	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉒	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉓	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉓	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉔	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉔	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉕	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉕	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉖	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉖	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉗	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉗	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉘	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉘	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉙	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉙	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉚	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉚	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉛	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉛	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉜	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉜	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉝	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉝	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉞	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉞	床・住居・通気・構造モルタル塗
㉟	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㉟	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊱	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊱	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊲	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊲	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊳	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊳	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊴	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊴	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊵	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊵	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊶	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊶	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊷	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊷	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊸	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊸	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊹	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊹	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊺	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊺	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊻	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊻	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊼	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊼	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊽	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊽	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊾	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊾	床・住居・通気・構造モルタル塗
㊿	床・床・床シート2-04張り・(F地盤掘削)	㊿	床・住居・通気・構造モルタル塗



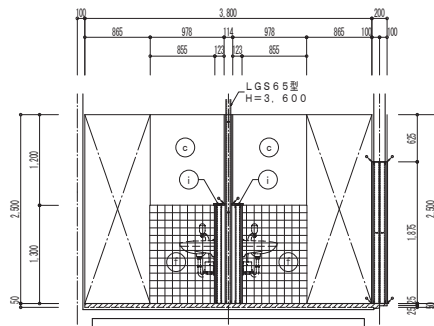


内部仕上

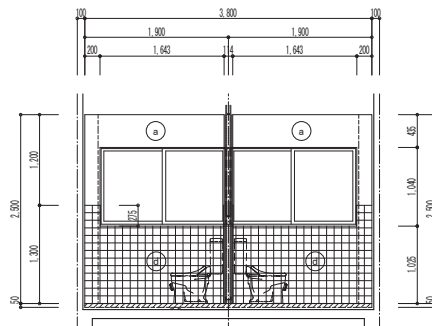
既存 内壁・柱取 100角タイル張り、ビニールクロス貼リ 下地 既存 100角タイル張法のうすモルタル塗金にて20〜25t	既存天井内 内壁・柱取 100角タイル張り、ビニールクロス貼リ 下地 既存 100角タイル張法のうすモルタル塗金にて20〜25t	内壁、ビニールクロス貼リ 石膏ボード12.5t下地、横通し合板12t、LGS65型下地	既存 内壁・柱取 100角タイル張り (圧着) H=1.300 下地 既存 100角タイル張法のうすモルタル塗金下地	内壁 100角タイル張り (既着) 石膏ボード12.5t下地、横通し合板12t、LGS75型+65型 (30度傾) 下地	内壁 100角タイル張り (建築) H=1.300 石膏ボード12.5t下地、横通し合板12t、LGS65型下地
内壁 100角タイル張り (既着) 間仕切り1時間耐火構造 強化石膏ボード16t+両面二重張り下地、LGS75型+65型 耐火四角型壁	内壁 100角タイル張り (既着) ライニング部 横通し合板12t二重張り、LGS65型下地	天板 花こう岩 本置き 20×150型 横通し合板12t×2重張り下地、LGS65型下地			



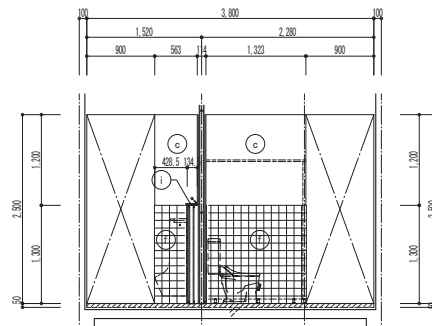
改修後 C面展開図 S=1:50



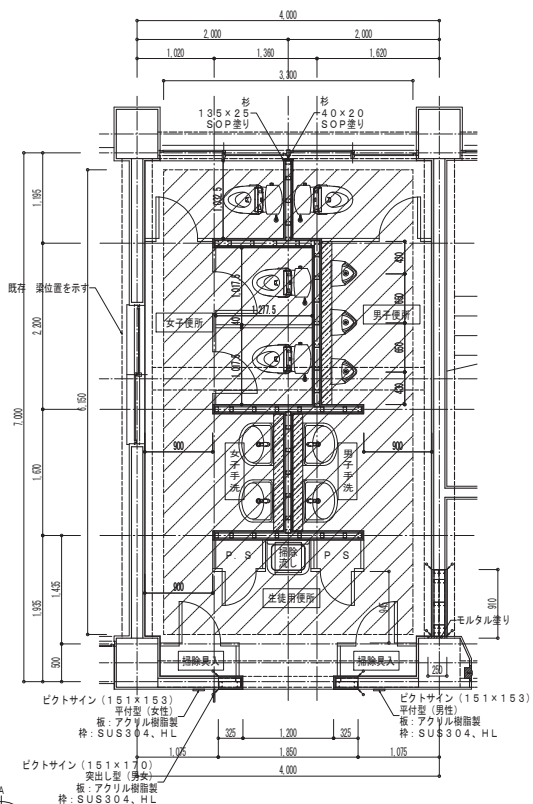
改修後 A面展開図 S=1:50



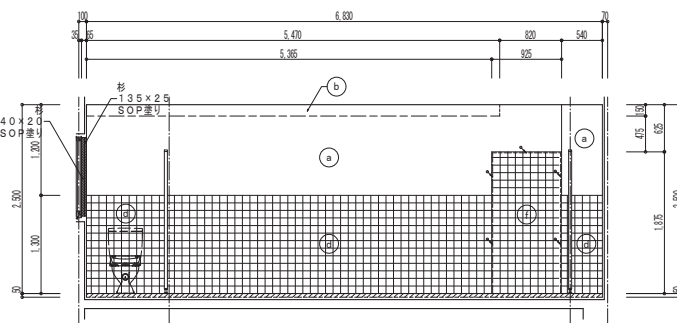
改修後 A面展開図 S=1:50



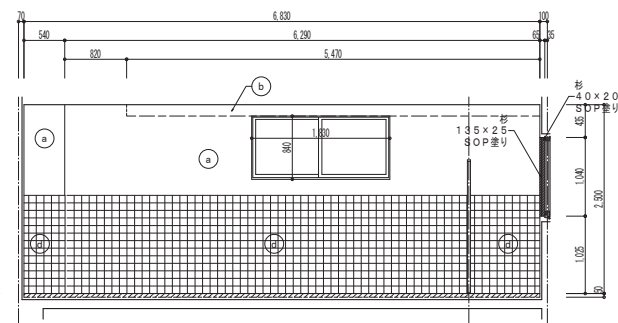
改修後 C面展開図 S=1:50



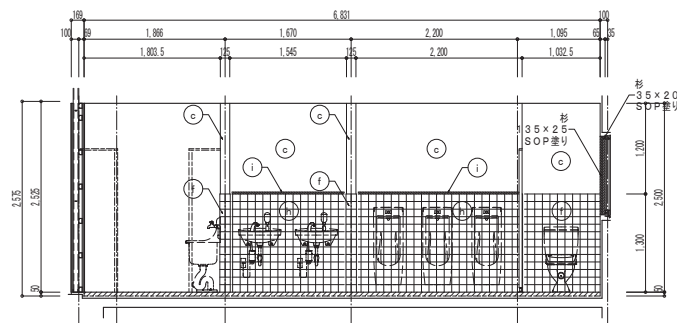
改修後 平面詳細図 S=1:50



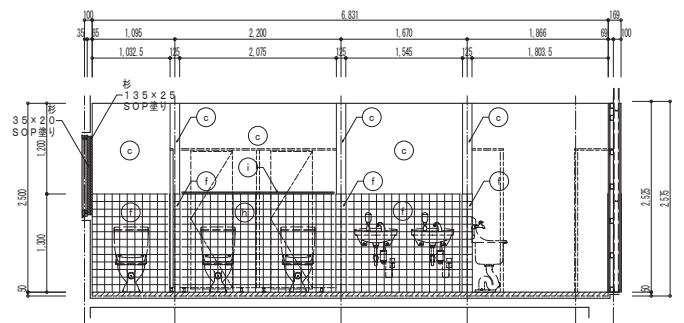
改修後 男子便所 B面展開図 S=1:50



改修後 女子便所 D面展開図 S=1:50



改修後 男子便所 D面展開図 S=1:50



改修後 女子便所 B面展開図 S=1:50



業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

改修後 1階生徒便所
平面詳細図、展開図

SCALE

1:50

DATE

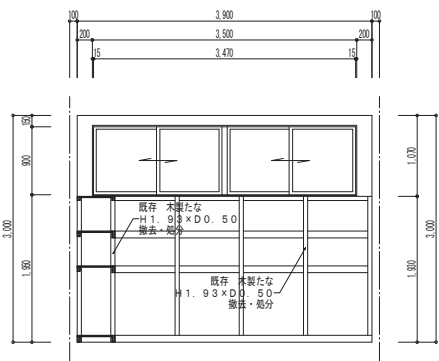
2014.11

エーアンドエス建築研究室

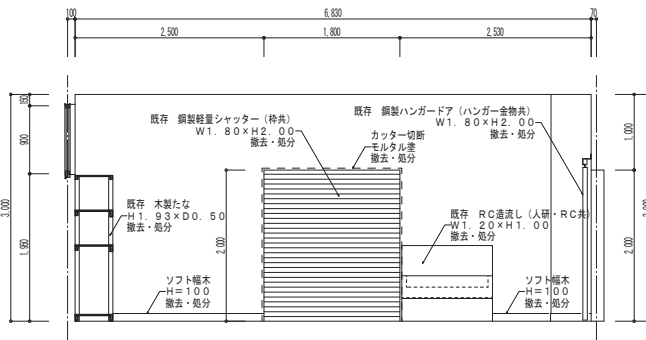
一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

図面番号

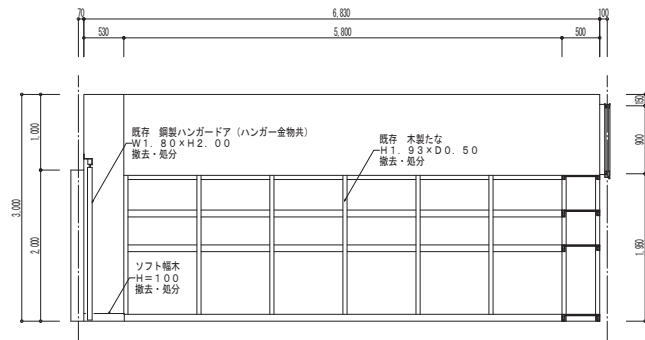
A-29



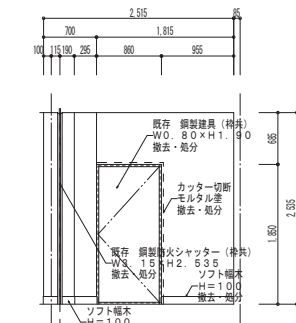
現況 家庭科準備室 A面展開図 S=1:50



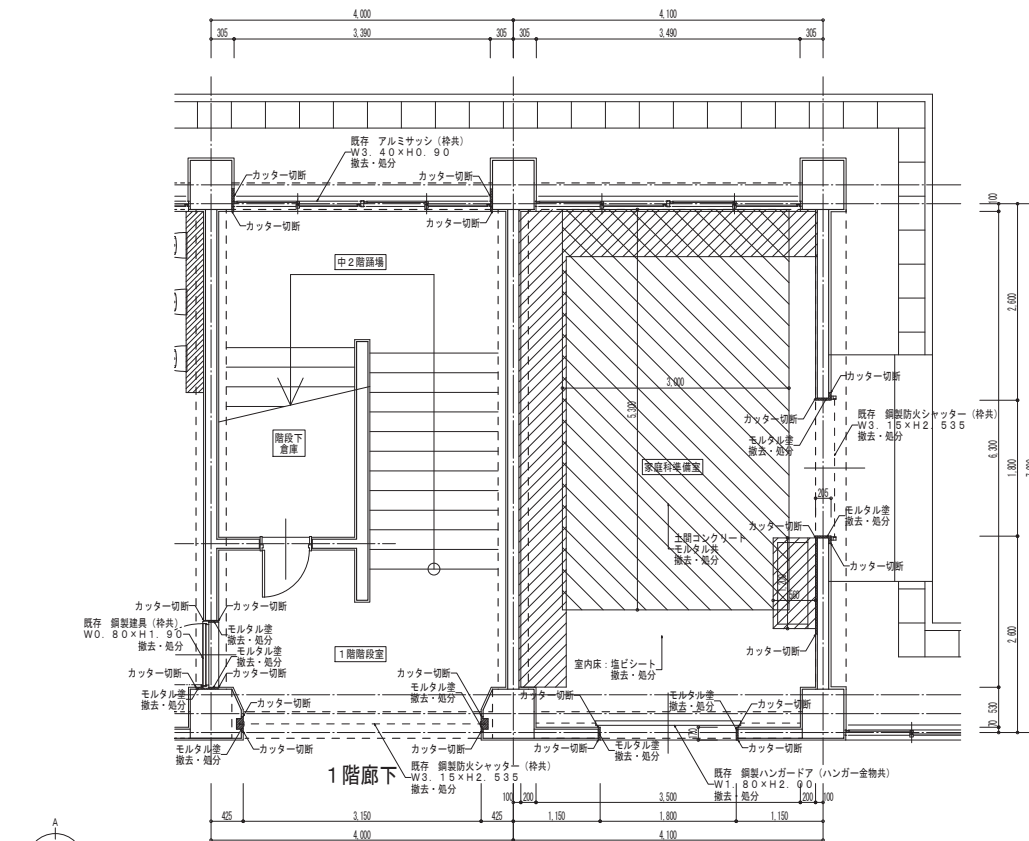
現況 家庭科準備室 B面展開図 S=1:50



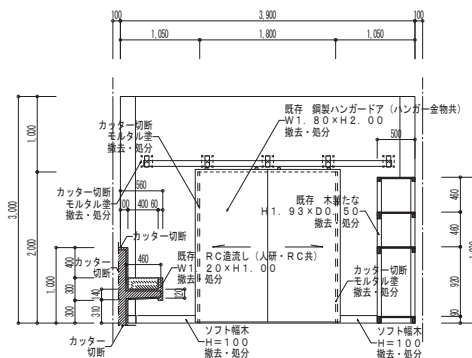
現況 家庭科準備室 C面展開図 S=1:50



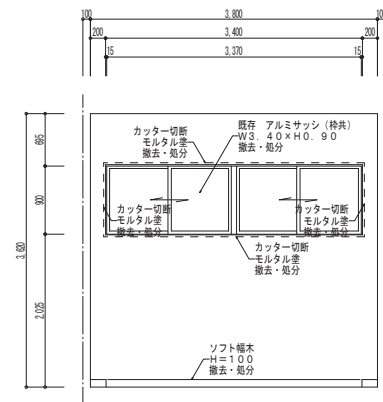
現況 1階階段室 D面展開図 S=1:50



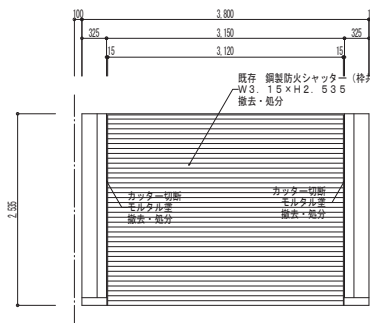
現況 平面詳細図 S=1:50



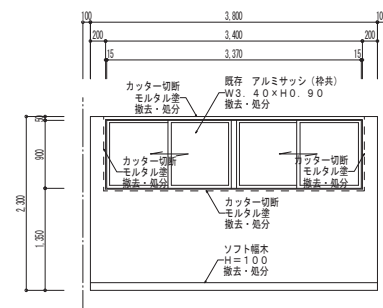
現況 家庭科準備室 C面展開図 S=1:50



現況 中2階踊場 A面展開図 S=1:50



現況 1階階段室 C面展開図 S=1:50

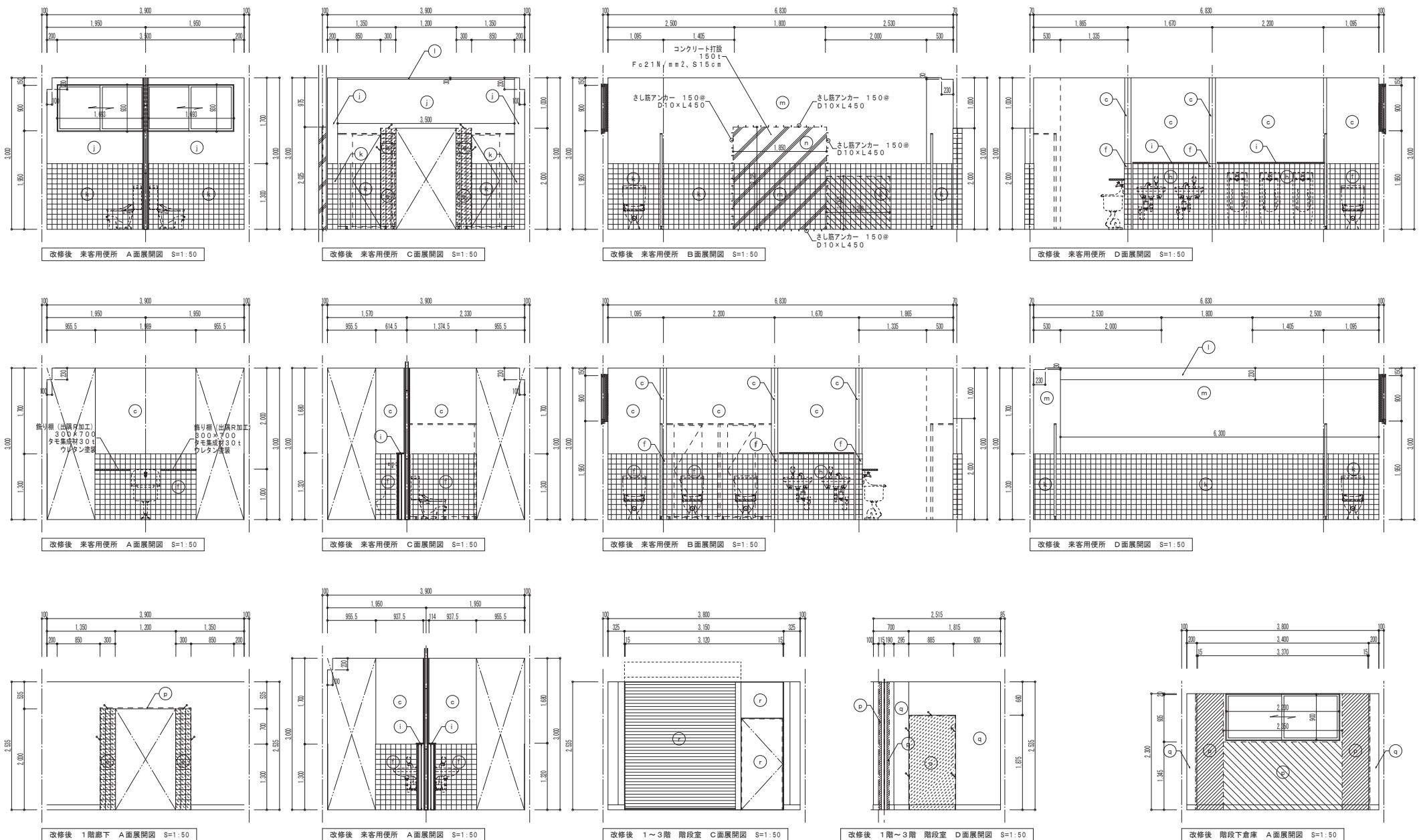


現況 階段下倉庫 A面展開図 S=1:50



内部仕上

① 既存・内壁・柱型：ビニールクロス貼リ 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	② 既存天井内・内壁・柱型：ビニールクロス貼リ 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	③ 内壁：ビニールクロス貼リ 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	④ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑤ 内壁：100角タイル張り（床下） 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑥ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑦ 内壁・柱型：ビニールクロス貼リ（床下） 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t
⑧ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑨ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑩ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑪ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑫ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑬ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t	⑭ 既存・内壁・柱型：100角タイル張り（床下）H=1.300 下地：既存100角タイル撤去のうえモルタル塗金こて20～25t



業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

改修後
展開図

1階来客用便所廻り

SCALE

1 : 50

DATE

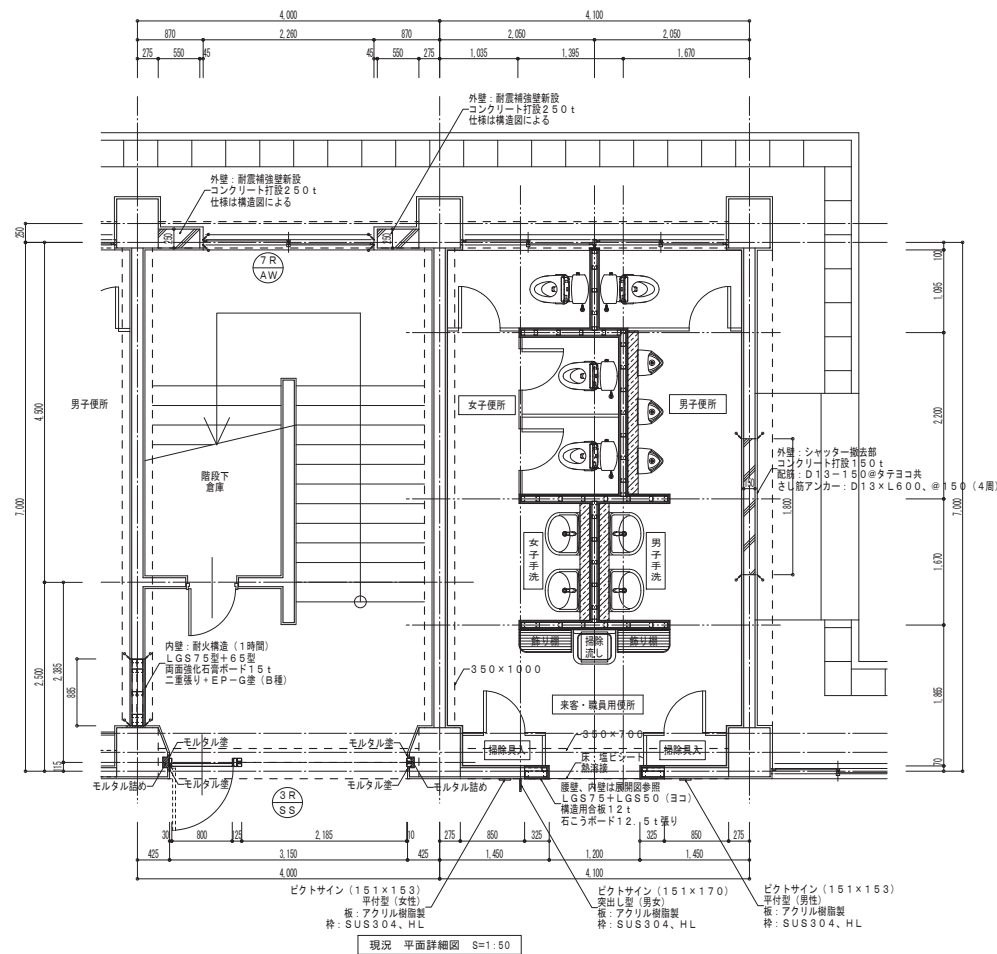
2014. 11

エーアンドエス建築研究室

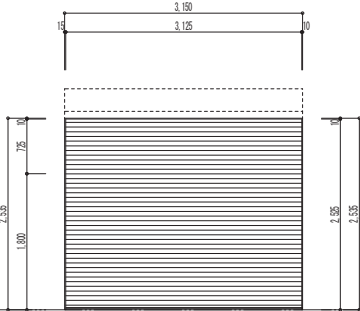
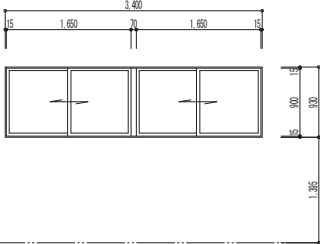
一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

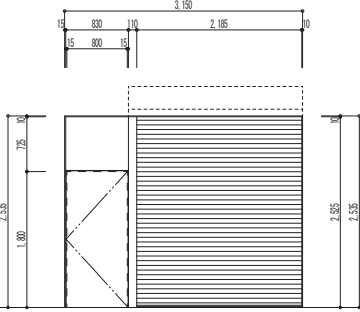
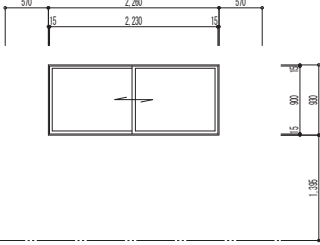
図面番号

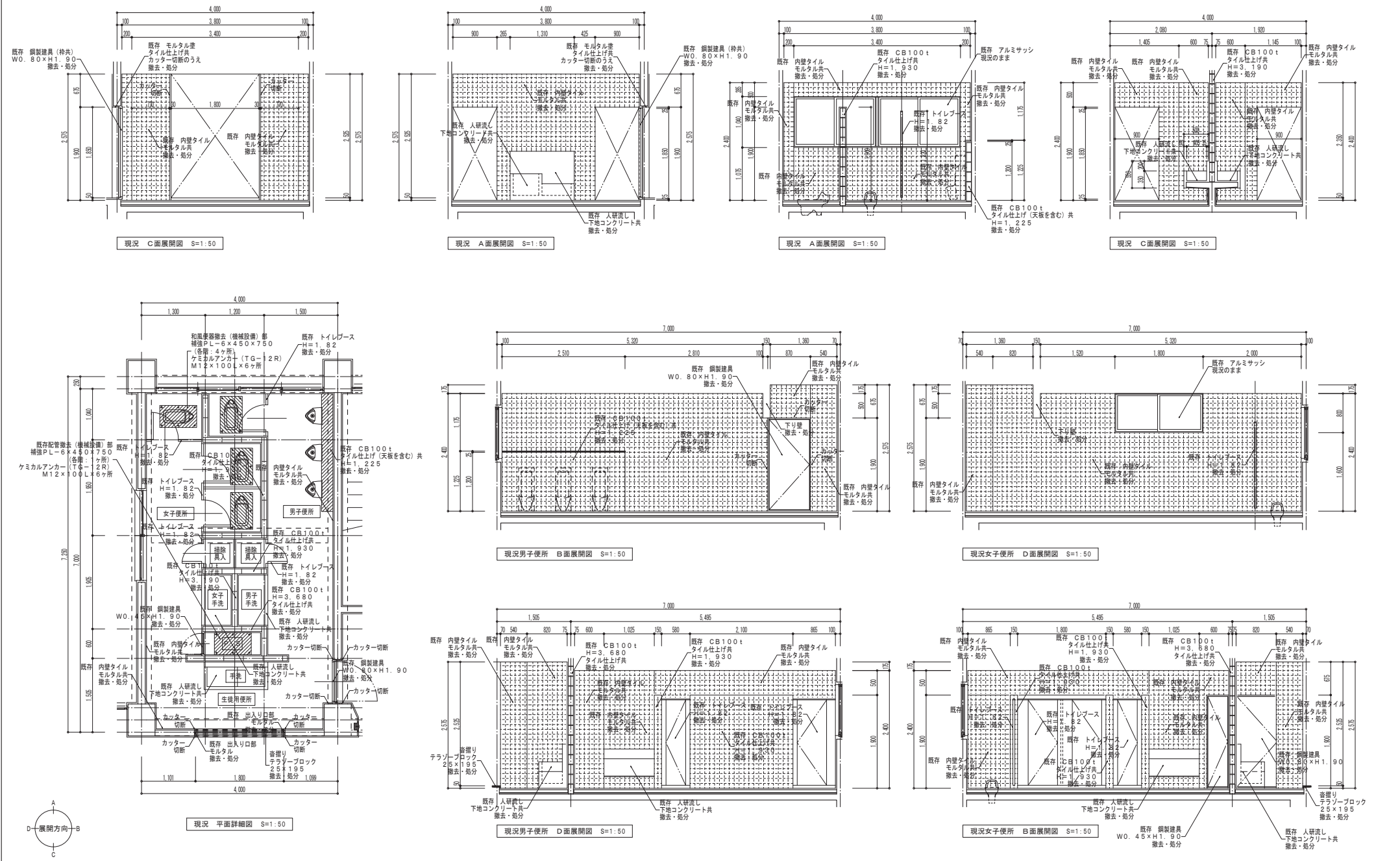
A-3 1



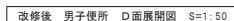
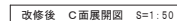
現況 平面詳細図 S=1:50

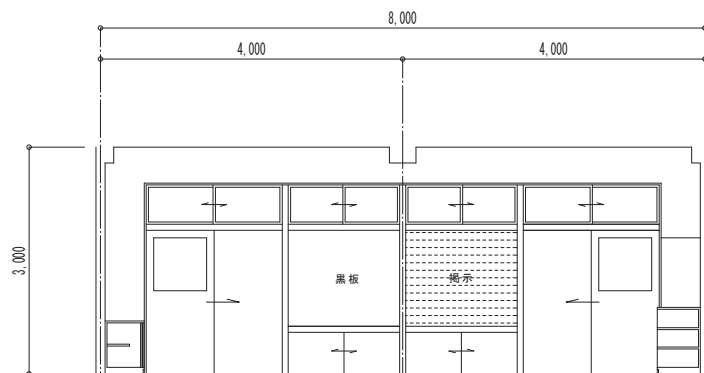
改修前 既存 金属製建具 (特共) 撤去・処分 (図示がある場合は図示部分のみ、特記事項がある場合は特記部分のみとする)							
記号・名称	数量	③ SS	常時開放防火シャッター (煙感連動)	3	⑦ AW	2連アルミ2枚引違い窓	6
形状・寸法							
部 屋 名	1～3階階段室・廊下接続部 (生徒用便所側)			中2階・中3階階段室: 4ヶ所、1階階段下倉庫: 1ヶ所、1階階段下職員便所: 1ヶ所			
材 質	PL-1. 6t、スラット1. 6t			ビル用カラーアルミ			
見 込 み	100			70			
ガラス・塗装	SOP			FL3t			
金 物 ・ 備 考	手動開放装置 (天井内チェーン式)			標準金物一式・二重水切			

改修後 金属製建具 新設 (図示がある場合は図示部分のみ)							
記号・名称	数量	③R SS	常時閉鎖扉 (くぐり戸無) 付防火防煙シャッター	3	⑦R AW	アルミ2枚引違い窓	6
形状・寸法							
部 屋 名	1～3階階段室・廊下接続部 (生徒用便所側)			中2階・中3階階段室: 4ヶ所、1階東階段下倉庫: 1ヶ所、1階西階段下現職員便所: 1ヶ所			
材 質	PL-1. 6t (扉部: フラッシュ)、スラット1. 6t			ビル用カラーアルミ			
見 込 み	110、扉: 40			70			
ガラス・塗装	SOP (防錆塗装: JIS K 5629)			網入り透明板ガラスPW6. 8t			
金 物 ・ 備 考	特定防火設備、煙感連動型、ステッカー付、障害物検知装置付 (座板)、危害防止用連動中継器 天井部手動開放装置 (天井内納り型)、自動閉鎖装置、避難時停止装置			防火設備、標準金物一式、二重水切			

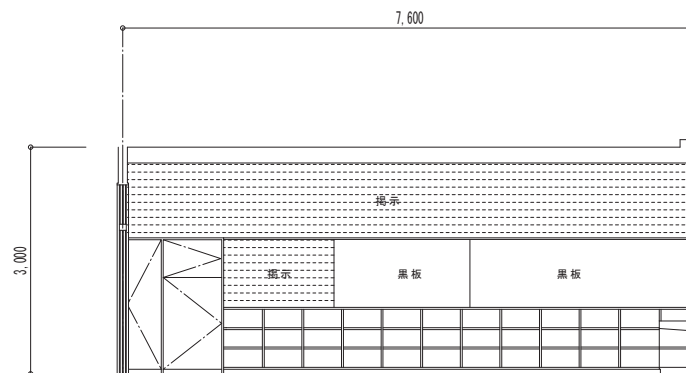


(a)	内陸・内型型 100角タイル部 ビールクロスを貼 下地 既存100角タイル撤去のうえモルタル塗てこ20〜25t	(b)	既存井内内 内陸・柱状100角タイル部 ビールクロスを貼 下地 既存100角タイル撤去のうえモルタル塗てこ20〜25t	(c)	内壁 ビールクロス剥り 下地 既存100タイル 5.1下地、構造用合板12t、LSG65型下地	(d)	既存・内壁・内型 100角タイル張り(圧着)H=1.300 下地 既存100角タイル撤去のうえモルタル塗てこ	(e)	内壁 100角タイル張り(接着) 二コゴロボード12.5t下地、構造用合板12t、 LSG75型+68型(三日月型)下地	(f)	内壁 100角タイル張り(接着)H=1.300 二コゴロボード12.5t下地、構造用合板12t、LSG65型下地
(g)	内壁 100角タイル張り(接着)、間仕切壁1層分を 強化コンクリート15t(面)LSG75型+79型	(h)	内陸 100角タイル張り(接着) ランニング 構造用合板12t×二重張り、LSG65型下地	(i)	天版 花ごうき大崎き 20×150厚度 構造用合板12t×2重張り下地、LSG65型下地						

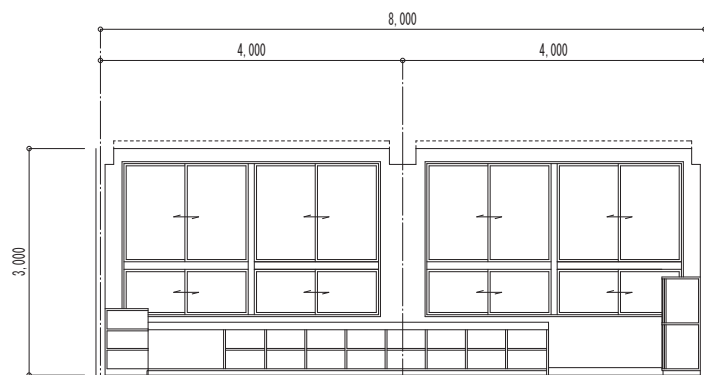




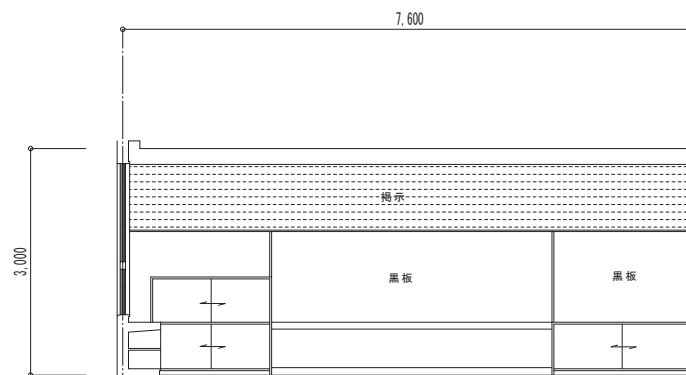
1階CR室（1年）A面 展開図



1階CR室（1年）B面 展開図

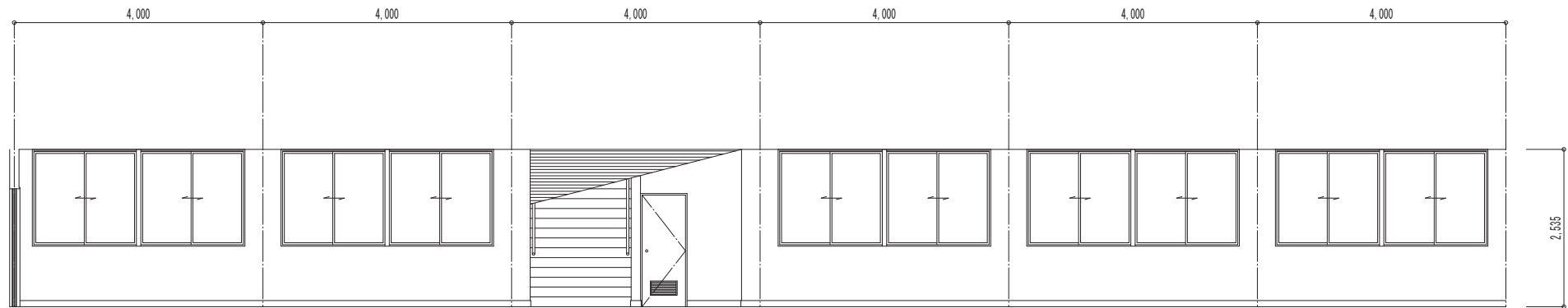


1階CR室（1年）C面 展開図

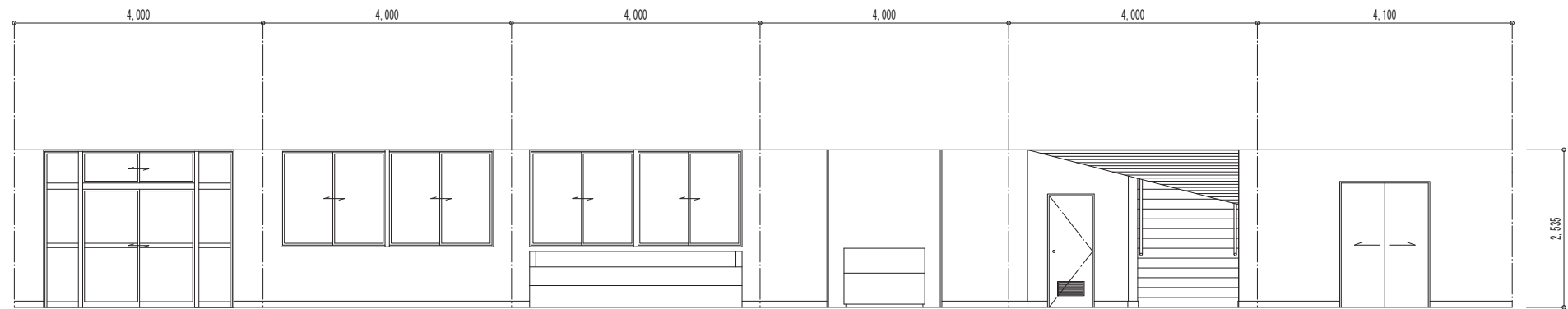


1階CR室（1年）D面 展開図

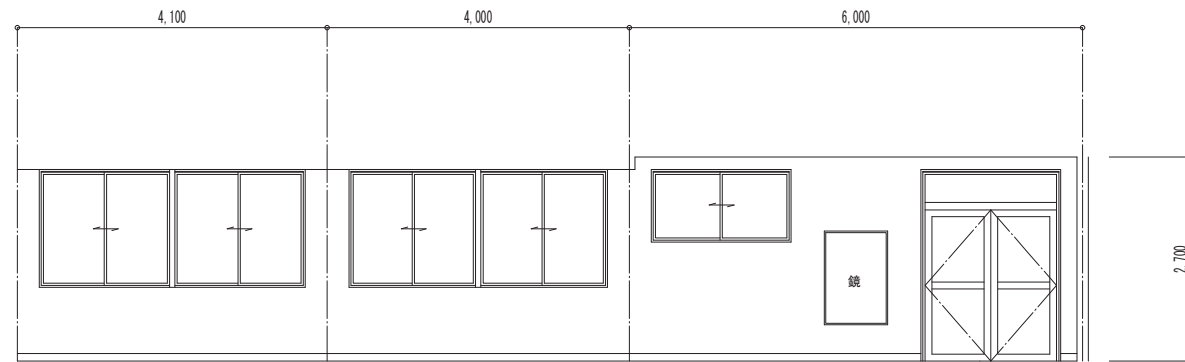
1階会議室 CR室と同様



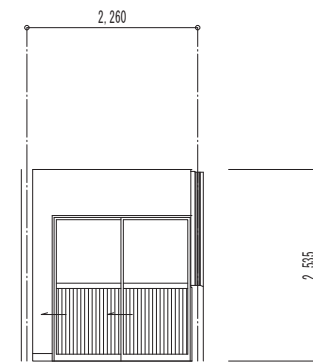
1階ローカ A面 展開図



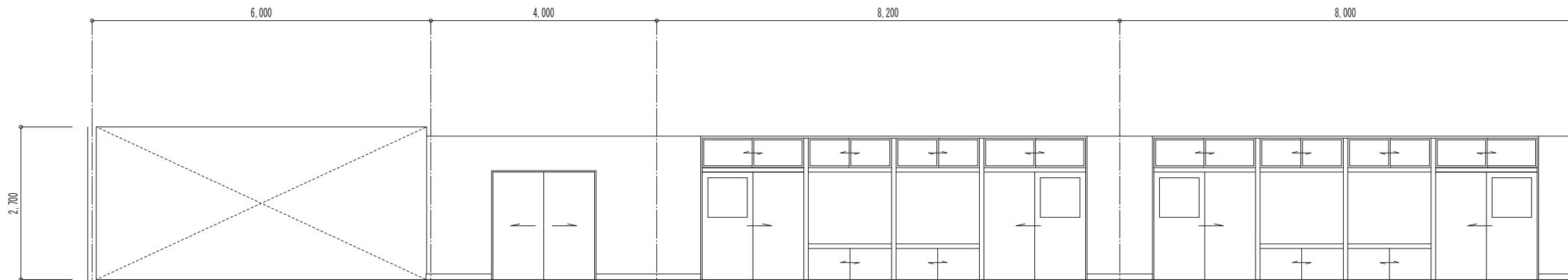
1階ローカ A面 展開図



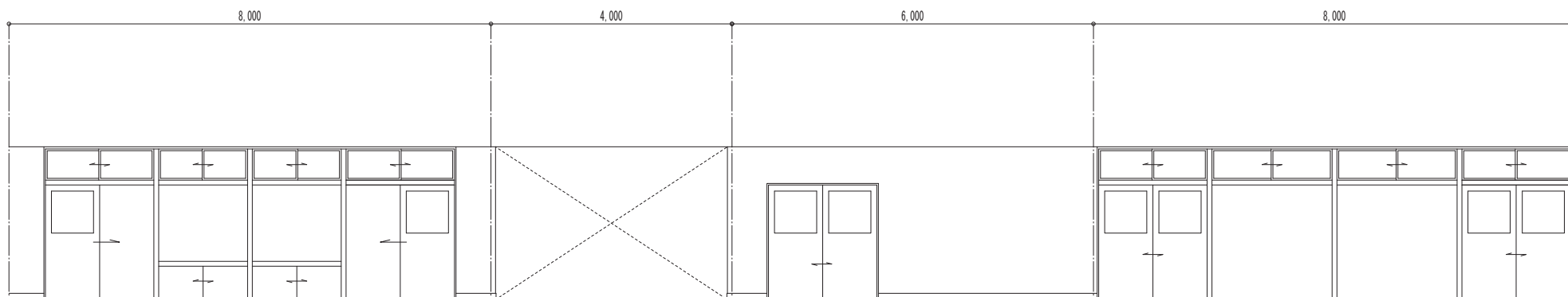
1階ローカ A面 展開図



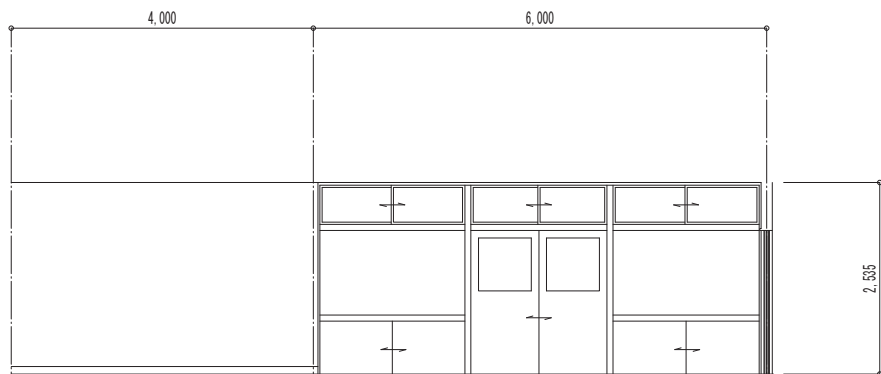
1階ローカ D面 展開図



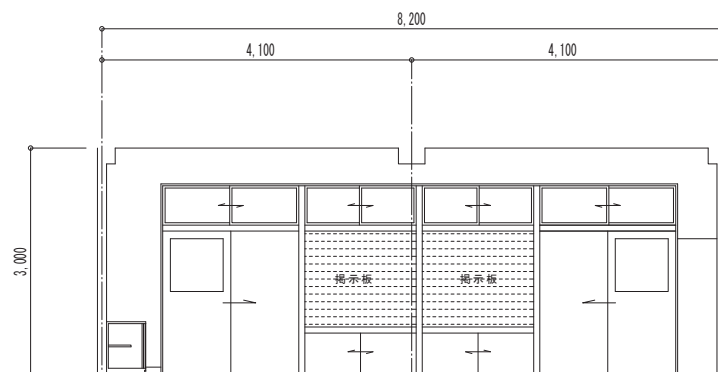
1階ローカ C面 展開図



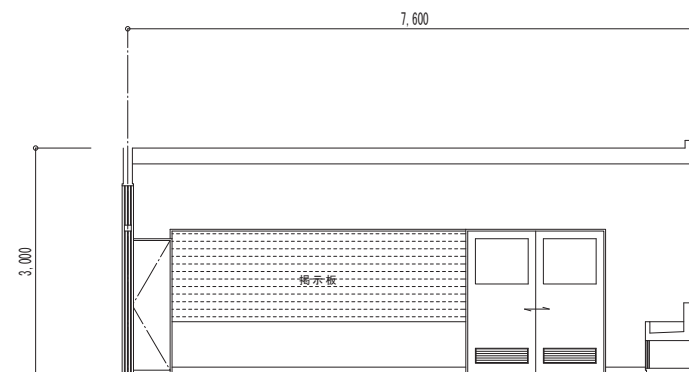
1階ローカ C面 展開図



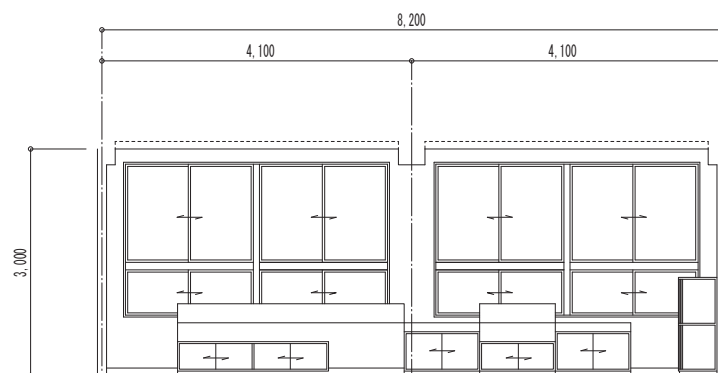
1階ローカ C面 展開図



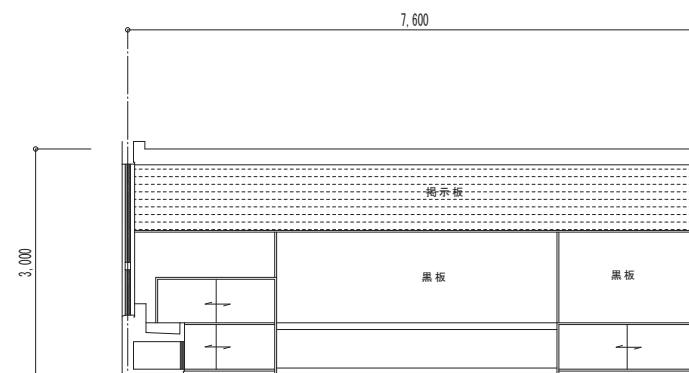
1階家庭科室 A面 展開図



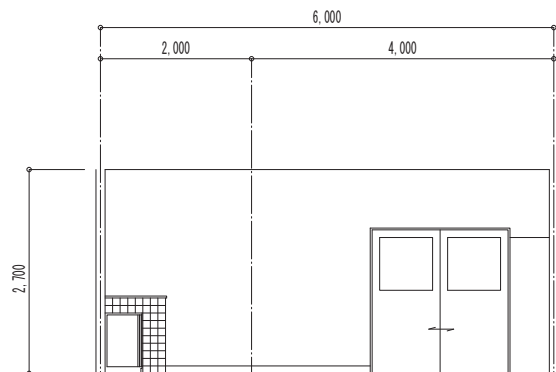
1階家庭科室 B面 展開図



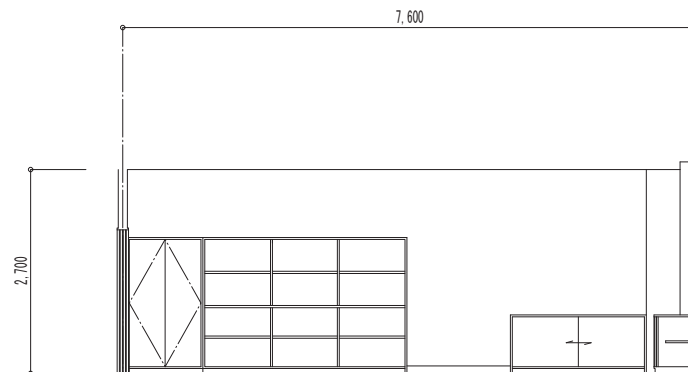
1階家庭科室 C面 展開図



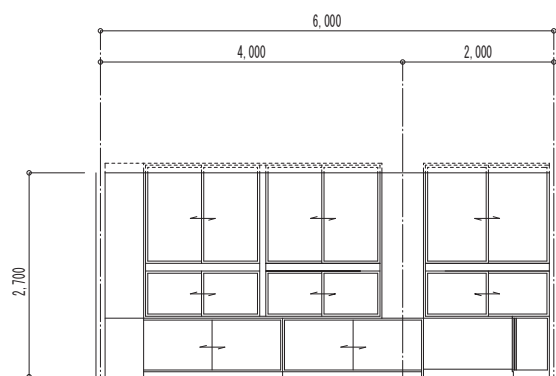
1階家庭科室 D面 展開図



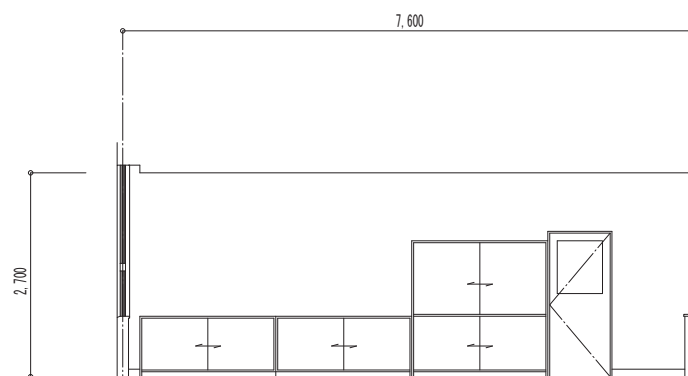
1 階校長室 A 面 展開図



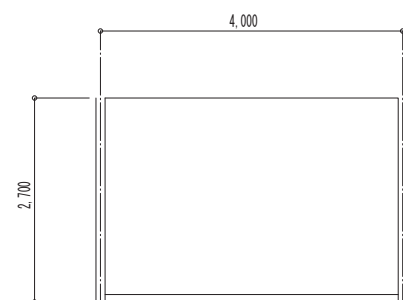
1 階校長室 B 面 展開図



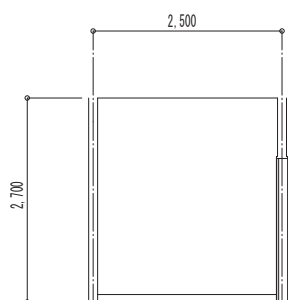
1 階校長室 C 面 展開図



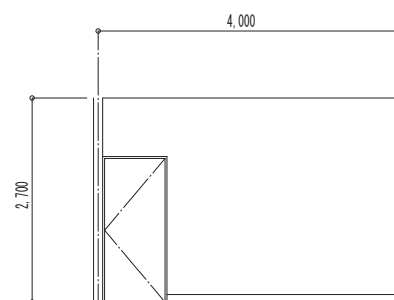
1 階校長室 D 面 展開図



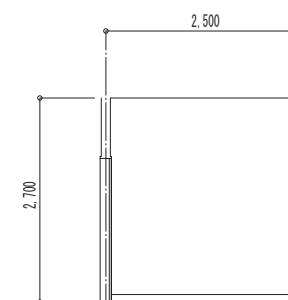
1 階脱衣室 A 面 展開図



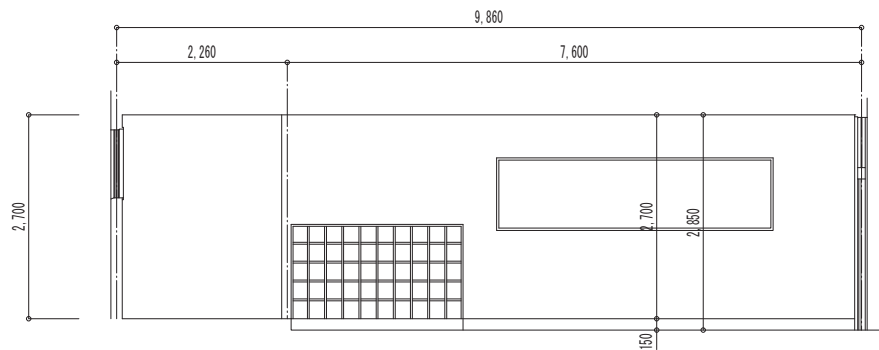
1 階脱衣室 B 面 展開図



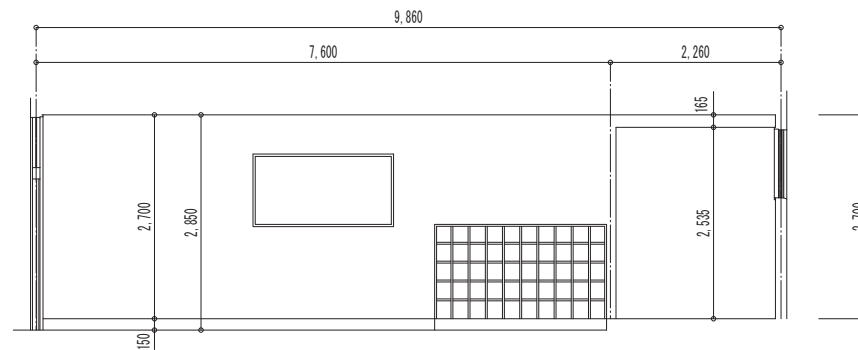
1 階脱衣室 C 面 展開図



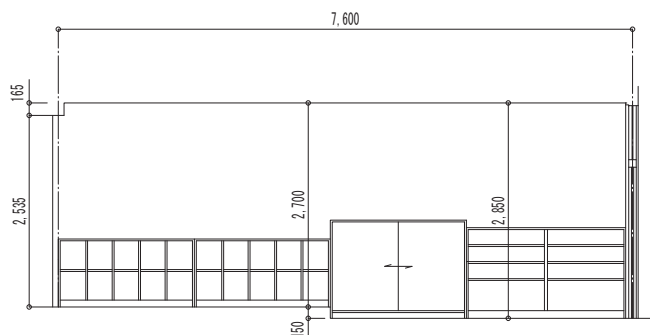
1 階脱衣室 D 面 展開図



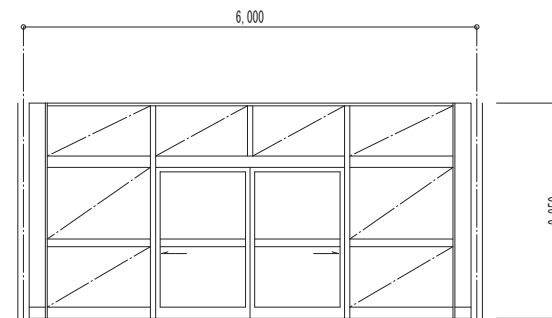
1階昇降口 B面 展開図



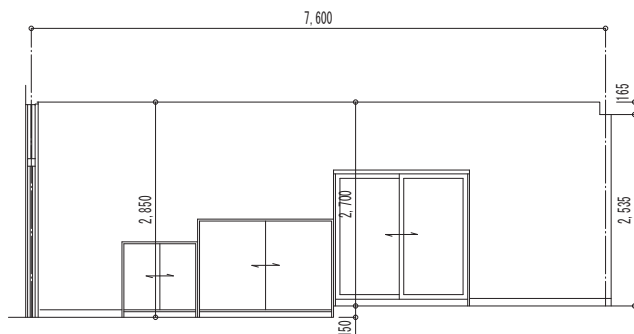
1階昇降口 D面 展開図



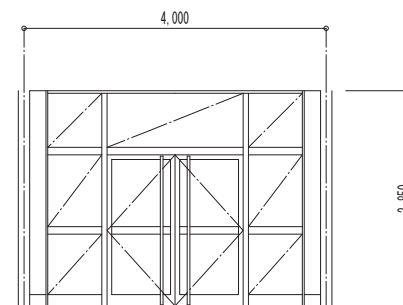
1階昇降口 B面 展開図



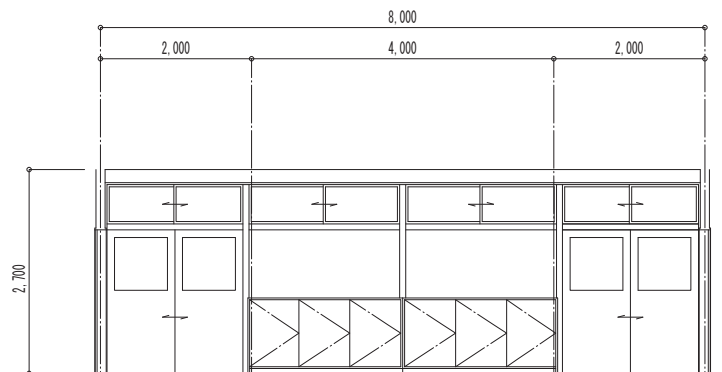
1階昇降口 C面 展開図



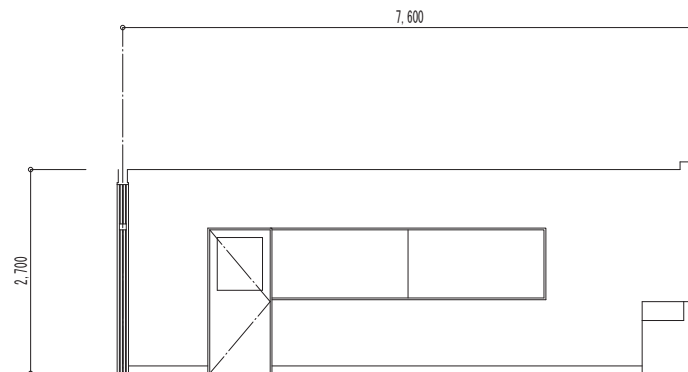
1階玄関 D面 展開図



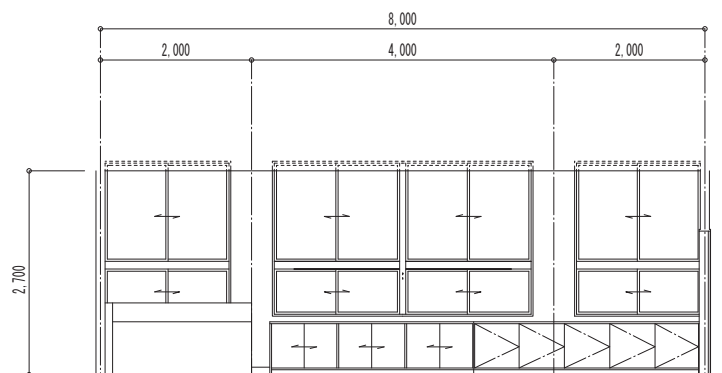
1階玄関 C面 展開図



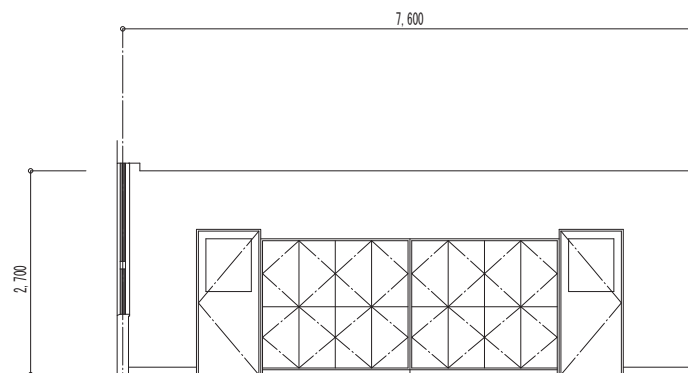
1階職員室 A面 展開図



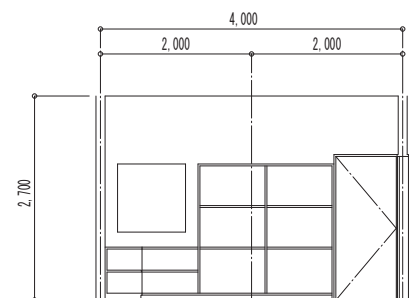
1階職員室 B面 展開図



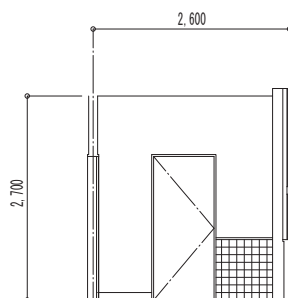
1階職員室 C面 展開図



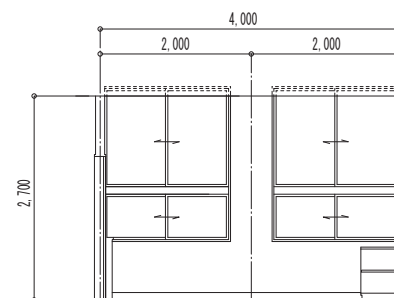
1階職員室 D面 展開図



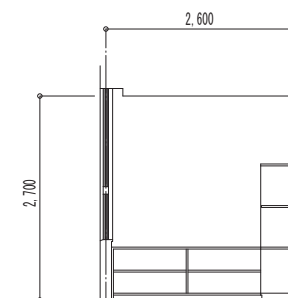
1階印刷室 A面 展開図



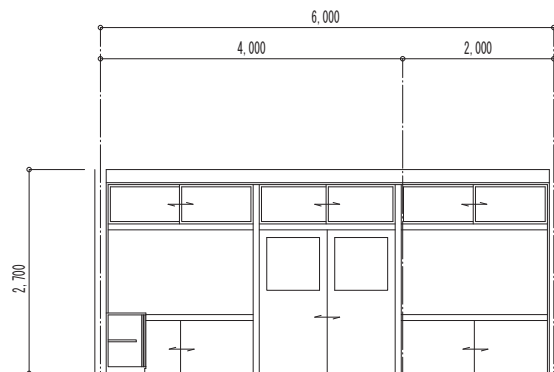
1階印刷室 B面 展開図



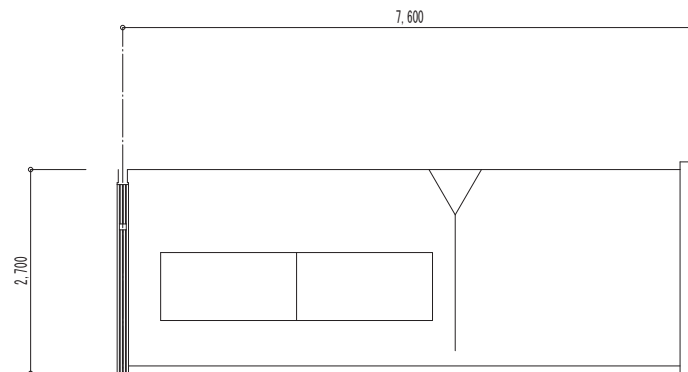
1階印刷室 C面 展開図



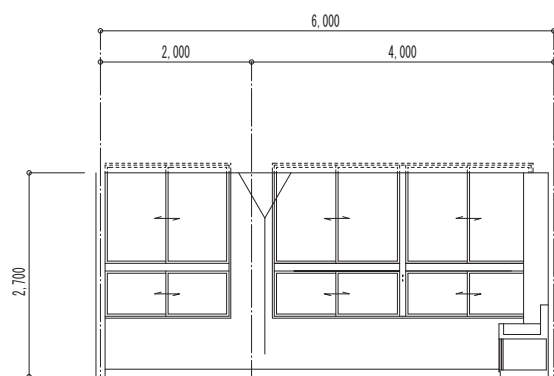
1階印刷室 D面 展開図



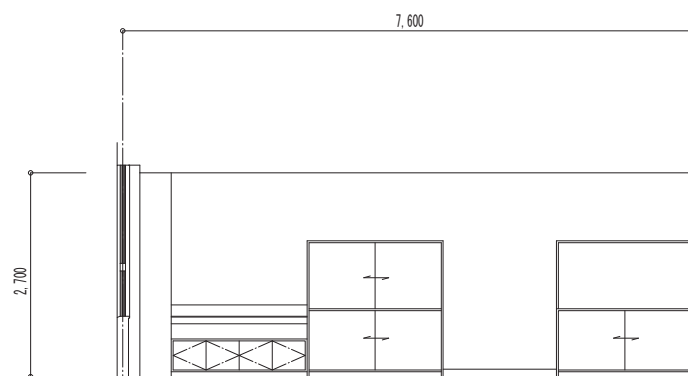
1階保健室 A面 展開図



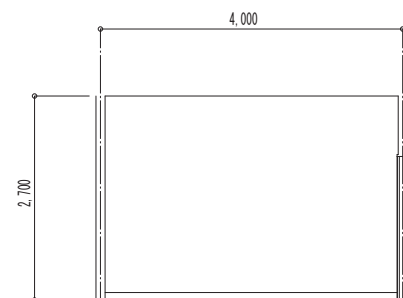
1階保健室 B面 展開図



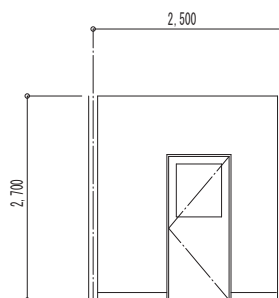
1階保健室 C面 展開図



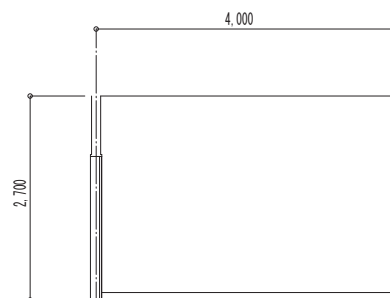
1階保健室 D面 展開図



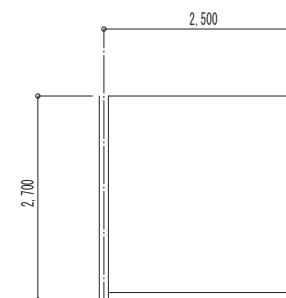
1階放送室 A面 展開図



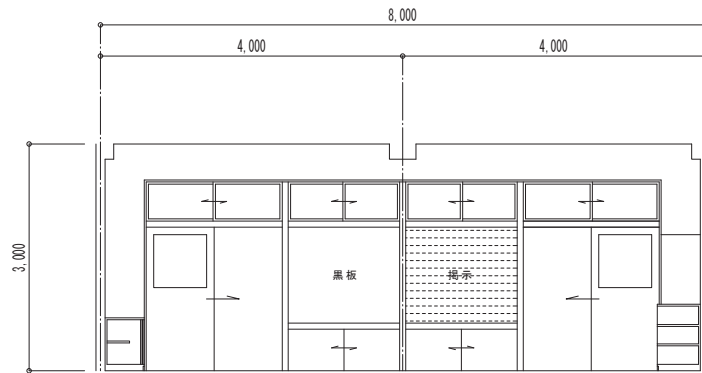
1階放送室 B面 展開図



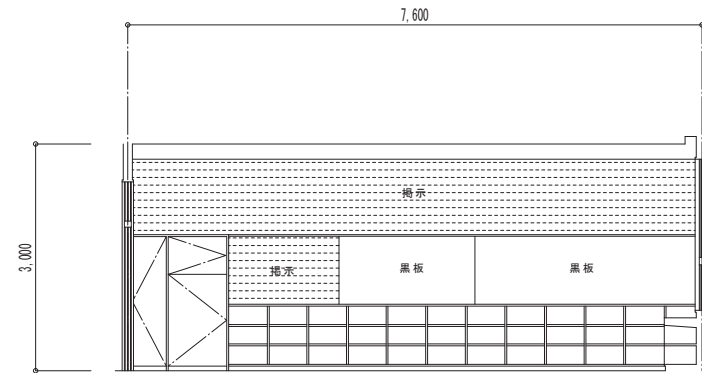
1階放送室 C面 展開図



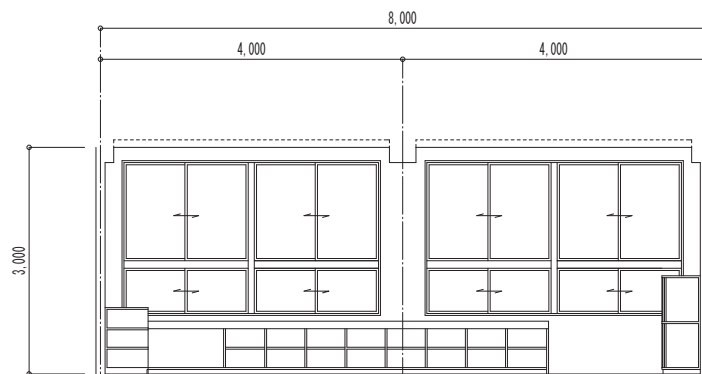
1階放送室 D面 展開図



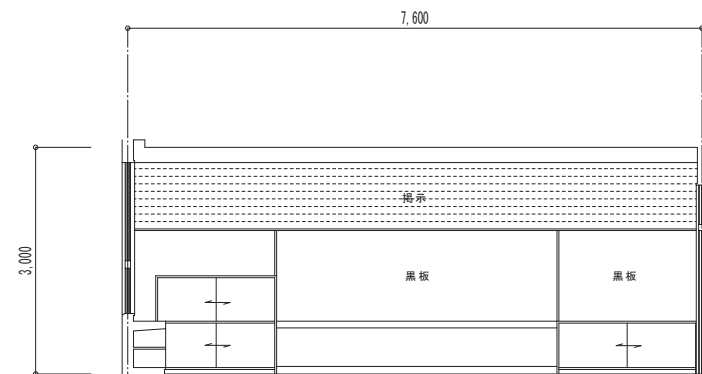
2階CR室（3・2年）A面 展開図



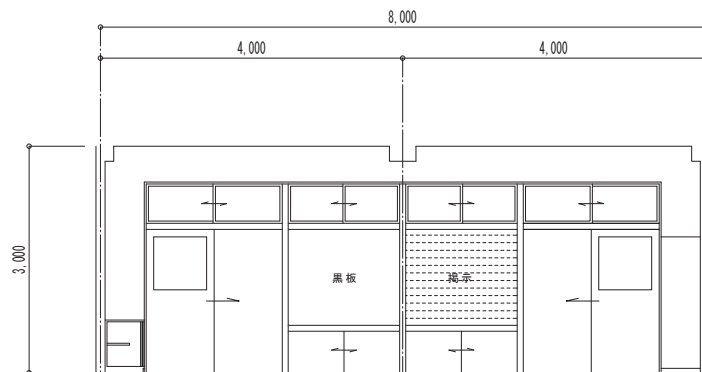
2階CR室（3・2年）B面 展開図



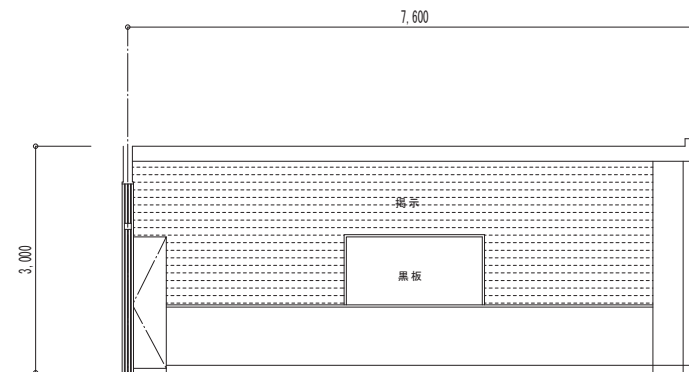
2階CR室（3・2年）C面 展開図



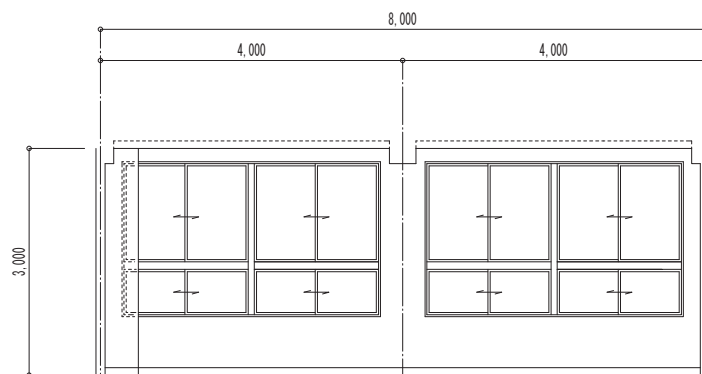
2階CR室（3・2年）D面 展開図



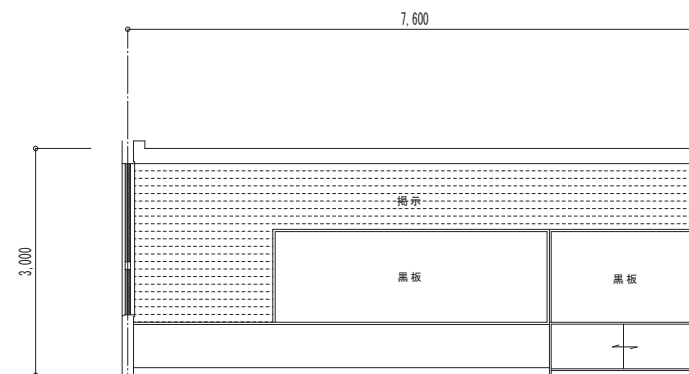
2階CR室（4年）A面 展開図



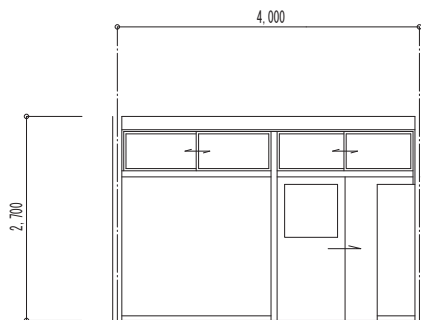
2階CR室（4年）B面 展開図



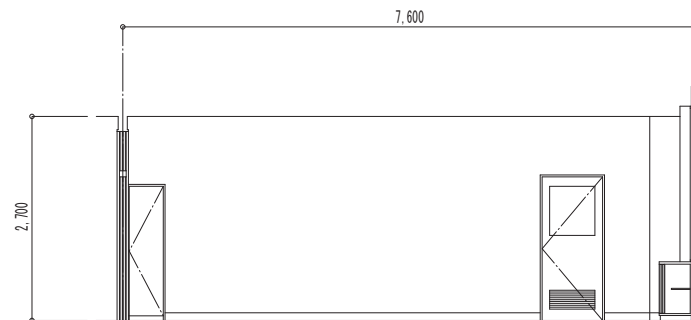
2階CR室（4年）C面 展開図



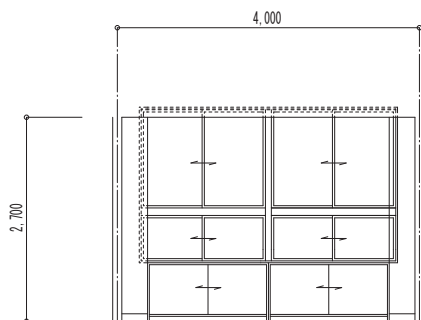
2階CR室（4年）D面 展開図



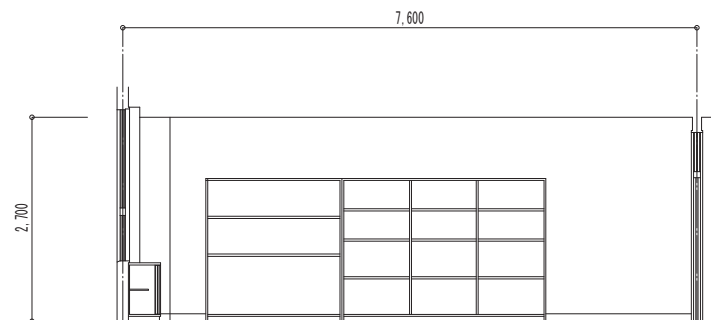
2階CR室（さくら） A面 展開図



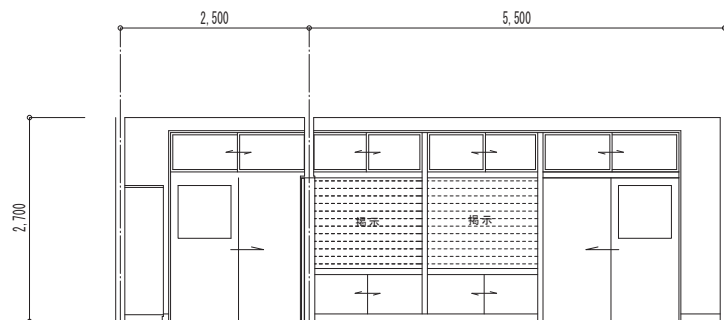
2階CR室（さくら） B面 展開図



2階CR室（さくら） C面 展開図

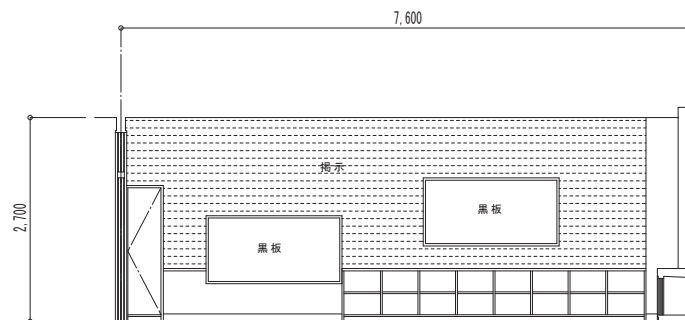


2階CR室（さくら） D面 展開図

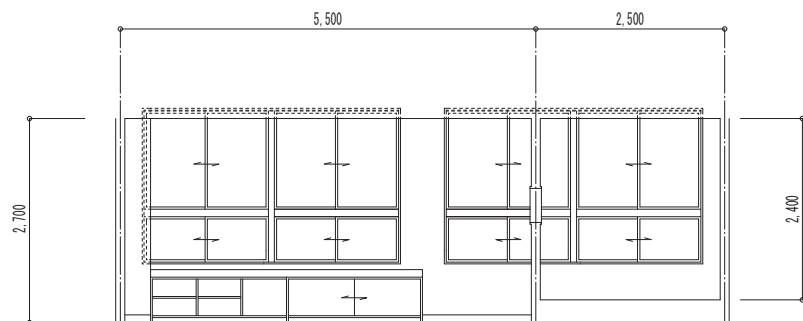


前室 A面 展開図

2階CR室（わかあゆ）A面 展開図

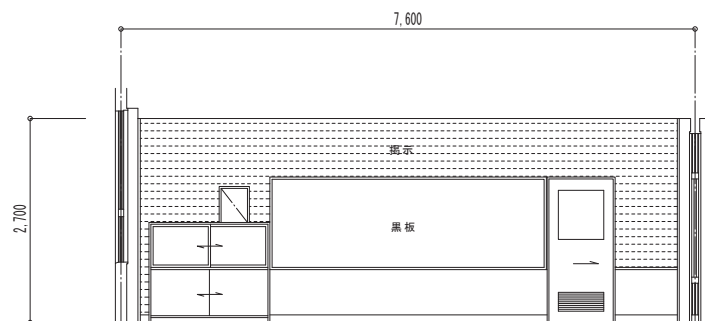


2階CR室（わかあゆ）B面 展開図

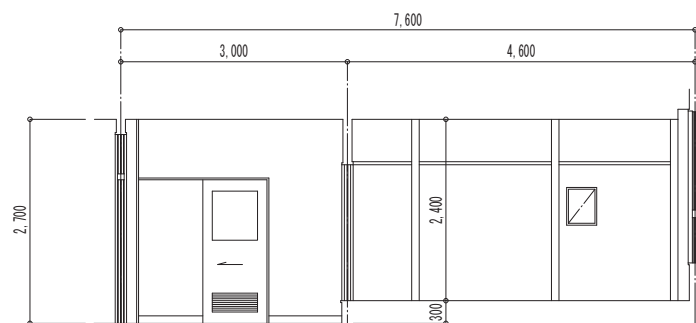


2階CR室（わかあゆ）C面 展開図

相談室 C面 展開図

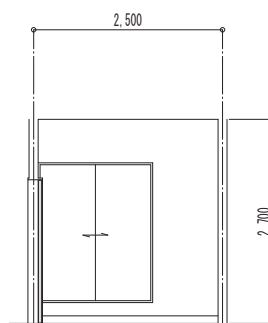


2階CR室（わかあゆ）D面 展開図

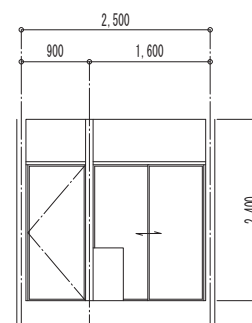


前室 B面 展開図

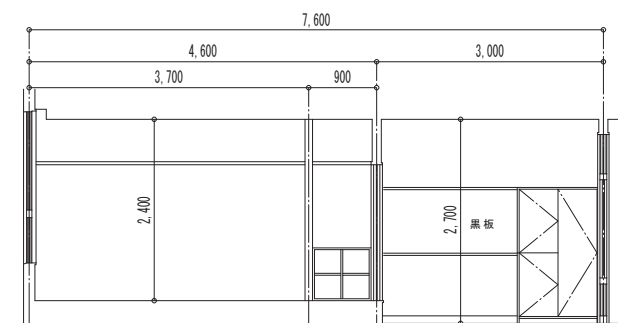
相談室 B面 展開図



前室 C面 展開図

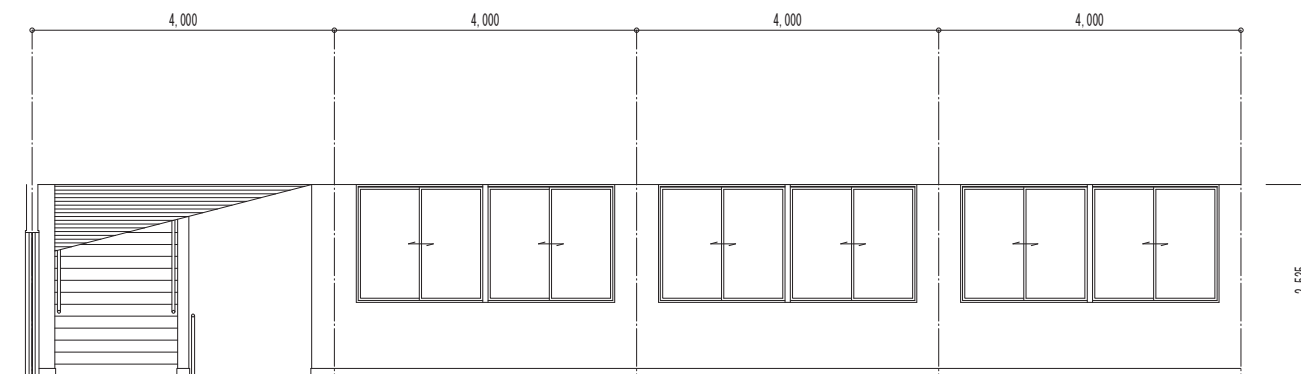


相談室 A面 展開図

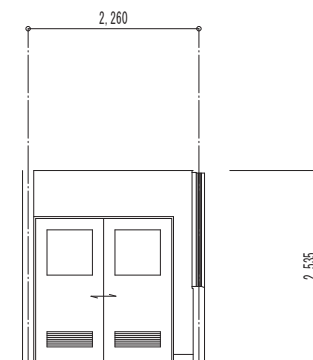


相談室 D面 展開図

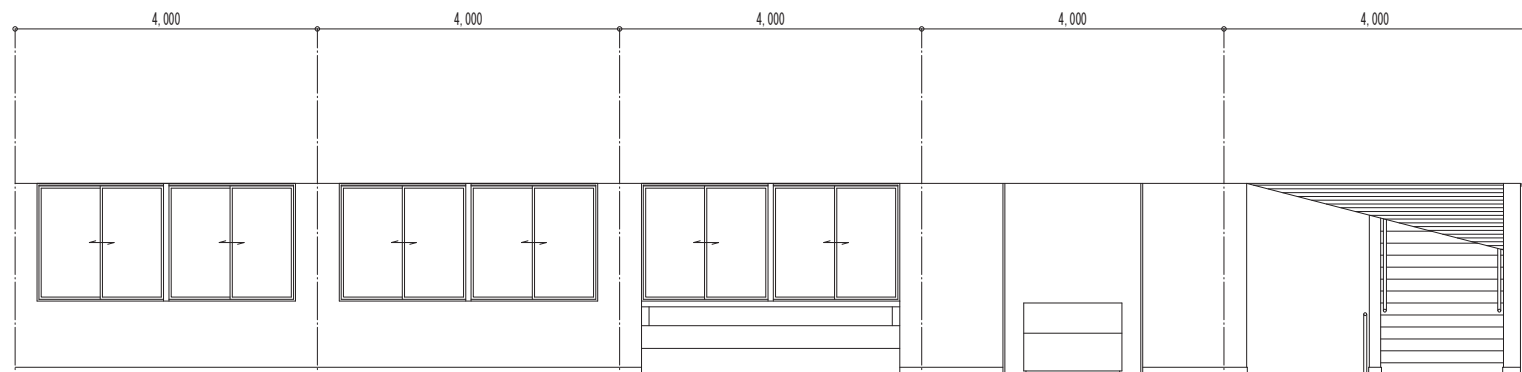
前室 D面 展開図



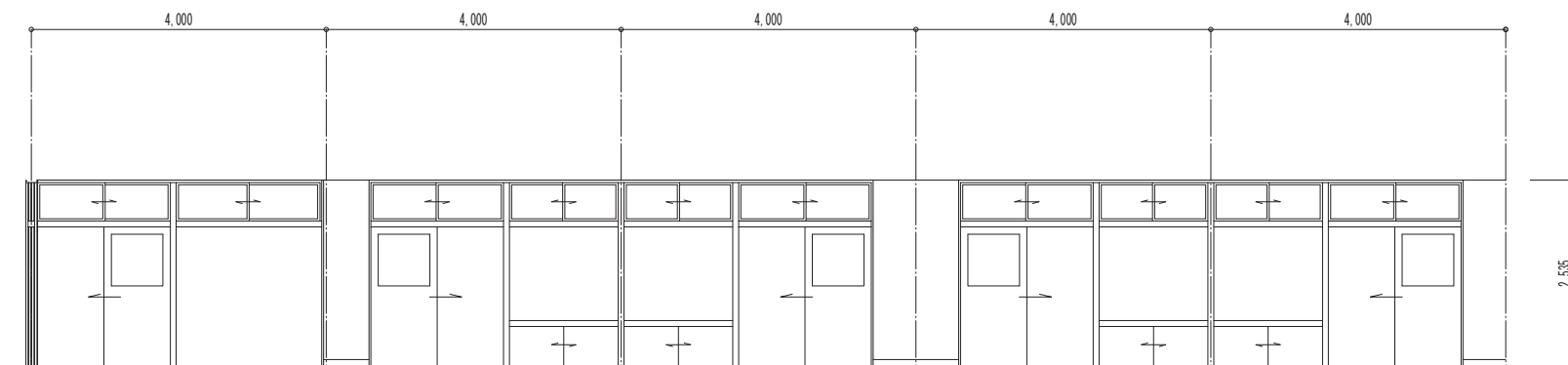
2階ローカ A面 展開図



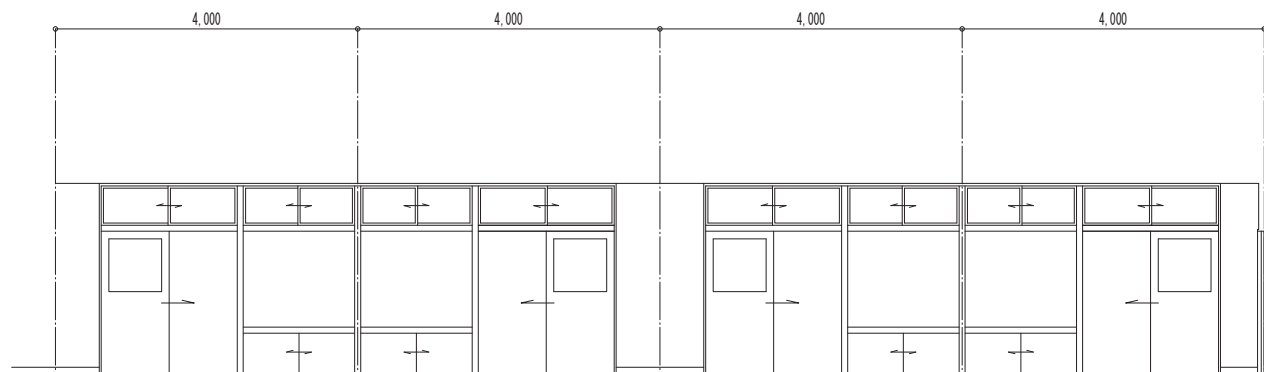
2階ローカ D面 展開図



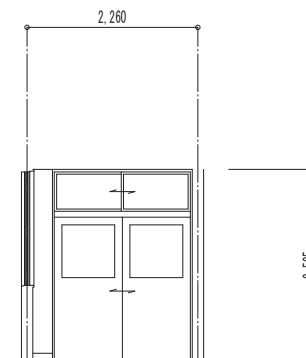
2階ローカ A面 展開図



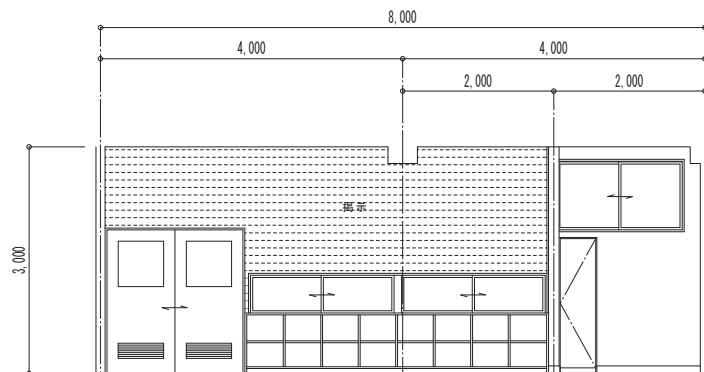
2階ローカ C面 展開図



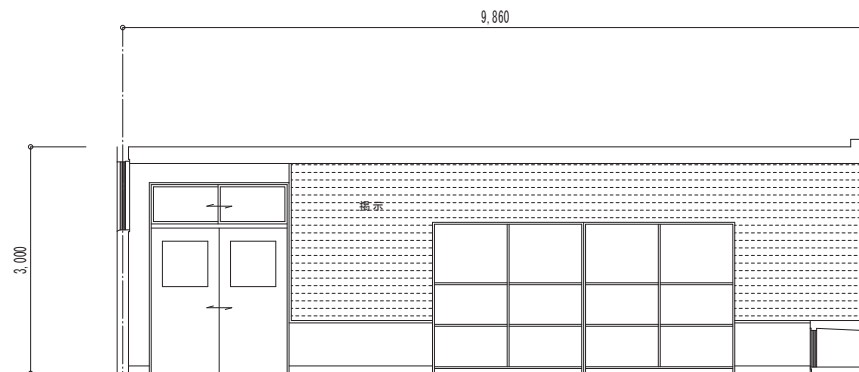
2階ローカ C面 展開図



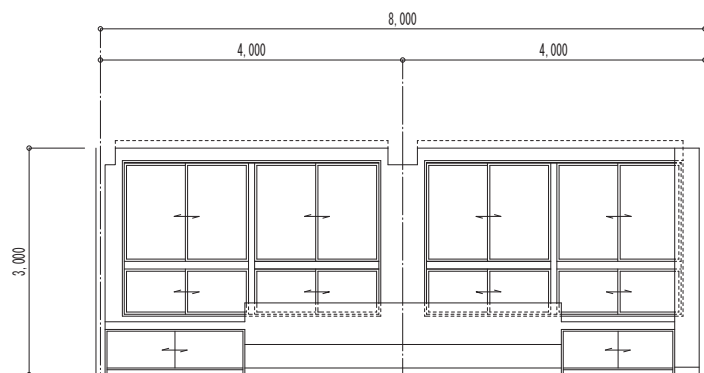
2階ローカ B面 展開図



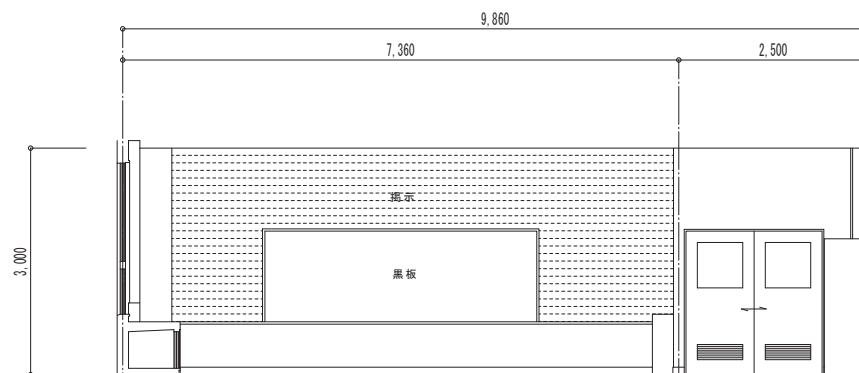
2階図工室 A面 展開図



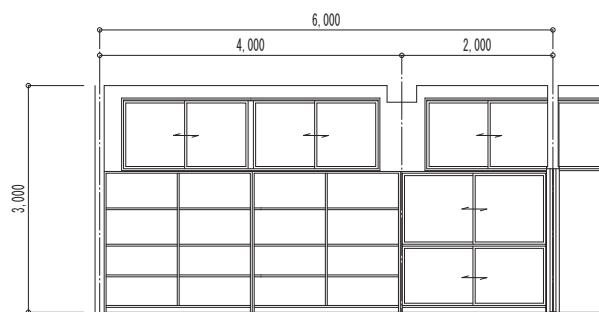
2階図工室 B面 展開図



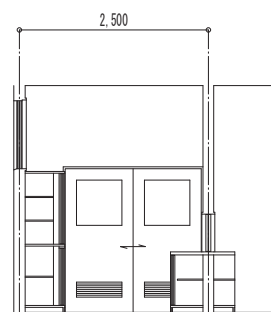
2階図工室 C面 展開図



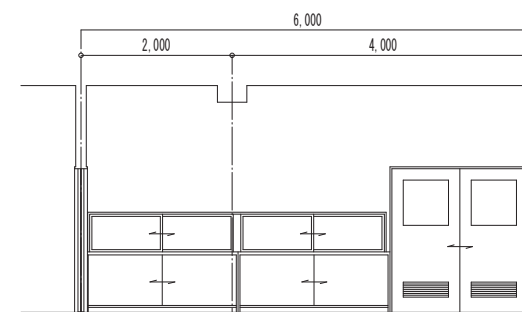
2階図工室 D面 展開図



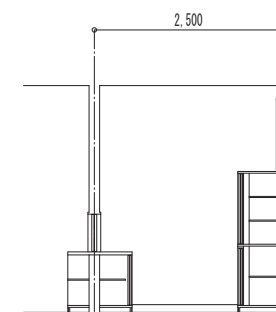
図工準備室 A面 展開図



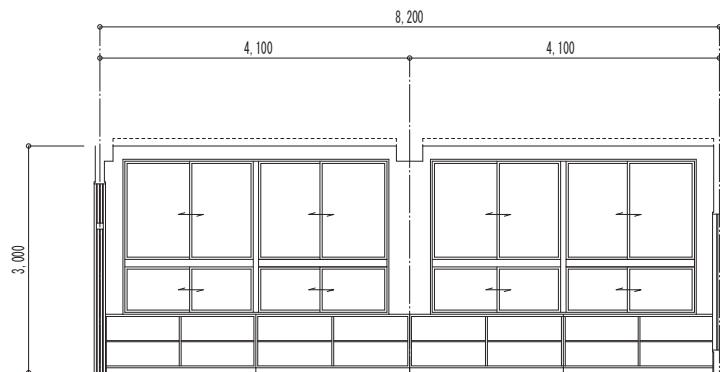
図工準備室 B面 展開図



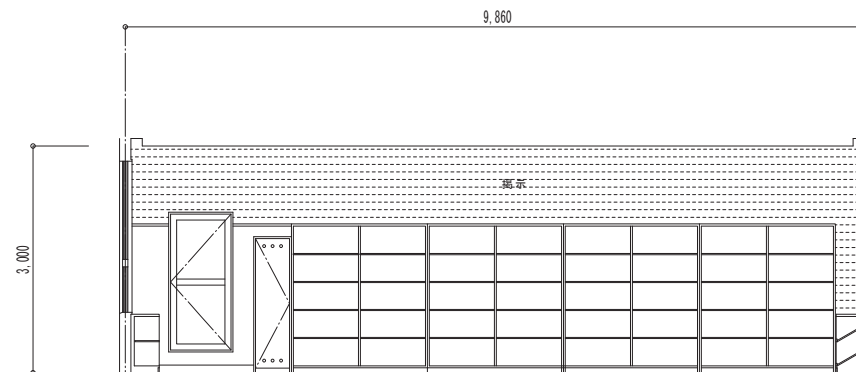
図工準備室 C面 展開図



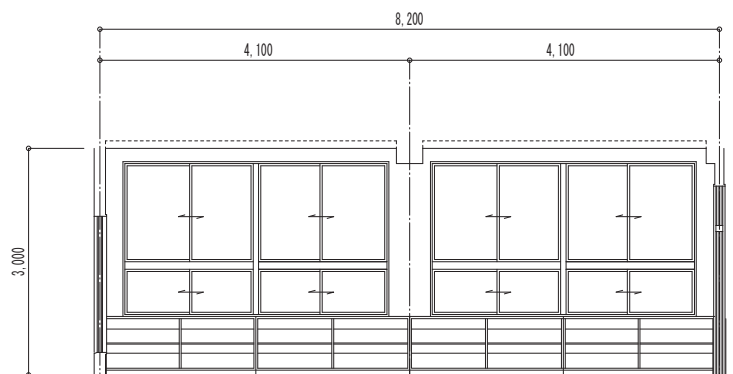
図工準備室 D面 展開図



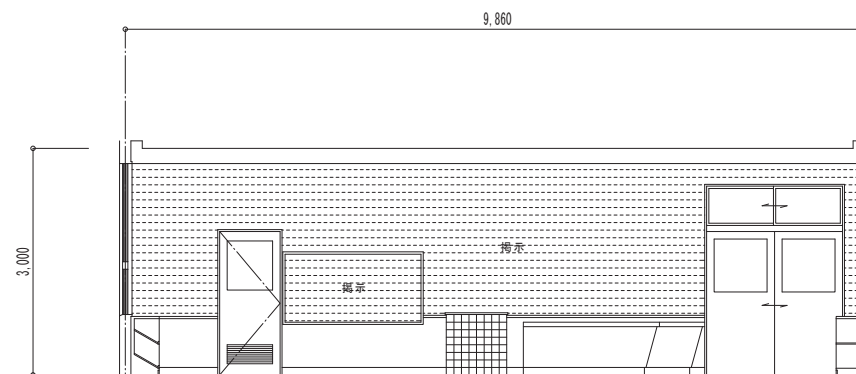
2階図書室 A面 展開図



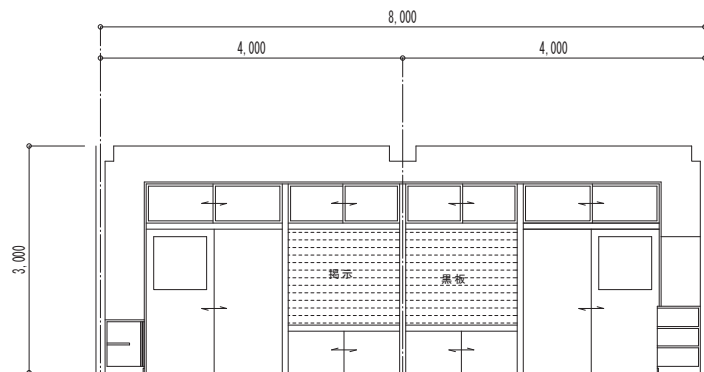
2階図書室 B面 展開図



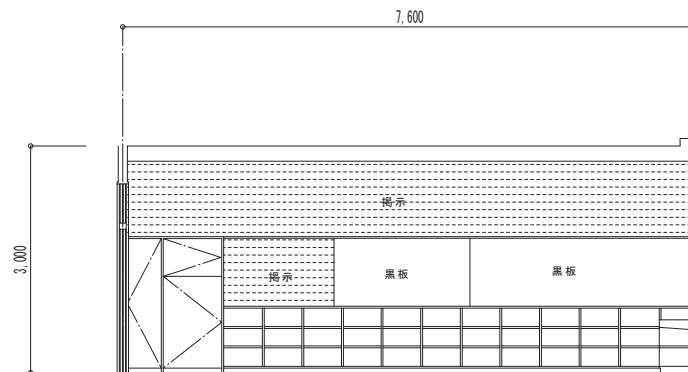
2階図書室 C面 展開図



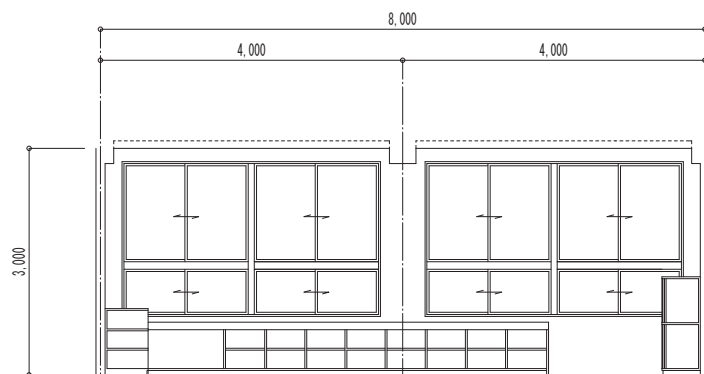
2階図書室 D面 展開図



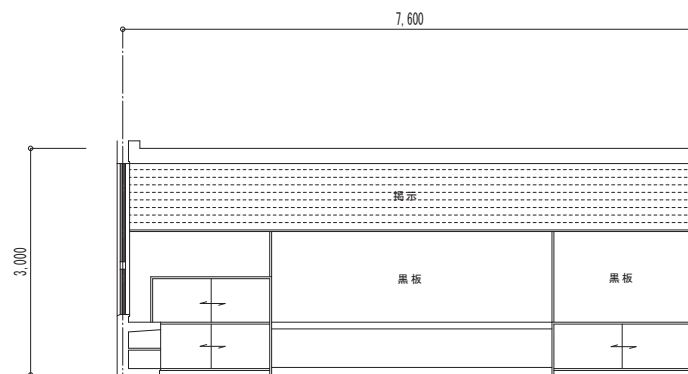
3階CR室（5・6年）A面 展開図



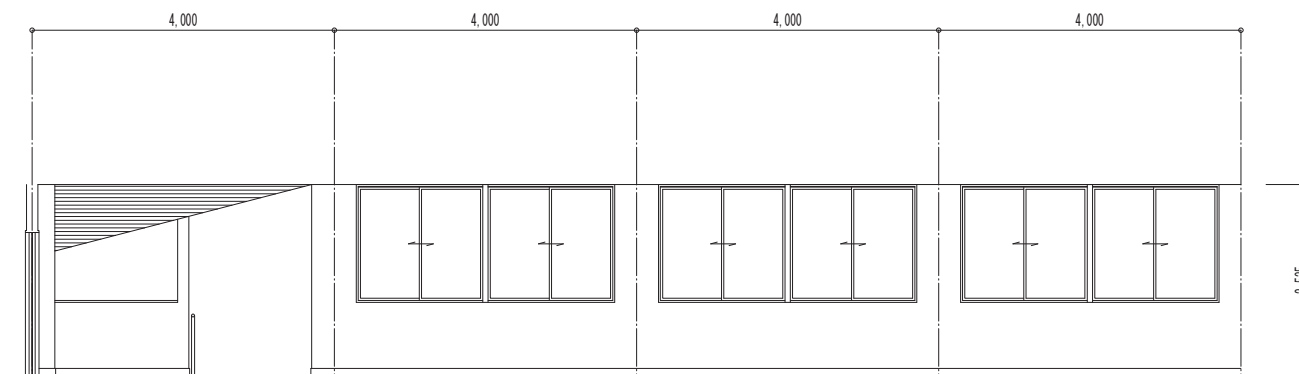
3階CR室（5・6年）B面 展開図



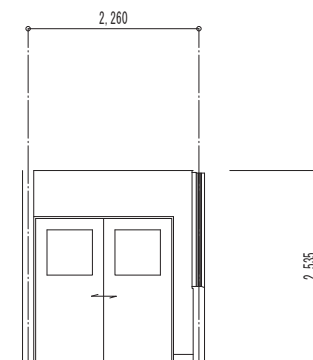
3階CR室（5・6年）C面 展開図



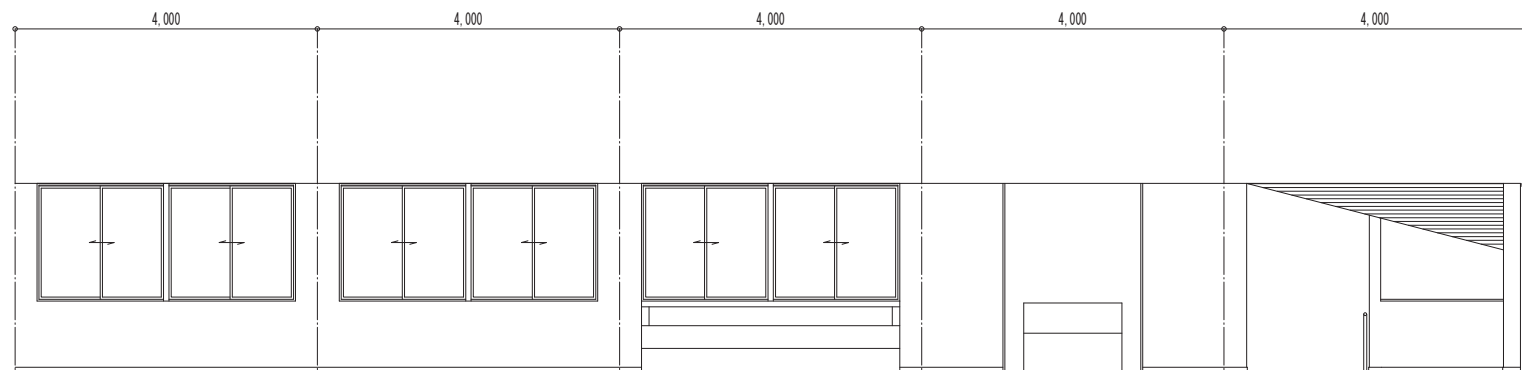
3階CR室（5・6年）D面 展開図



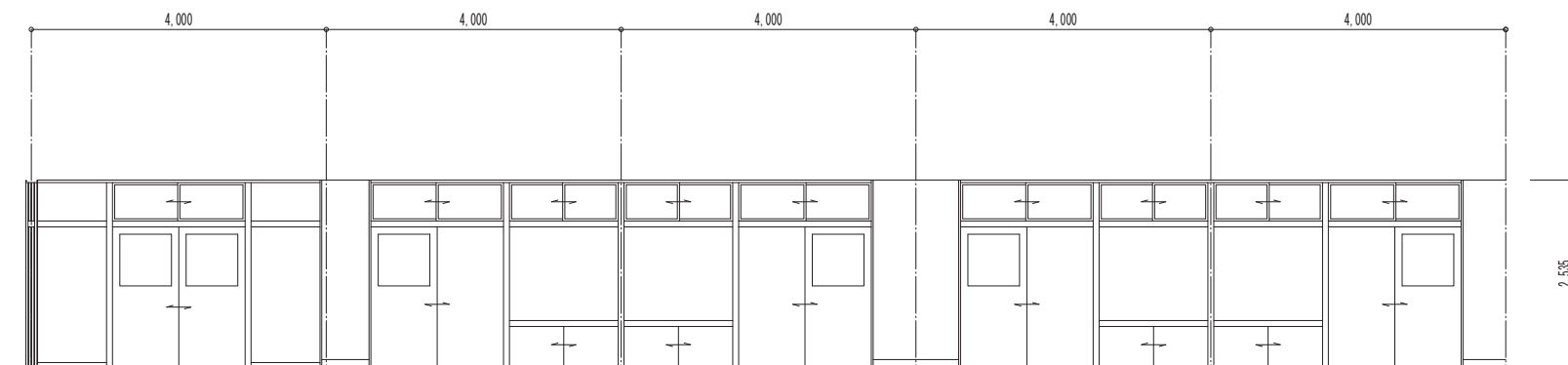
3階ローカ A面 展開図



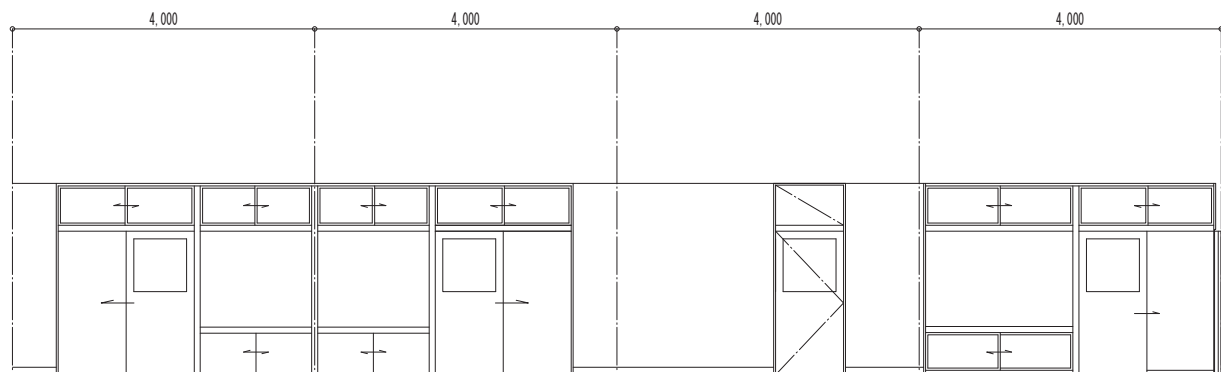
3階ローカ D面 展開図



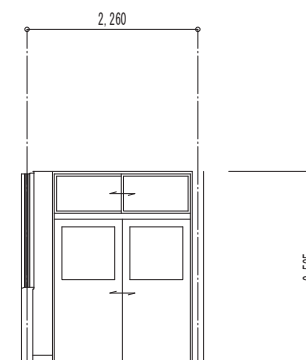
3階ローカ A面 展開図



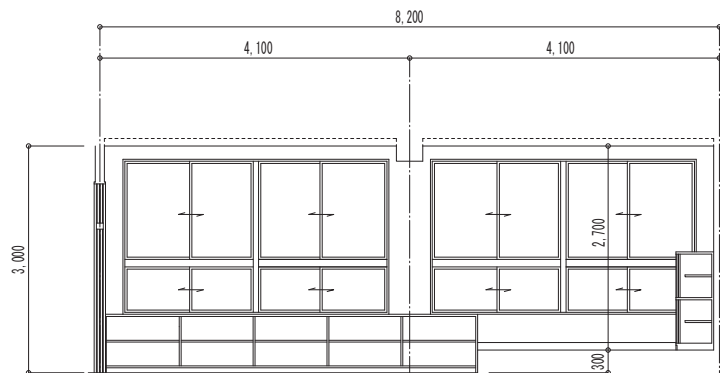
3階ローカ C面 展開図



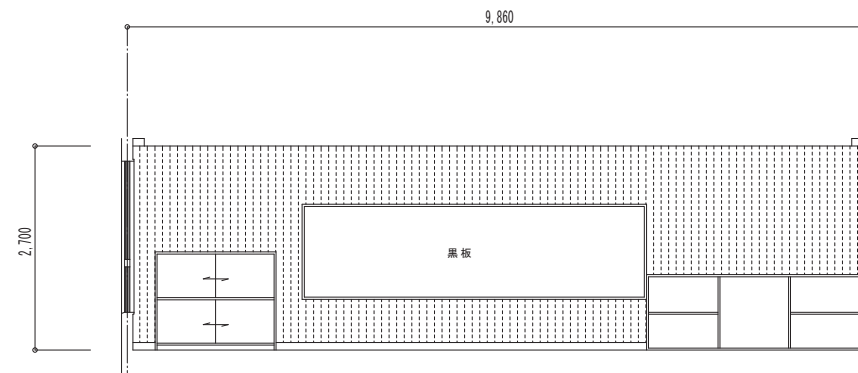
3階ローカ C面 展開図



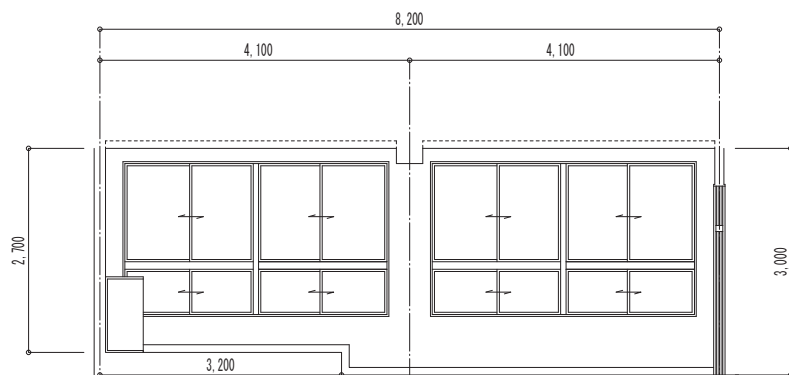
3階ローカ B面 展開図



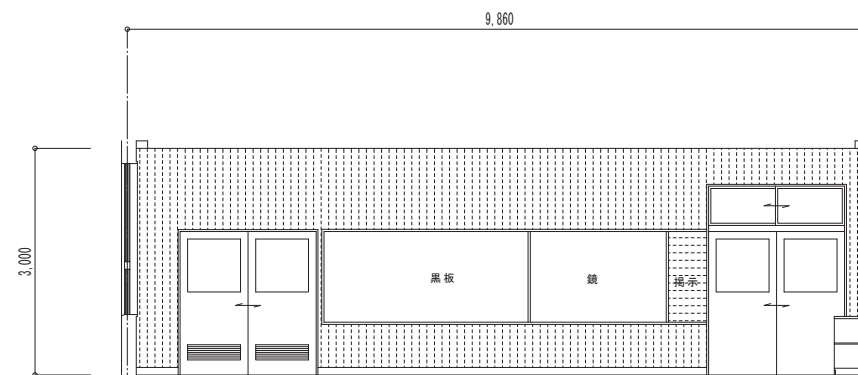
3階音楽室 A面 展開図



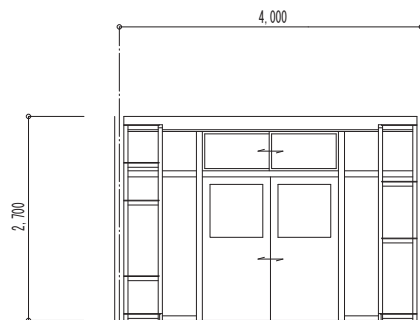
3階音楽室 B面 展開図



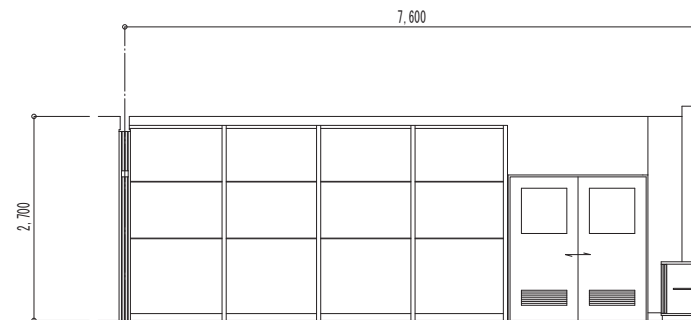
2階音楽室 C面 展開図



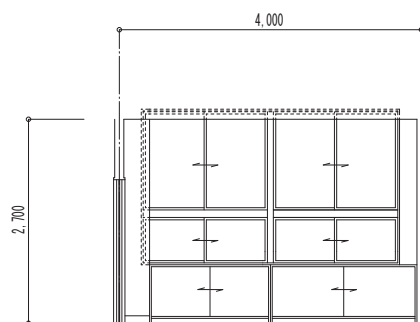
2階音楽室 D面 展開図



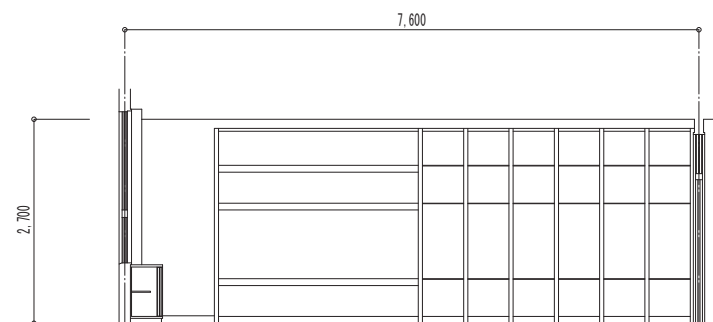
3 階音楽準備室 A 面 展開図



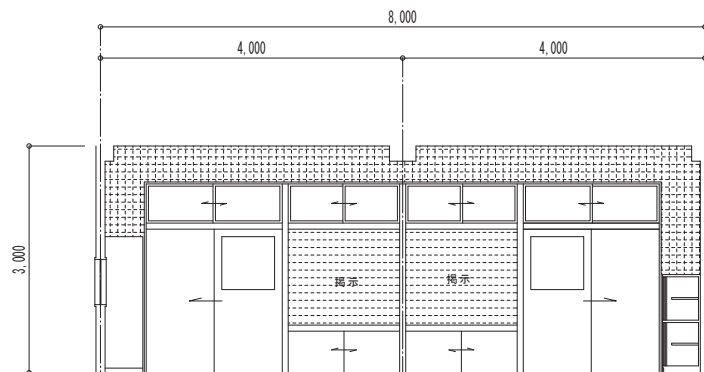
3 階音楽準備室 B 面 展開図



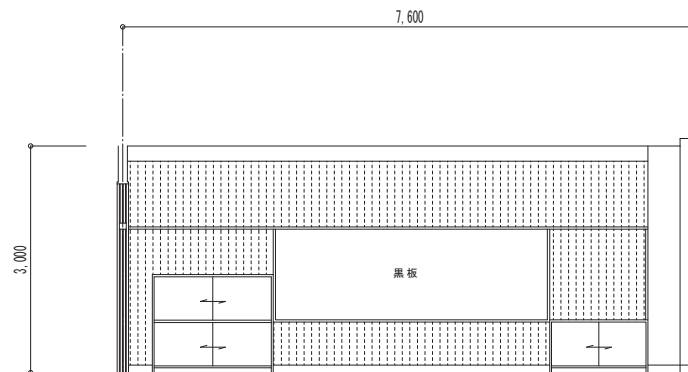
3 階音楽準備室 C 面 展開図



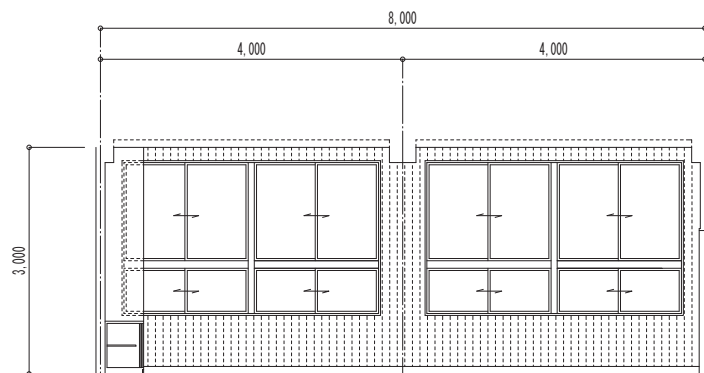
3 階音楽準備室 D 面 展開図



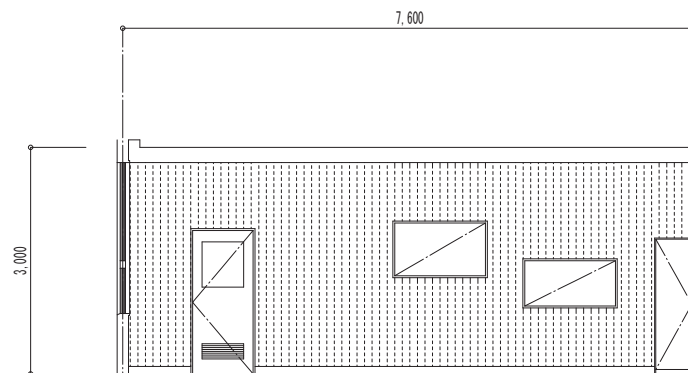
3階視聴覚室 A面 展開図



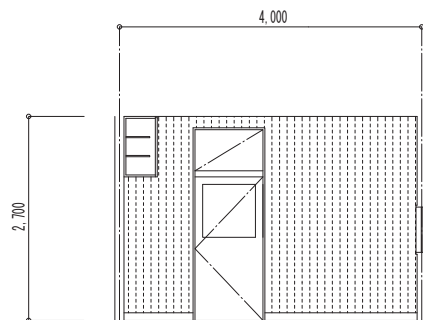
3階視聴覚室 B面 展開図



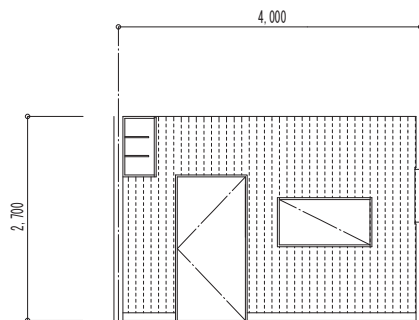
3階視聴覚室 C面 展開図



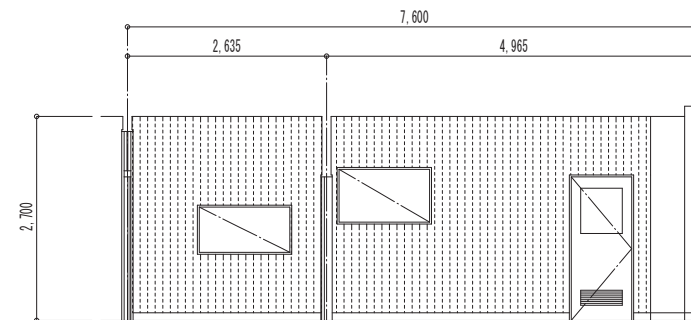
3階視聴覚室 D面 展開図



3階生徒放送室 A面 展開図

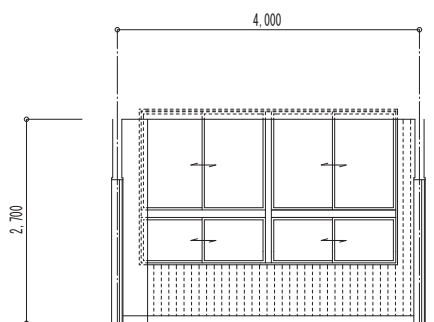


3階倉庫 A面 展開図

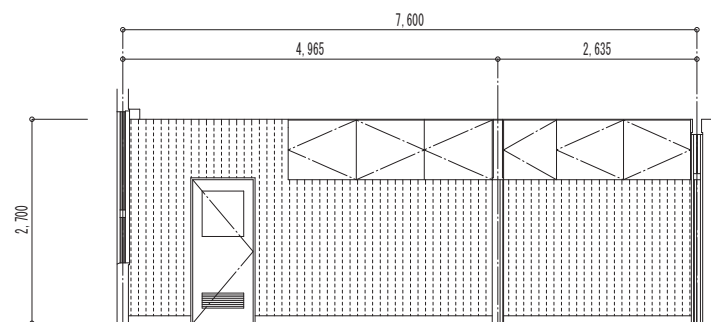


3階生徒放送室 B面 展開図

3階倉庫 B面 展開図

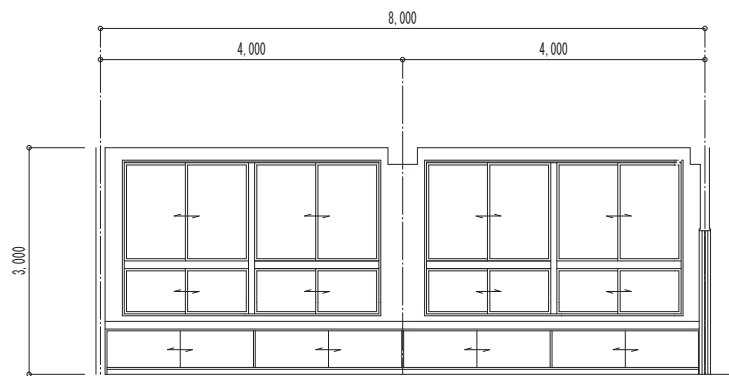


3階倉庫 C面 展開図

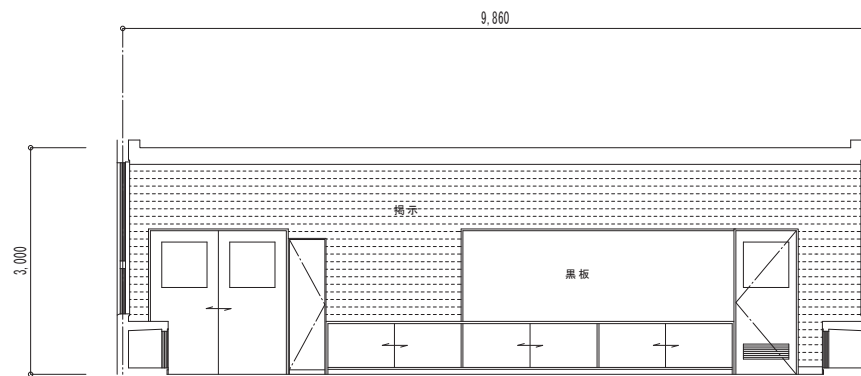


3階倉庫 B面 展開図

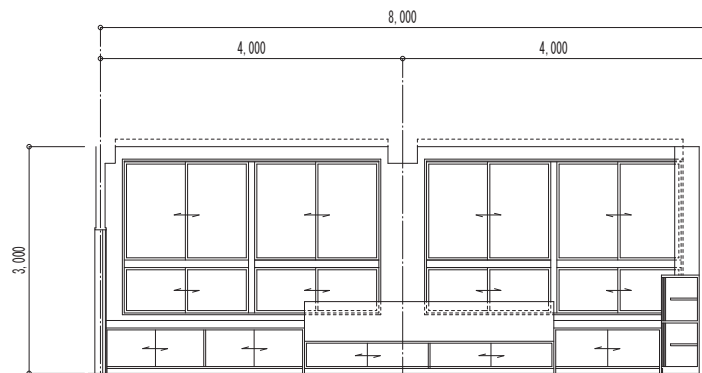
3階生徒放送室 B面 展開図



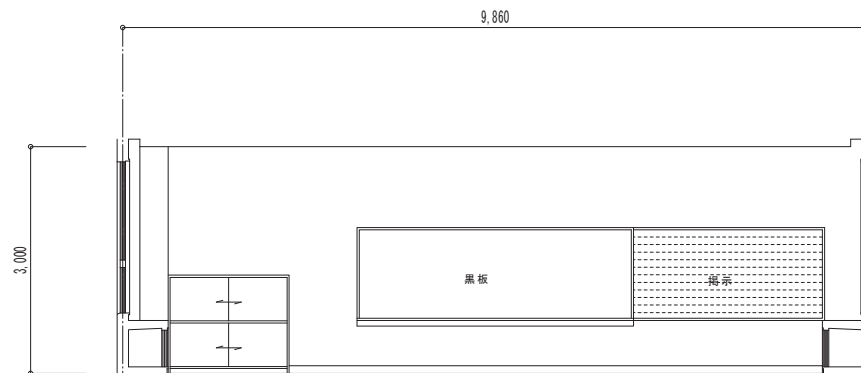
3階理科室 A面 展開図



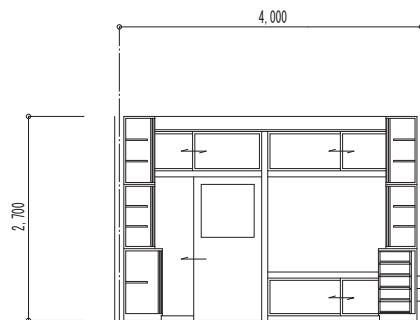
3階理科室 B面 展開図



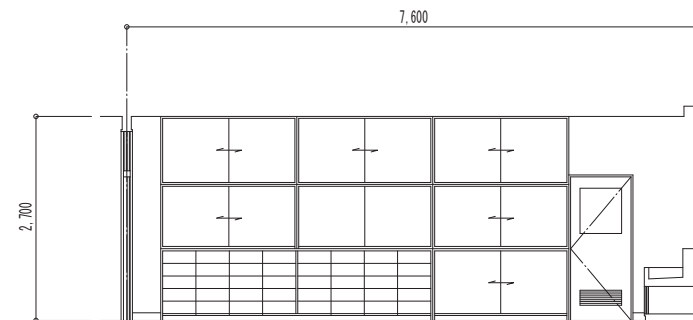
3階理科室 C面 展開図



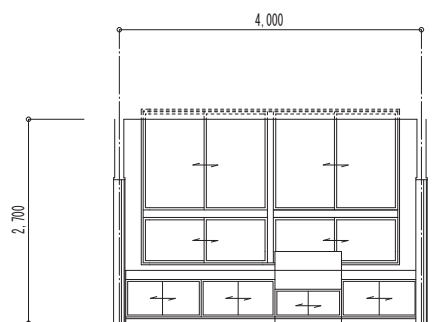
3階理科室 D面 展開図



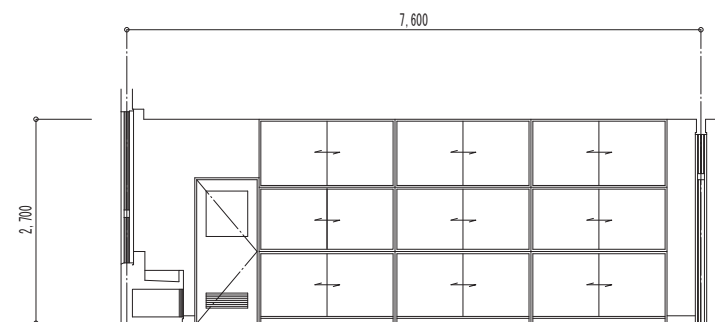
3階理科準備室 A面 展開図



3階理科準備室 B面 展開図



3階理科準備室 C面 展開図



3階視聴理科室 D面 展開図

K-1 教材・器具収納棚 1ヶ所 家庭科室 材質：ポリ合板、中棚：ポリ合板（2段共可動）、シリンダー縦付 上下部引違い戸：FL3 t、ポリ合板、引手・導込レール（SUS） 吊掛部引違い戸：FL3 t、ポリ合板、引手・導込レール（SUS）		K-2 備品収納棚 1ヶ所 保健室 材質：低圧メラミン、中棚：ポリ合板（2段共可動） 引違い戸：ポリ合板、引手・導込レール（SUS） 天板：タモ集成材、UC入り		K-3（下段） K-4（上段） 資料収納棚（上下別） 1ヶ所 材質：低圧メラミン、裏板・中棚：ポリ合板（2段共可動） 引違い戸：FL3 t、ポリ合板、シリンダー縦付 引手・導込レール（SUS）		K-5 フトン収納棚 1ヶ所 材質：低圧メラミン、裏板・中棚：ポリ合板（可動） 引違い戸：ポリ合板、取手（SUS）・下蓋（SUS） 開き戸上蓋：マグネットキャッチ		K-6 備品収納棚 1ヶ所 材質：低圧メラミン、裏板・中棚：ポリ合板（2段共可動） 引違い戸：FL3 t、ポリ合板、シリンダー縦付 引手・導込レール（SUS）	
W-1 曲面UD式黒板 スチールグリーン縦線入り 10ヶ所 1階：会議室、1年CR、家庭科室 2階：図工室、2年CR、3年CR、4年CR 3階：理科室、5年CR、6年CR		W-2 曲面UD式黒板、スチールグリーン （7.0%：5線入り、3.0%：縦線入り） 1ヶ所 3階：音楽室 アルミ枠、粉受、ビクチャーレール チョークボックス、磁石機能		W-3 平面白板 週間予定、学習予定、連絡事項 ホーローホワイト縦線入り 8ヶ所 1階：会議室、1年CR 2階：2年CR、3年CR、4年CR、わかあゆCR 3階：5年CR、6年CR		W-4 平面白板 月予定 ホーローホワイト縦線入り 7ヶ所 1階：会議室、1年CR 2階：2年CR、3年CR、4年CR 3階：5年CR、6年CR		W-5 平面白板 週間予定、学習予定、連絡事項 ホーローホワイト縦線入り 1ヶ所 2階：さくらCR アルミ枠、粉受、磁石機能	
W-6 平面白板 ホーローホワイト縦線入り 8ヶ所 1階：会議室、1年CR 2階：2年CR、3年CR、4年CR、わかあゆCR 3階：5年CR、6年CR		W-7 黒板 スチールグリーン縦線入り 2ヶ所 2階：わかあゆCR 3階：コンピュータ室		W-8 平面白板 出欠状況 ホーローホワイト縦線入り 1ヶ所 1階：職員室		W-9 上下式白板 片面週間予定表 ホーローホワイト縦線入り 1ヶ所 1階：職員室		W-10 平面白板 ホーローホワイト5線入り 1ヶ所 3階：音楽室	
W-11 掲示板（掲示板クロス共） 4ヶ所 1階～2階：階段室 2階～3階：階段室									
業務名 上小鴨小学校管理教室棟耐震補強（建築主体）工事		黒板・家具図		SCALE NO SCALE		DATE 2014. 11		エーアンドエス建築研究室	
								一級建築士 秋本文男 登録（大臣） 第172908号	
								図面番号 A-60	

業 務 名	上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事	耐震補強特記仕様書（ＲＣ造）	SCALE	DATE 2014. 11	エーアンドエス建築研究室	一級建築士 秋本文男 登録(大臣) 第172908号	図面番号 C-1
-------	-------------------	----------------	-------	------------------	--------------	-------------------------------	-------------

特記仕様書より

杭打工法 打撃工法

杭 PC (A種) 6350 L=4.0m

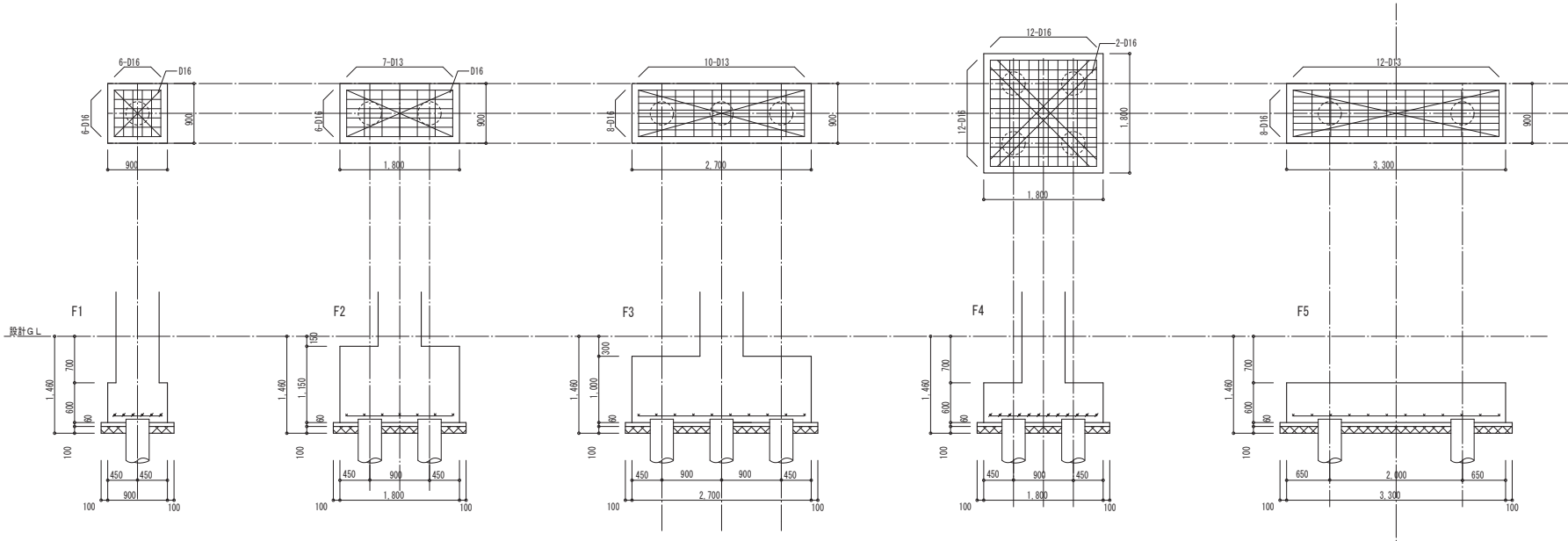
設計許容耐力50t/本 (長期)

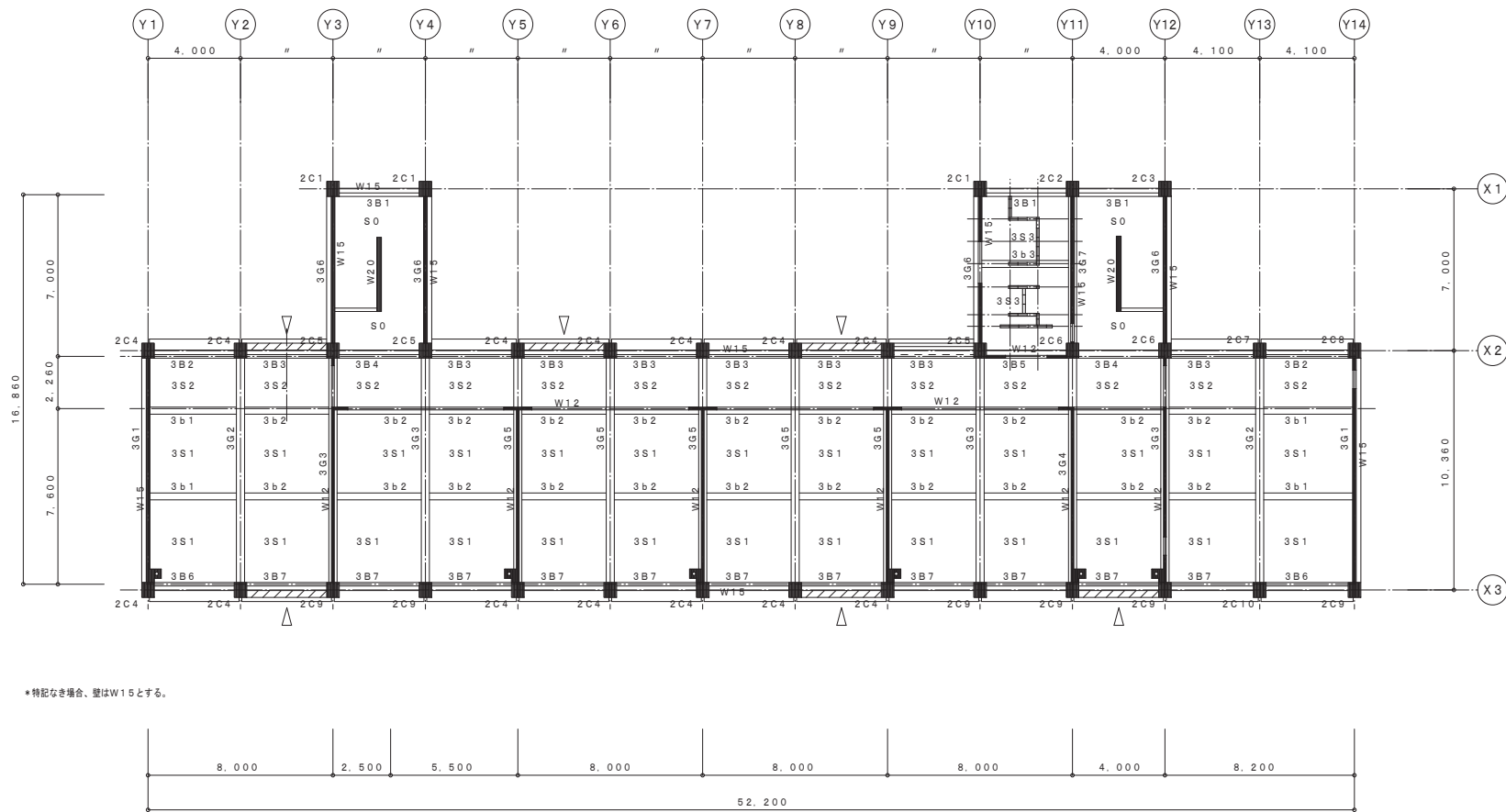
鉄筋工事

鉄筋の種類 異形鉄筋SD30

コンクリート工事

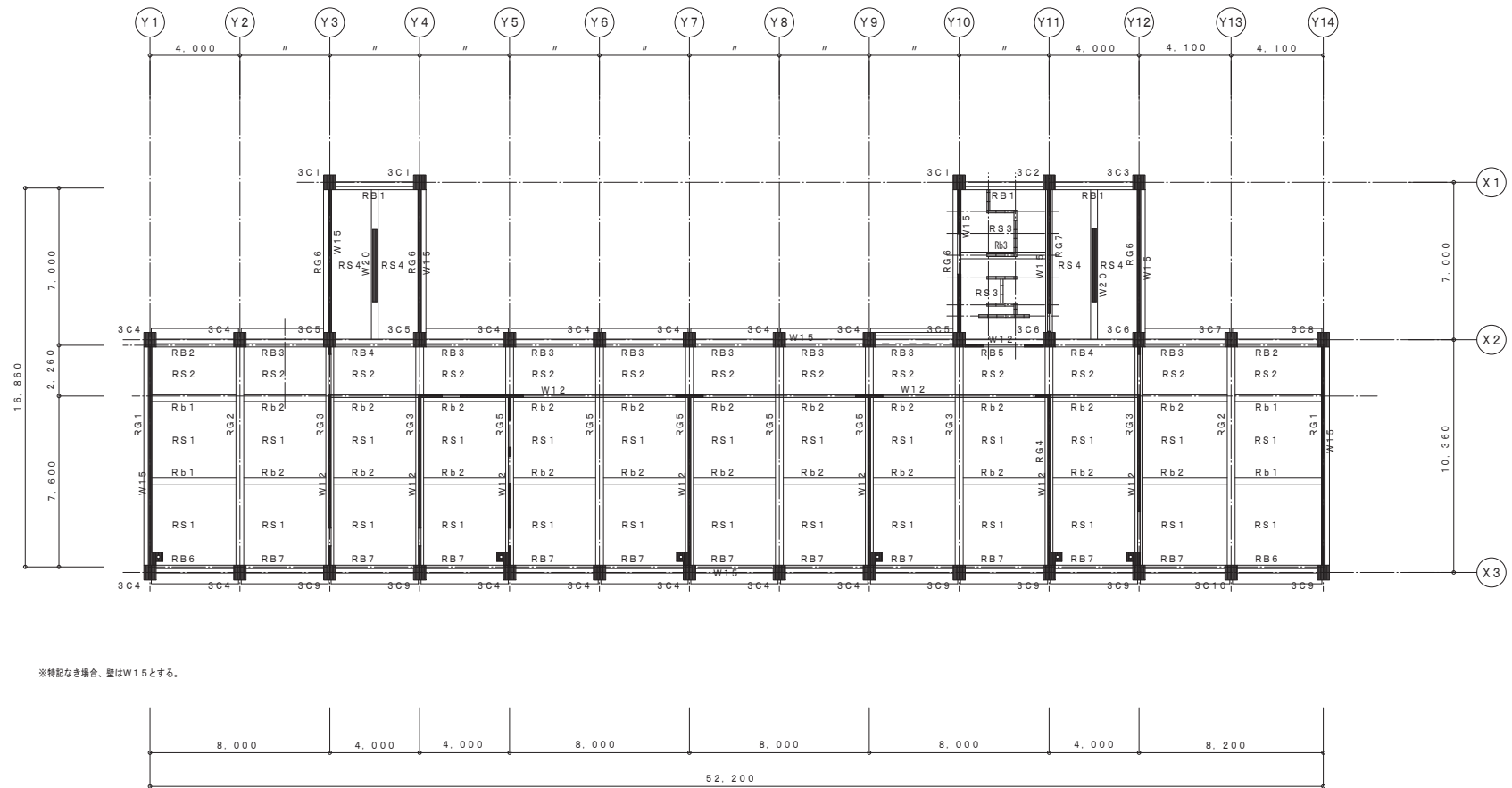
普通コンクリート 設計基準強度180kg/cm²

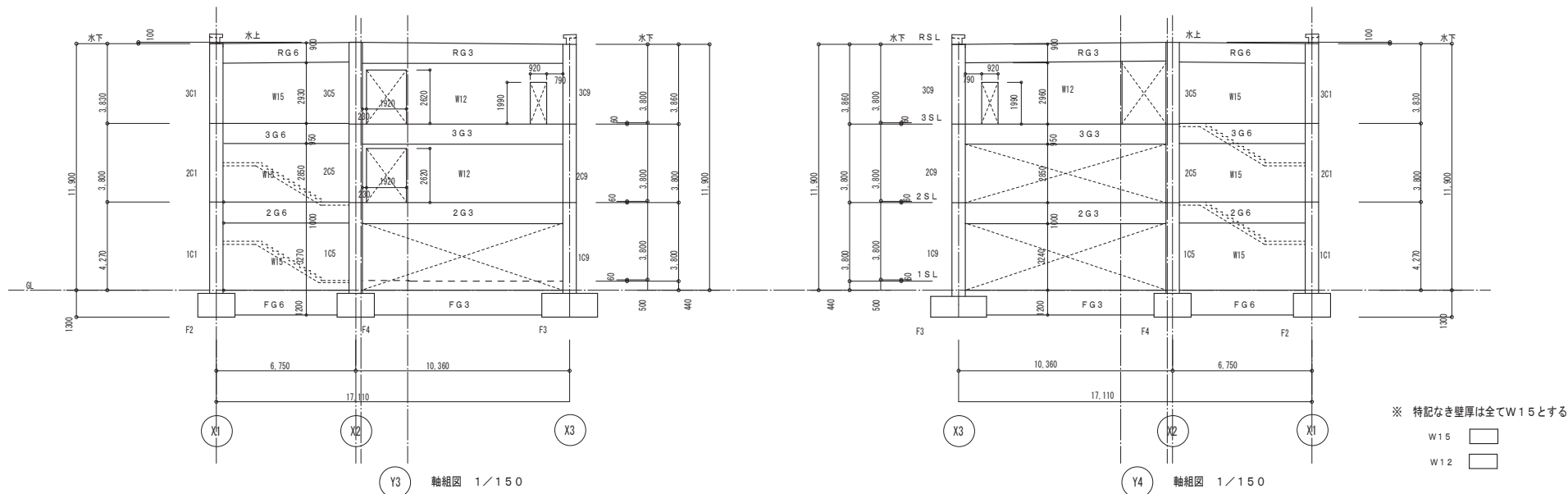
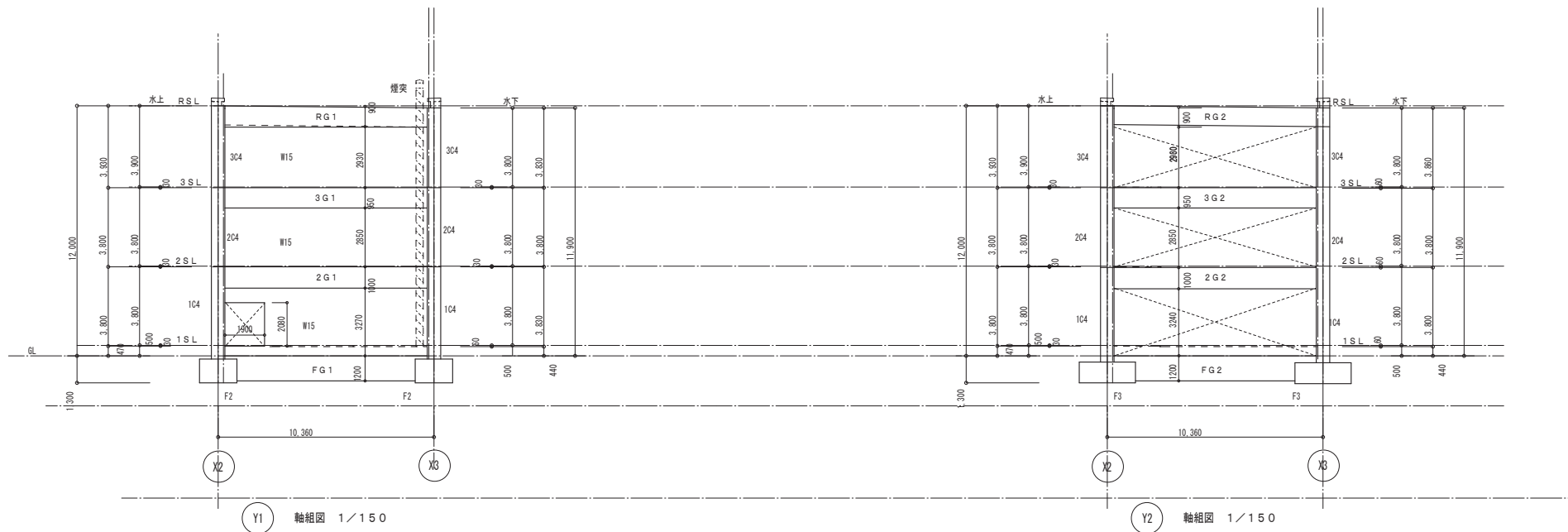


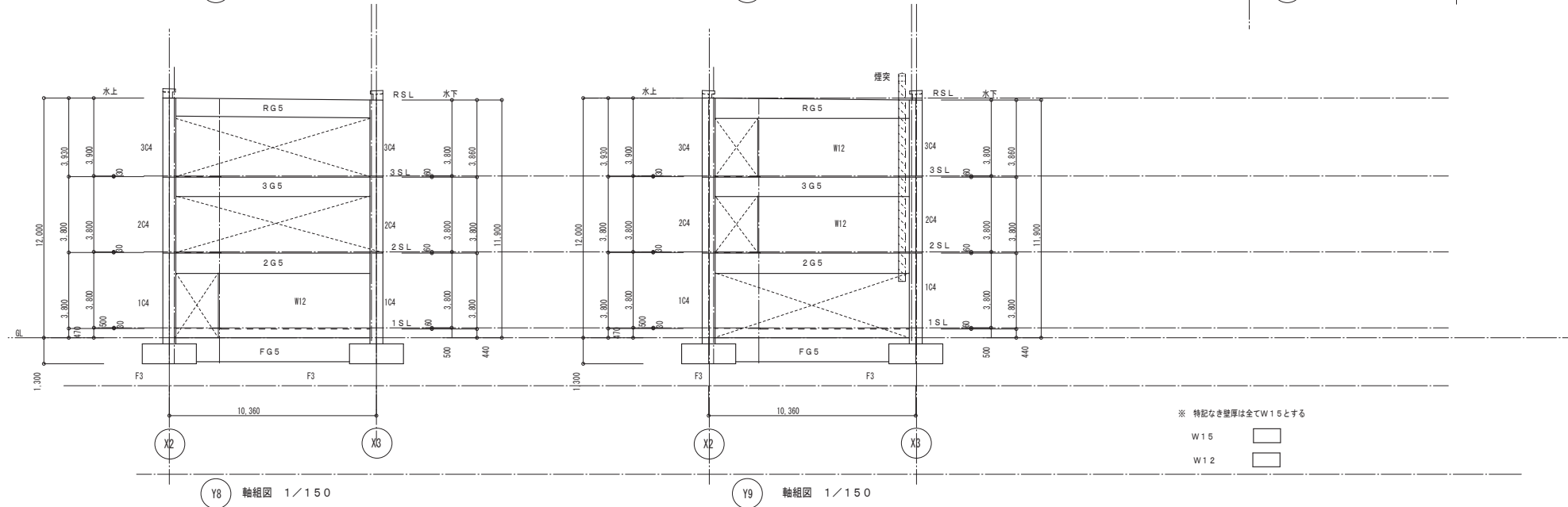
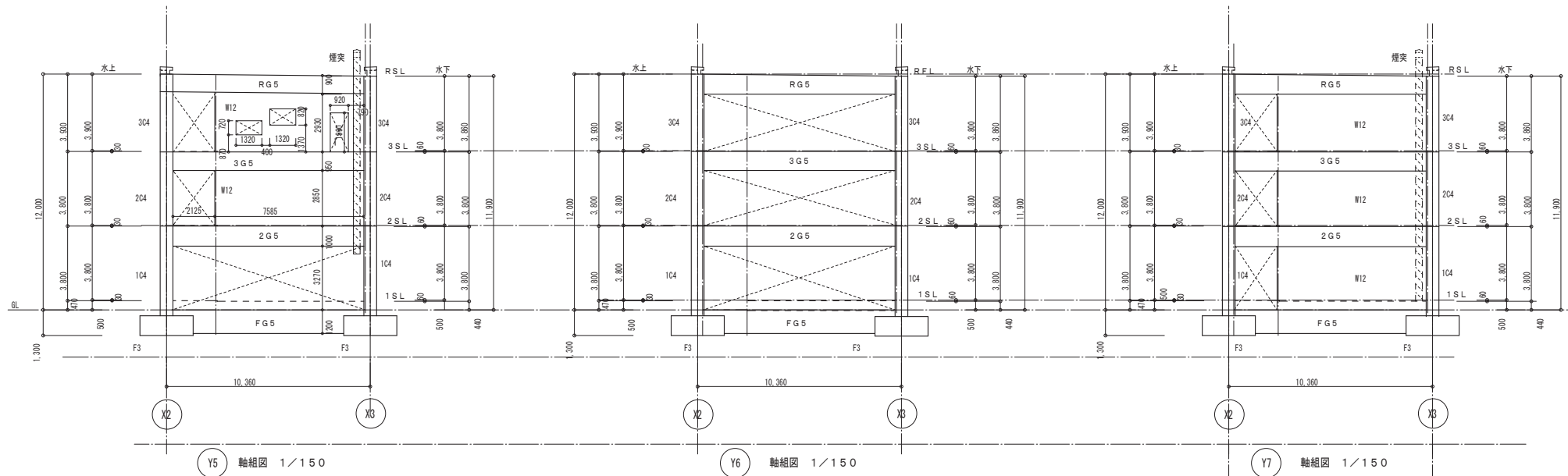


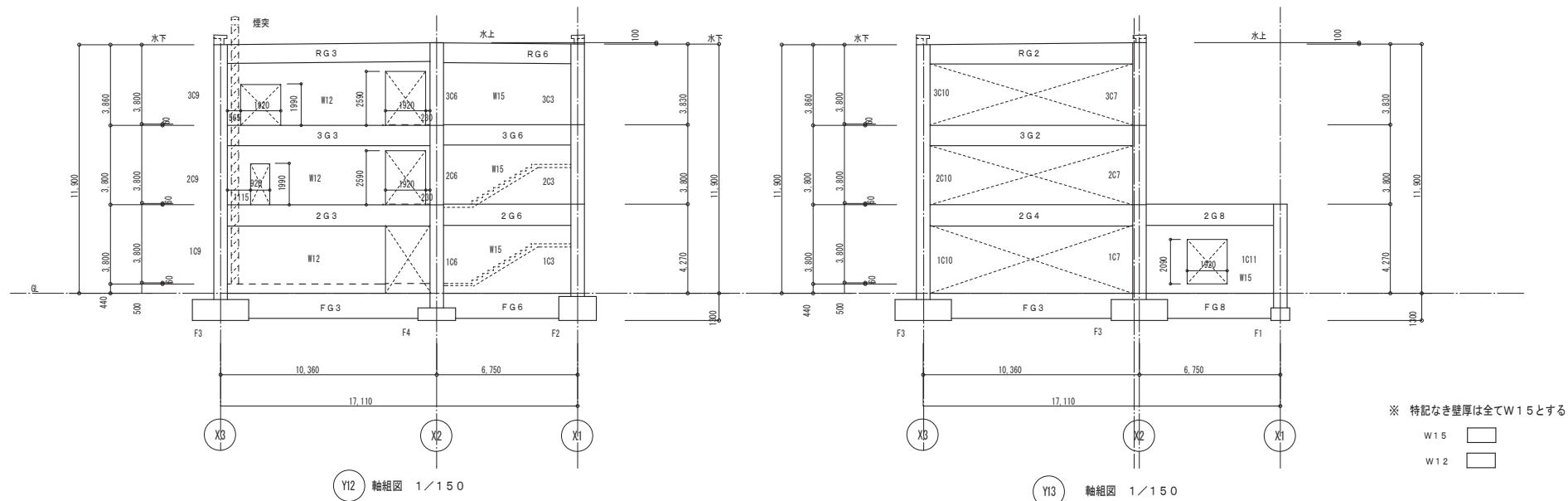
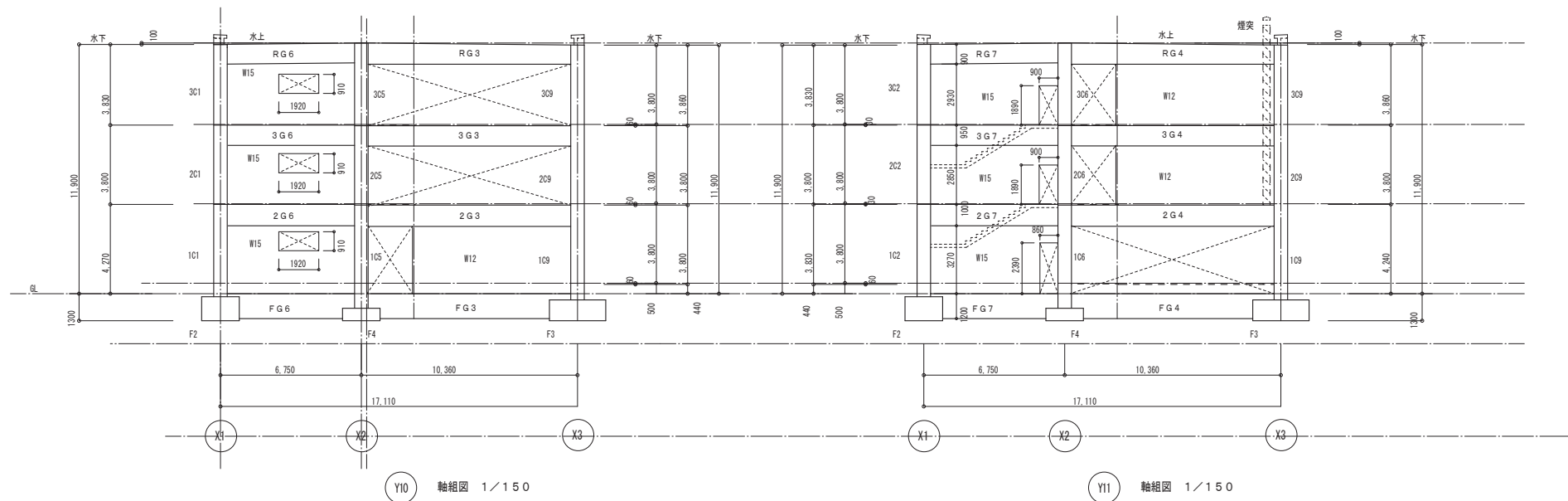
*特記なき場合、壁はW15とする。

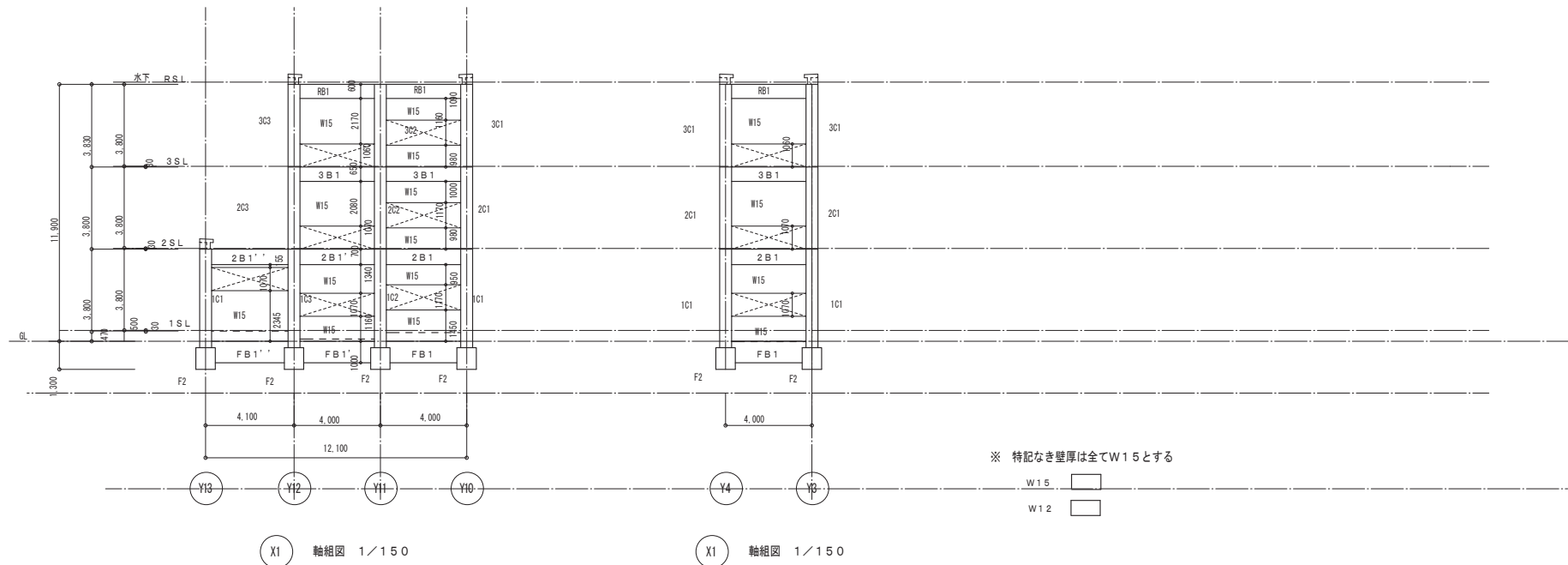
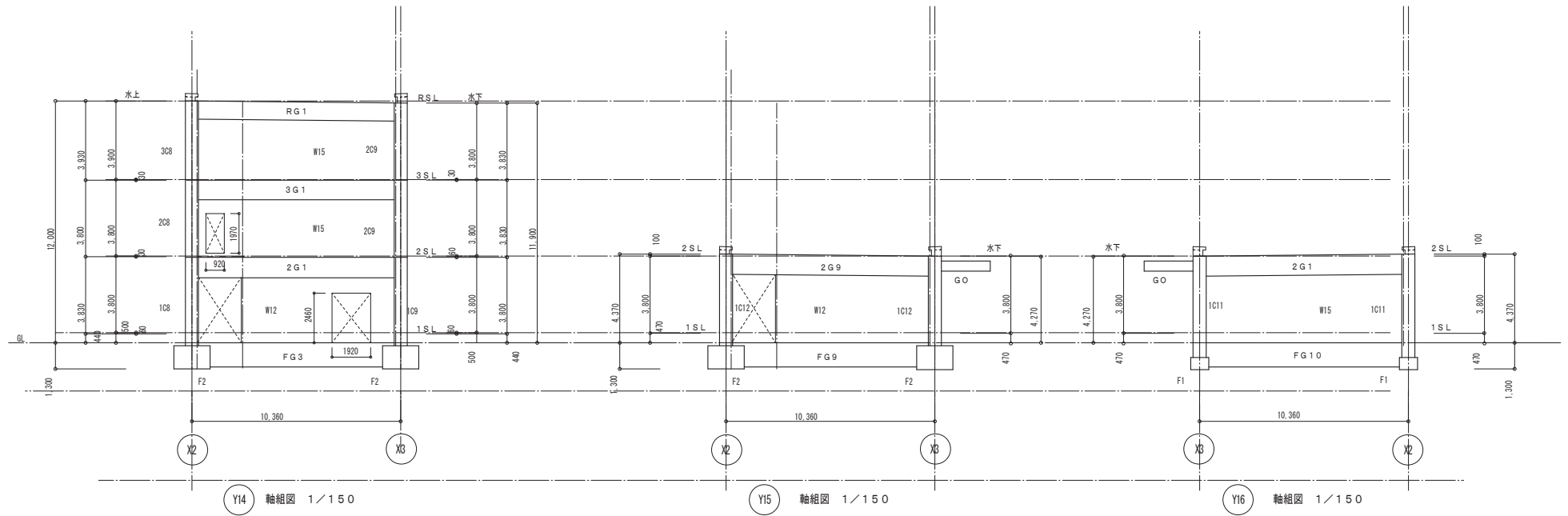
特記事項
■ 梁増打ちを示す
△ 補強ブレース (□-200×200×9) を示す
取付けヶ所の既存底版迄

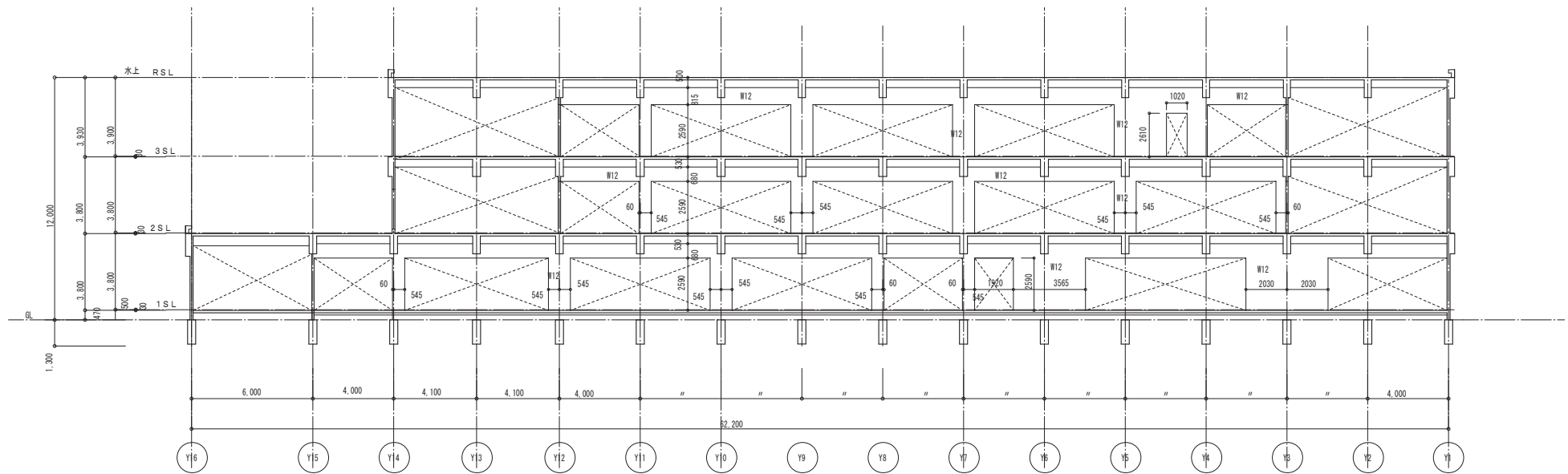












業 務 名 上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事	軸組図（６）	SCALE 1：150	DATE 2015.1	エーアンドエス建築研究室 一級建築士 秋本文男 登録（大臣） 第172908号	図面番号 C-12
----------------------------	--------	----------------	----------------	---	--------------

スリット壁詳細図

(各階共通)

S=1:10

業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

スリット壁詳細図ー6

柱リスト

柱リスト

1:50

		C 1	C 2	C 3	C 4 (C 11)	C 5	C 6	C 7 (C 12)	C 8	C 9	C 10
3											
	B x D	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650
	主筋	8-D25	8-D25	8-D25	14-D25	8-D25	8-D25	12-D25	8-D25	10-D25	12-D25
	帯筋	D10@100	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
2											
	B x D	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650
	主筋	8-D25	8-D25	8-D25	10-D25	10-D25	12-D25	10-D25	8-D25	8-D25	8-D25
	帯筋	D10@100	同左	同左	同左	同左	D10@80	D10@100	同左	同左	同左
1											
	B x D	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650	550×650
	主筋	8-D25	12-D25	14-D25	16-D25	20-D25	22-D25	18-D25	16-D25	14-D25	12-D25
	帯筋	D10@100	同左	同左	同左	D10@80	同左	同左	同左	同左	同左

※ C11 : C12は、平屋部分の柱

特記事項 副帯筋は、D10@500クロスとする

帯筋は、梁の上部部分はD13を使用する

業務名

上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事

スリット壁詳細図ー6

柱リスト

SCALE

1:10

1:50

DATE

2014. 11

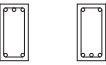
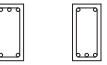
エーアンドエス建築研究室

一級建築士 秋本文男
登録(大臣) 第172908号

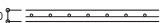
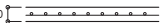
図面番号

C-13

小梁リスト

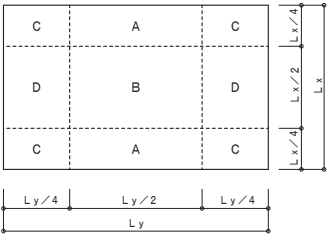
小梁	姿図	R 3 2 b 1・b 2・b 3	R b 4	2 b 4・2 b 5	2 b 6
		全断面	端部 中央	全断面	端部 中央
					
		B×D	300×500	300×600	300×500 300×600
		上端筋	2-D19	3-D19 2-D19	2-D19 3-D19 2-D19
		下端筋	2-D19	2-D19 3-D19	2-D19 3-D19
小梁	姿図	S t	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200 □-D10@200
		B×D	300×500	300×600	300×500 300×600
		上端筋	2-D19	3-D19 2-D19	2-D19 3-D19 2-D19
		下端筋	2-D19	2-D19 3-D19	2-D19 3-D19
		S t	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200 □-D10@200
		B×D	300×500	300×600	300×500 300×600

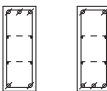
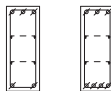
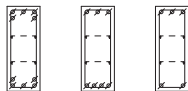
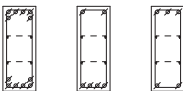
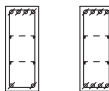
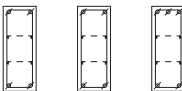
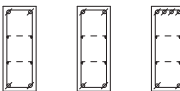
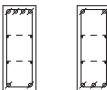
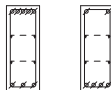
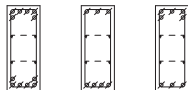
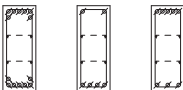
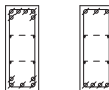
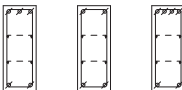
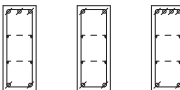
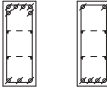
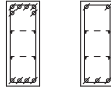
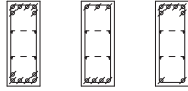
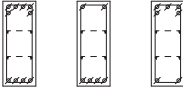
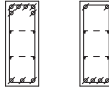
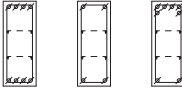
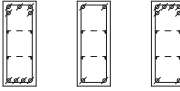
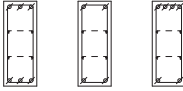
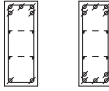
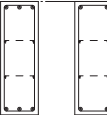
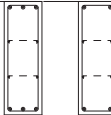
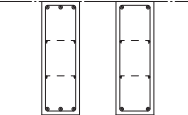
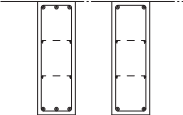
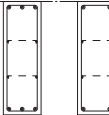
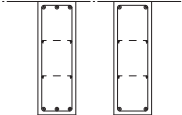
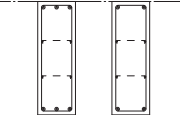
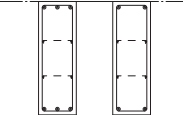
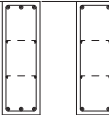
壁リスト

符号	断面図	縦筋及び横筋
W 1 2		D 1 0 @ 2 0 0 シングル
W 1 5		D 1 0 @ 1 5 0 シングル
W 2 0		縦筋 D 1 3 @ 1 5 0 ダブル 横筋 D 1 0 @ 2 0 0 ダブル

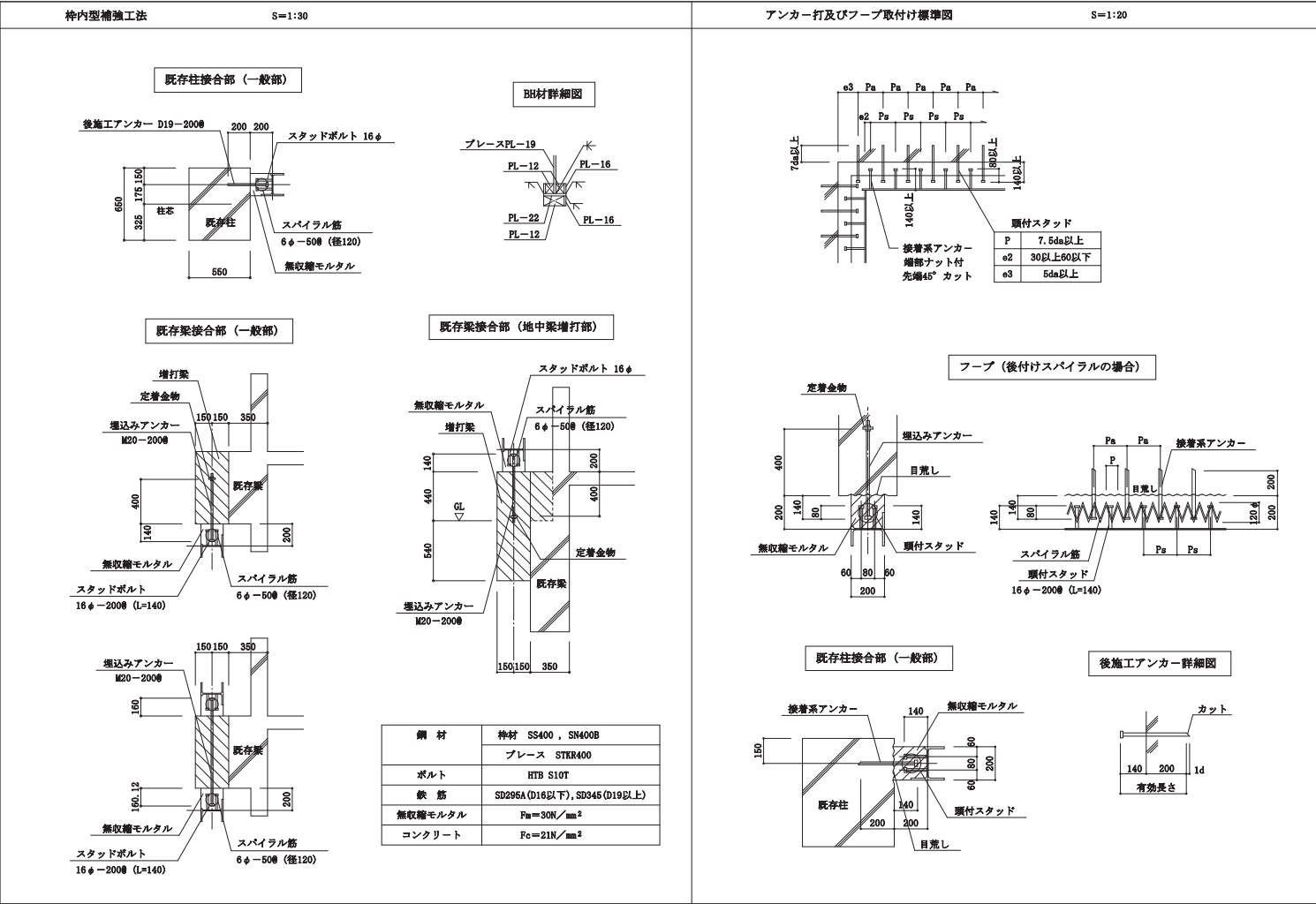
スラブリスト

スラブ厚			短辺方向 (主筋)			長辺方向 (配力筋)			
			端部 (A)	中央 (B)	全域 (C・D)	端部 (D)	中央 (B)	全域 (A・C)	
120	RS 1	上 下	D10・D13交互@200 D10@400	D10@400 D10・D13交互@200	D10@300 D10@300	D10・D13交互@250 D10@500	D10@500 D10・D13交互@250	D10@300 D10@300	4 辺固定
120	RS 2	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	RS 3	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	RS 4	上 下	D10・D13交互@250 D10@500	D10@500 D10・D13交互@250	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	3 S 1	上 下	D10・D13交互@200 D10@400	D10@400 D10・D13交互@200	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	3 S 2	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 3	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 4	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 5	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 6	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 7	上 下	D10・D13交互@150 D10@300	D10@300 D10・D13交互@150	D10@200 D10@300	同 上	同 上	同 上	"
120	2 S 8	上 下	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	"
120 ~150	2 S 9	上 下	D10・D13交互@125 D10@250	D10@250 D10・D13交互@125	D10@150 D10@200	D13@125 D10@250	D13@250 D10・D13交互@125	D10@150 D10@200	3 辺固定
120 ~150	2 S 10	上 下	D10・D13交互@200 D10@400	D10@400 D10・D13交互@200	D10@300 D10@300	D10・D13交互@125 D10@250	同 上	D10@200 D10@300	"
150	S 0	上 下	同 上	同 上	同 上	D10・D13交互@200 D10@400	D10@400 D10・D13交互@200	D10@300 D10@300	"
100 ~120	底		D13@200			D10@200			鉄筋コンクリート構造配筋基準 昭和52年度版 P 3 4 E 型基準配筋図による
120 ~180	S	上 下	D13@125 D10@200			D10@200 D10@200			

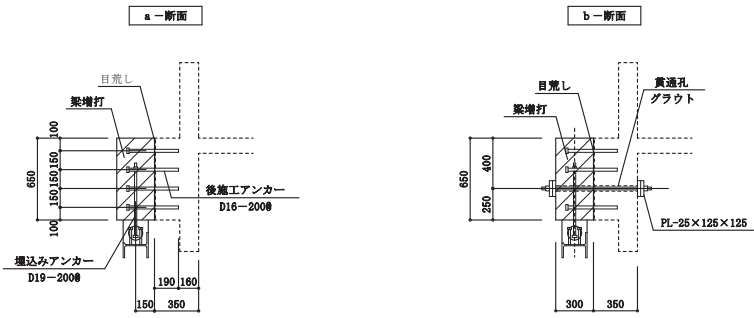


R	姿 図	G 1	端部 中央		G 2	端部 中央		G 3	2端 中央 3端			G 4	2端 中央 3端			G 5				G 6	1端 中央 2端			G 7	1端 中央 2端			G 8				G 9			
																																			
		B×D		350×900		350×900		350×900			350×900			350×900			350×900			350×900															
		上端筋		3-D25 2-D25		3-D25 3-D25		5-D25 3-D25 3-D25			6-D25 2-D25 3-D25			4-D25 4-D25			2-D25 2-D25 3-D25			2-D25 2-D25 4-D25															
		下端筋		2-D25 3-D25		2-D25 4-D25		5-D25 4-D25 2-D25			6-D25 4-D25 2-D25			2-D25 4-D25			2-D25 2-D25 2-D25			2-D25 2-D25 2-D25															
S t		□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200			□-D10@150			□-D10@200			□-D10@200			□-D10@200																	
3	姿 図	G 1	端部 中央		G 2	端部 中央		G 3	2端 中央 3端			G 4	2端 中央 3端			G 5	端部 中央			G 6	1端 中央 2端			G 7	1端 中央 2端			G 8				G 9			
																																			
		B×D		350×950		350×950		350×950			350×950			350×950			350×950			350×950															
		上端筋		4-D25 2-D25		5-D25 2-D25		6-D25 3-D25 5-D25			7-D25 2-D25 5-D25			6-D25 3-D25			3-D25 2-D25 4-D25			3-D25 2-D25 4-D25															
		下端筋		2-D25 3-D25		3-D25 4-D25		6-D25 4-D25 3-D25			7-D25 4-D25 3-D25			5-D25 4-D25			2-D25 2-D25 2-D25			2-D25 2-D25 2-D25															
S t		□-D10@200		□-D10@200		□-D10@150			□-D10@125			□-D10@200			□-D10@200			□-D10@200																	
2	姿 図	G 1	端部 中央		G 2	端部 中央		G 3	2端 中央 3端			G 4	2端 中央 3端			G 5	端部 中央			G 6	1端 中央 2端			G 7	1端 中央 2端			G 8	1端 中央 2端			G 9	端部 中央		
																																			
		B×D		350×1000		350×1000		350×1000			350×1000			350×1000			350×1000			350×1000			350×1000			350×1000			350×1000						
		上端筋		6-D25 2-D25		6-D25 2-D25		6-D25 3-D25 6-D25			6-D25 2-D25 5-D25			6-D25 2-D25			4-D25 2-D25 6-D25			5-D25 2-D25 6-D25			3-D25 2-D25 4-D25			5-D25 5-D25									
		下端筋		3-D25 4-D25		4-D25 3-D25		6-D25 4-D25 2-D25			4-D25 4-D25 2-D25			3-D25 4-D25			4-D25 2-D25 2-D25			4-D25 2-D25 2-D25			3-D25 2-D25 2-D25			2-D25 5-D25									
S t		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200								
F	姿 図	G 1	端部 中央		G 2	端部 中央		G 3	端部 中央			G 4	端部 中央			G 5	端部 中央			G 6	端部 中央			G 7	端部 中央			G 8	端部 中央			G 9	端部 中央		
																																			
		B×D		400×1200		400×1200		400×1200			400×1200			400×1200			400×1200			400×1200			400×1200			400×1200			400×1200						
		上端筋		3-D22 2-D22		3-D22 2-D22		3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22						
		下端筋		3-D22 2-D22		3-D22 2-D22		3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22			3-D22 2-D22						
S t		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200								
業 務 名					上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事					梁リスト（1）					SCALE		DATE		エーアンドエス建築研究室					一級建築士 秋本文男 登録(大臣) 第172908号					図面番号						
															1：40		2015. 1												C-15						

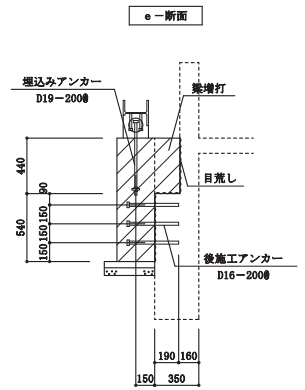
R	姿 図	B 1	B 1'		B 1''		B 2		B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8										
		全断面					端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面										
																								
		B × D	350×600				350×600		350×600	350×600	350×600	350×600	350×600	350×600										
		上端筋	2-D22				2-D22 2-D22		2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22										
下端筋	2-D22				2-D22 2-D22		2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22											
S t	□-D10@200				□-D10@200		□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200											
3	姿 図	端部	中央					端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央									
																								
		B × D	350×650				350×650		350×650	350×650	350×650	350×650	350×650	350×650	350×650									
		上端筋	4-D22	2-D22			4-D22 2-D22		3-D22 2-D22	4-D22 2-D22	4-D22 2-D22	4-D22 2-D22	4-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22									
		下端筋	3-D22	2-D22			3-D22 2-D22		2-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22	3-D22 2-D22									
S t	□-D10@150				□-D10@150		□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@150										
2	姿 図	端部	中央	端部	中央	1 2 端	中央	1 3 端	端部	中央	端部	中央	10 端・13 端	中央	11 端・12 端	1 端	中央	2 端	端部	中央	端部	中央		
																								
		B × D	350×700		350×700		350×700		350×700		350×700		350×700		350×700		350×700		350×700		350×700			
		上端筋	6-D22	2-D22	4-D22	2-D22	5-D22	2-D22	5-D22	6-D22	2-D22	5-D22	2-D22	5-D22	6-D22	2-D22	5-D22	6-D22	2-D22	5-D22	2-D22	4-D22	2-D22	
		下端筋	5-D22	2-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	5-D22	5-D22	2-D22	4-D22	2-D22	5-D22	6-D22	2-D22	4-D22	6-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22
S t	□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125		□-D10@125			
F	姿 図	10 端	中央・11 端	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	1 端	中央	2 端	端部	中央	端部	中央			
																								
		(端部)	(中央)																					
		× () 内はY3・Y4通りを示す				350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000				
		B × D	350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000		350×1000			
上端筋	4-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22		
下端筋	4-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22		
S t	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			
業 務 名				上小鴨小学校管理教室棟耐震補強工事				梁リスト (2)				SCALE 1 : 4 0		DATE 2015. 1		エーアンドエス建築研究室				一級建築士 秋本文男 登録 (大臣) 第172908号		図面番号 C - 1 6		



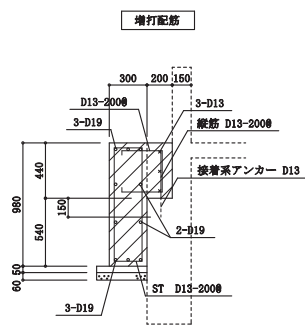
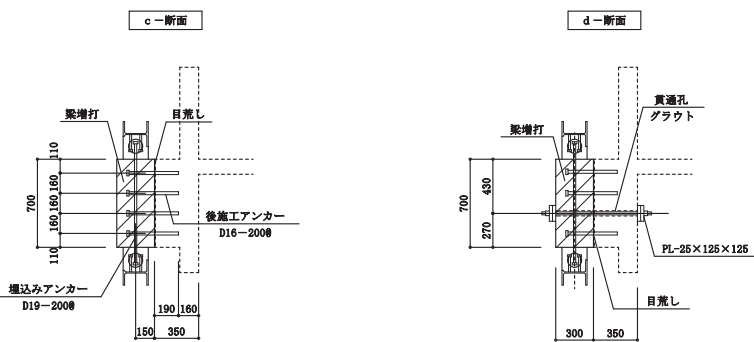
3 階梁増打ち

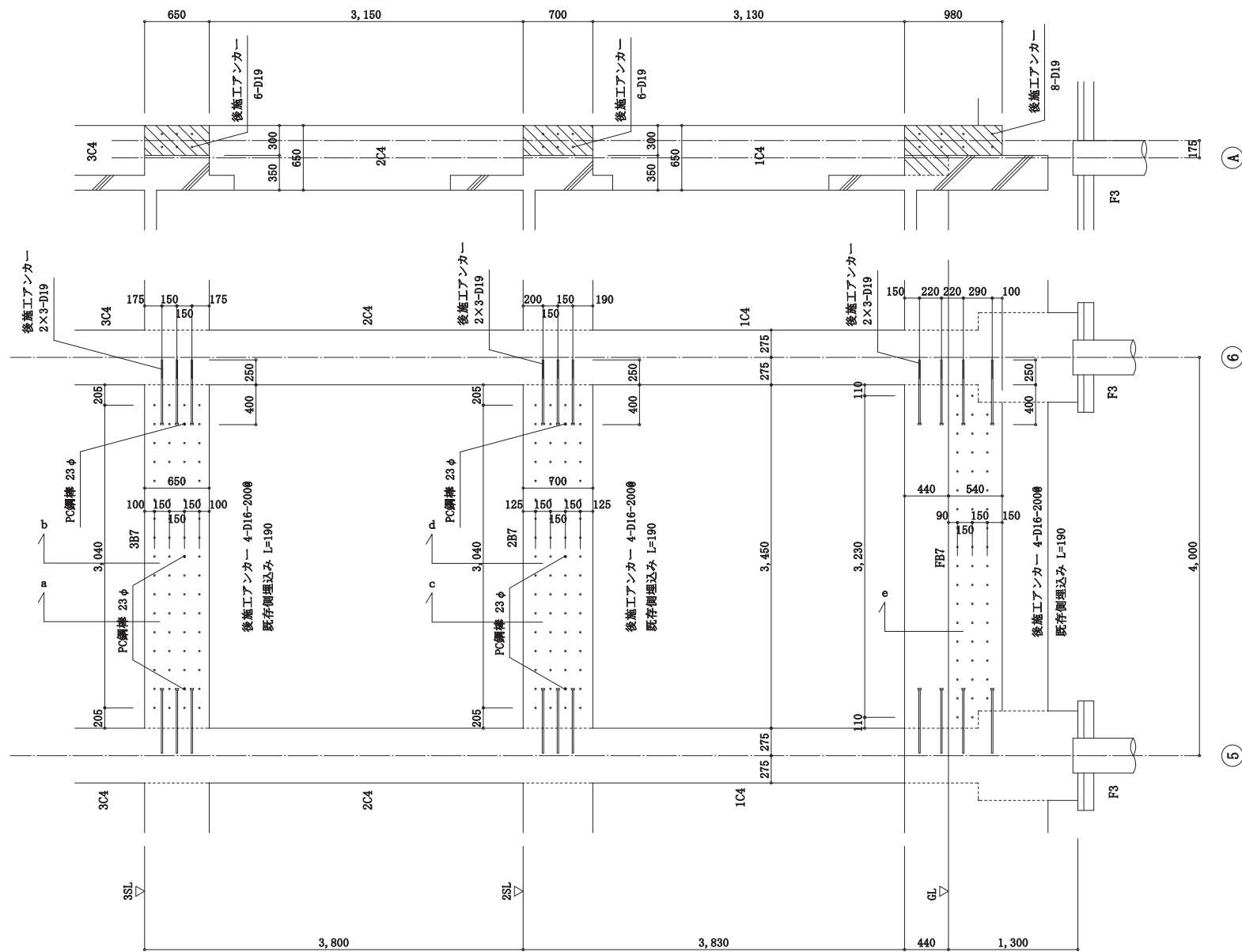


地中梁増打ち

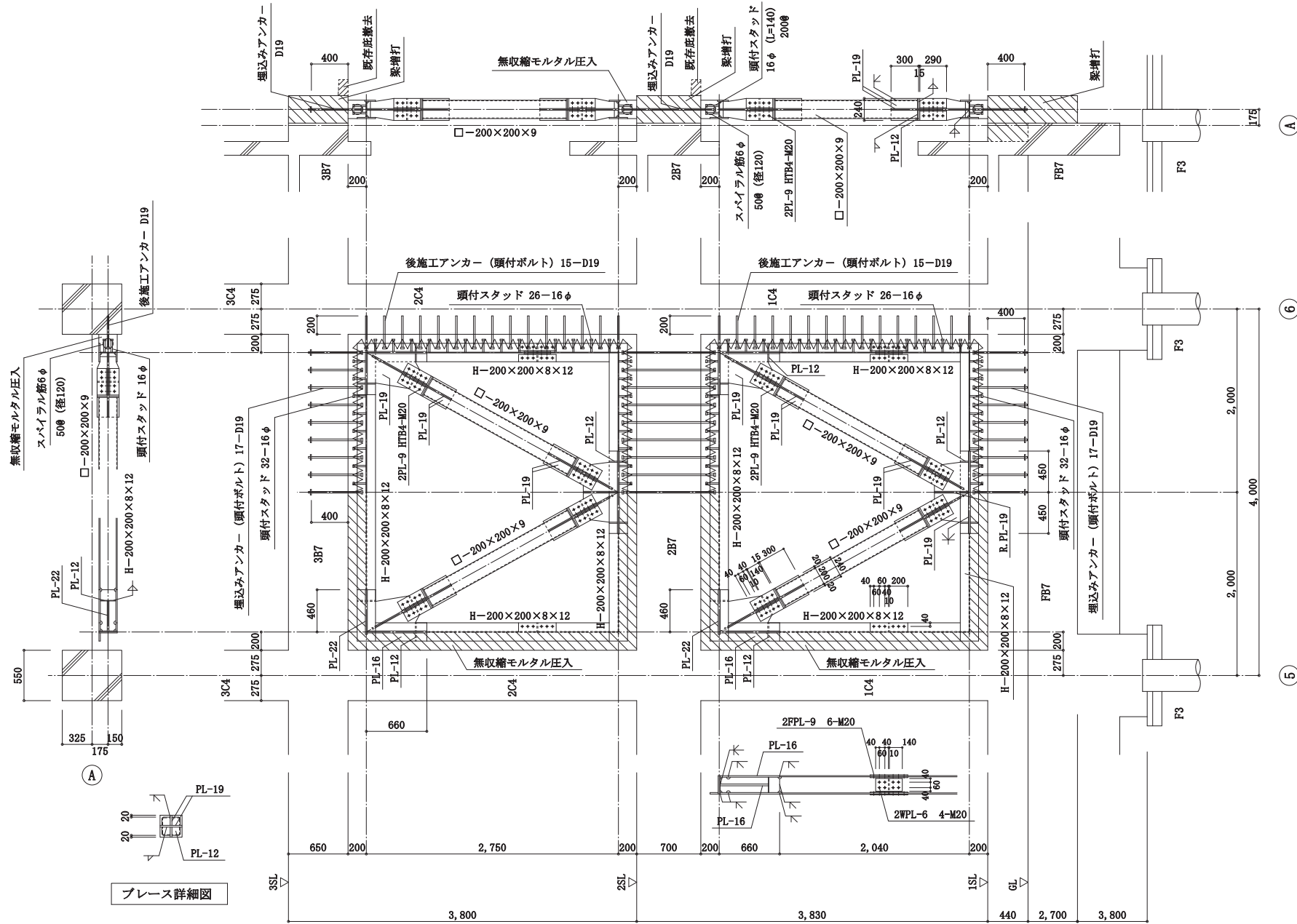


2 階梁増打ち





後施工アンカー位置図 S=1:30



BB材はSN400Bとする

A通り補強ブレース詳細図 S=1:30

